

筑波山の昆虫類

茨城動物研究会

概 説

筑波山の動物についての記録は、断片的ではあるが、江戸時代、明治・大正時代と残っている。

多くの人が注目した筑波山の植物相とは異なり数少ない哺乳類、鳥類、昆虫ではセミ類などの古記録は貴重ではあるが、戦前の記録は、1939年発行の「綜合郷土研究 茨城県(上)」に新編常陸国誌、常陸風土記、延喜式、桃源遺事、水戸藩史料、その他の文献類を参照にしながら鶴町 猷氏によって総括されている。

筑波山の昆虫関係では、モンキアゲハ、エゾゼミ、アカエゾゼミの名が挙げられている。

茨城博物同好会誌には、1934年、関 行孝氏が、分布から見た茨城県の蟬を総括し、その後、1935年、茨城県の蝶を整理した谷 伴夫氏は、筑波山でモンキアゲハ、アサギマダラ、アオバセセリを記録し、1939年の最終号第12号まで、関氏などの筑波山とその付近の昆虫の短報を見ることができる。

戦後、筑波山麓での広範囲におよぶ博物学的な調査、研究の成果を報じた片岡 義氏の功績は、雑誌「採集と飼育」に残り、第11巻2号(1949)ではムクサ、12巻1号(1950)でセミタケを報じ、モンキアゲハやベッコウトンボの記録は常陽博物同好会会報第2号(1960)のつくばレポートにある。

1949年に「茨城自然」の創刊号を発行した茨城自然研究会は、県南の同好者を中心に活動し、年1回、会誌を発行、筑波山のチョウとトンボの分布記録を残していることを忘れてはならない。

水戸市の廣瀬 誠氏は、第二次の茨城博物同好会の会誌16号(1953)で茨城県のトンボを整理し、会誌20号(1955)には、茨城のガガンボ類(1)を書き、オオキマダラヒメガガンボ、ニッポンヒメコンボソガガンボなどを報じている。

高校生まで真壁町に住み、その後も故郷の筑波山付近の昆虫、特に蝶類やトンボ類を詳細に調査した枝重夫氏の成果である蝶(新昆虫, 1959)、トンボ(TOMBO, 1972)、蟬(新昆虫, 1954)の報文は今なお、当時の筑波山の昆虫を知る有力な基礎的資料と評価は高い。朝比奈正二郎氏と共著の形式で日本昆虫

学会「昆虫」紙上に連載されたトンボの生態写真の第1回目(第24巻第1号, 1956)は筑波山で撮影された静止しているムカシトンボの雌成虫であり、オジロサナエ、クロサナエ、ナゴヤサナエ、メガネサナエ、ミルンヤンマ、成虫で越冬するオツネトンボ、ホソミオツネトンボと優れたトンボの生態写真が続いた。

1950年後半には茨城大学教授の今村泰二氏が、日本自然保護協会調査報告第24号、筑波自然公園学術調査報告(1966)の筑波山と加波山の動物の項で、昆虫類では蝶類、蛾類、双翅類、膜翅類、甲虫類、半翅類、脈翅類、直翅類、それに水生昆虫類を挙げ、ホタル類ではヒメボタルを解説し、菖蒲沢のヒメハルゼミ、溪流のムカシトンボを特記している。

茨城県の蝶相は、水戸第一高等学校生物同好会の「生物界」第4巻第2号(1949)に出た先駆的な本間敏弘氏の論文等の後を追いかのように日立市内外ばかりか県内各地の蝶を探索した塩田正寛氏が、栃木県の昆虫愛好会「インセクト」第19巻第1号(1968)に県産の蝶の研究史を概観できる論説、茨城県の蝶相No.1を発表し、1964年8月、渡辺重行氏の筑波でのクロコノマチョウ採集も列記された。

戦後、1946年から現在まで、県内の昆虫研究の同志が結成した諸団体、茨城虫の会「虫の国」、茨城昆虫同好会「おけら」、水戸昆虫研究会「瑠璃星」、その後「るりぼし」といった昆虫愛好者の会誌ばかりか、茨城県高等学校生物部の会誌等にも筑波山の昆虫についての調査記録、報告を見出すことができる。勿論、商業的な昆虫雑誌であった「新昆虫」には県内の同好者各氏の名があって、記念史的な雑誌となっている。

筑波山を含む県内各地の生物相に関わる文献として、1969年度から始まる茨城県教育委員会の特別地域自然財分布調査報告書(鹿島・行方地区、筑波研究学園都市地区)は有益であり、1972年度には茨城県高等学校教育研究会生物部が総括的な報告書を出版、全県に及ぶ自然誌的な調査は発展的し、生物部は、発展的に、茨城の生物第1集から第2集と成果刊行を続け、筑波山塊を入れた全県の視野に立ち、いまなお活動は継続中であり、「茨城の生物 平成四年版(1992)」も出版された。

地球環境問題が山積の1973年に発足した茨城生物の会の活動は県の生物解明の中心的な役割を果たしており、1998年に第18号まで発行された会誌「茨城生物」は筑波山とその周辺の昆虫相を論じる際に見落とすことのできない文献ともなっている。

また、1970年代、筑波大学環境科学研究科発行の「筑波の環境研究」には充実した専門的な論文が掲載され、筑波大学昆虫談話会「おとしぶみ」には筑波山のアザミウマ、蝶、甲虫、トンボなどの記録が残り、16号（1987）以後消滅したかに見えたが、発展的に1997年に発足した、つくば昆虫談話会の「おとしぶみ」第17（1997）、第18号（1998）には筑波山の蝶、蝉、甲虫の報文が載る。

筑波地区にあって、昆虫研究者の会の世話人であった筑波大学の藤井宏一、芳賀和夫、農水省果樹試保護部の大竹昭郎、公害研の安野正之の諸氏などの労があって、1982年、筑波山の昆虫採集観察会も開催されている。

芳賀和夫氏は雑誌「日本の生物」第2巻第7号（1988）、筑波山の生物相の動物を執筆され、筑波山のアリ、チョウ、甲虫、アザミウマなどを解説し、筑波山を基産地とする新種シオオナガクダアザミウマ、クロオビカイガラキジラミ、ツクバシウジョウバエを紹介した。そして、一見、平凡そうに見えても、特に、マイナーな分類群に関心を寄せる研究者が多いことが、筑波山の動物相を語る時の大きなポイントなのかも知れない、と考察もしている。

1985年、茨城新聞社発行で、解説・写真は茨城昆虫同好会というカラー自然シリーズの「茨城の昆虫」。「茨城の蝶」には県内同好者の30年余りの筑波山の昆虫研究の成果が反映されていて、内容は充実している。

1992年、学園都市の自然と親しむ会が筑波の自然誌-1、「筑波山」を編し、つくば市の（株）STEPから刊行、その中で、鈴木成美氏は筑波山の昆虫観察、調べてみたい筑波のチョウ三種、の二文を執筆、この山の好適な昆虫観察路を紹介しながら昆虫相の特色を蝶、アサギマダラ、クジャクチョウ、キベリタテハを例にして記述し、まだまだ調べ尽くされていない実態を説いている。

1993年、これまでの平野部から台地、そして筑波山塊、県北の阿武隈山地や八溝山地にまで足を運んだ多くの研究者や愛好者の昆虫調査の結果を集大成した報告書が、水戸市立博物館から「茨城県の昆虫」として発行され、編集の責任者でもあった水戸昆虫研究会

会長の久保田正秀氏が、茨城県の昆虫相の実態に近づく手掛かりとしての目録であるとし、また、成田行弘氏は、茨城県の面白味に欠ける昆虫相という評価を、何とか面白くする研究は、緒に就いたところ、と本書を位置付けている。

長く茨城大学教育学部にあって、我が国は勿論、世界各地の社会性の蜂類の分類、分布、生態を研究しながら、多くの学生に動物学を指導しておられる山根爽一氏の下で筑波山の昆虫相、特にハナバチ相なども究明されつつある。

鈴木成美氏（1992）が書くように、筑波山では、関東の名山に珍しい昆虫を求めるよりも、森や溪流で広く各分野の平凡な種といわれる昆虫との出会いを楽しむ者も増えてきたのではないかと思う昨今である。

茨城昆虫同好会「おけら」No.59（1995）では今井初太郎氏、飯島義克氏が筑波のクロコノマチョウに触れ、水戸昆虫研究会「るりぼし」21（1997）では、塩田氏がヒカゲチョウ、高野 勉・市毛勝義・大桃定洋の三氏が甲虫の分布を報じ、筑波山関係の種もいくつかある。

また、時折、商業誌である「昆虫と自然」や「月刊むし」の紙上に筑波山の昆虫関係記事が出ることもあるので、注目しておきたい。

本報告書では、茨城の昆虫研究史の中で、これまで記述したように筑波山塊は、過去多くの研究者の訪れた地であり、昆虫類についても豊富な知見が蓄積されていたが、今回の調査報告の内容を検討する時、昆虫相は安定していたかに見えても、関東地方の各地で起こっている他地方からの種の侵略と攪乱の跡を如実に反映した成果を見出してしまう。

茨城県の昆虫相の特色は、低標高県という地形の特色から全国的にみて平地性、平凡な種と呼ばれる昆虫の多いことであり、水域面積の広大なことからしても水生昆虫類の多彩さもある。さらに、東北地方から南下する阿武隈山地、八溝山地の南限の地であって、そうした山地性の昆虫が生息し、山間の溪流域には隔離的、遺存的な分布を示す種の生息も見られる。

また、地域的には、県南部から進入して北上を続け、分布を拡大しつつある昆虫のいくつかも明らかになってきている。

これらを反映するかのようには、本報告書の中では、筑波山でも北限の種のような分布の限界を示す種の存在、水生昆虫においては遺存的な分布を示す全国的な稀少種の生息、さらに普通種の種数・個体数の豊富さなどの例が挙げられている。

調査者及び執筆者

廣瀬 誠* (茨城県自然観察指導員連絡会長)

井上尚武* (茨城県立多賀高等学校)

小菅次男* (茨城生物の会)

平井剛夫* (蚕糸・昆虫農業技術研究所)

成田行弘 (水戸芸術館)

久松正樹* (ミュージアムパーク茨城県自然博物館)

山根爽一* (茨城大学教育学部)

飯島義克* (茨城県立下妻第一高等学校)

石塚武彦* (守谷町立大井沢小学校)

齊藤 修* (農業環境技術研究所)

金井節博 (茨城県立明野高等学校)

(*印は各論の執筆者を示す)

(執筆 廣瀬 誠)

トンボ類

調査地及び方法

1994年春から1997年春にかけての3年間の調査期間中、延べ60日、筑波山北面の真壁町田、金井、羽鳥を通り、女体山頂までの山麓、林道、登山道周辺一帯で、標高150 mまでをAゾーン、150 mから500 mまでをBゾーン、500 mから800 mをCゾーン、それ以上山頂までをDゾーンとして調査した(表1、図1)。

調査範囲の森林、路上、河川、池沼、湿地、休耕田などを中心にトンボ目昆虫の種の確認や個体数の計測は目視を主としたが、一部の種では成虫、幼虫ともに

表1. 筑波山のトンボ類調査。

平成6年(1994) 4月16日	10月5日
5月6日	10月21日
5月7日	11月14日
5月9日	12月21日
5月24日	
6月8日	平成8年(1996) 1月14日
6月22日	2月20日
7月12日	3月14日
7月27日	3月26日
8月6日	4月23日
8月14日	5月6日
8月28日	5月10日
9月5日	5月29日
9月11日	6月16日
9月14日	6月21日
10月13日	7月9日
10月30日	7月16日
11月9日	8月7日
12月13日	8月15日
	9月6日
平成7年(1995) 1月7日	9月11日
2月17日	10月10日
3月5日	10月18日
3月27日	11月14日
4月13日	12月18日
5月18日	
6月8日	平成9年(1997) 2月5日
6月30日	3月7日
7月20日	3月21日
8月6日	
8月20日	
8月27日	
9月8日	
9月23日	

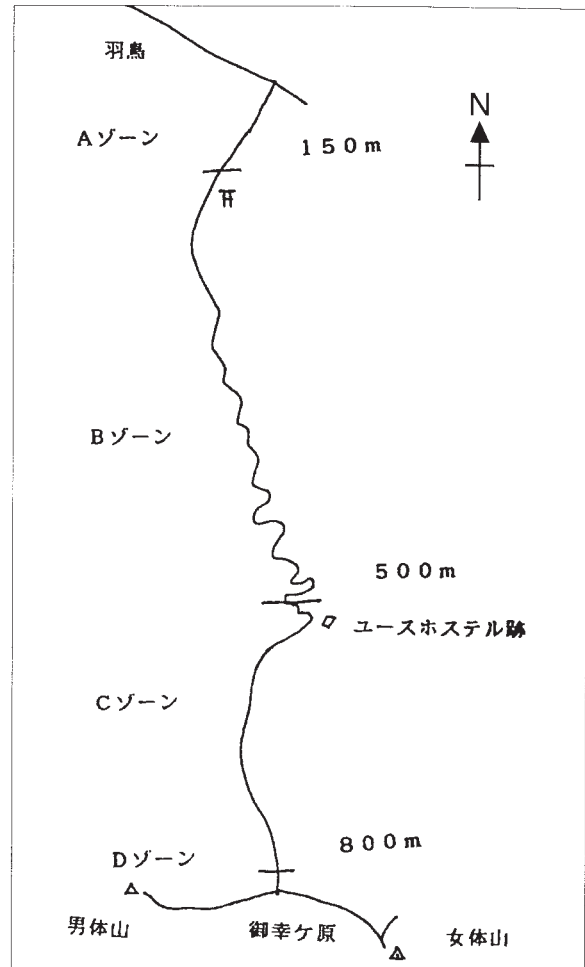


図1. 筑波山調査地区分。

採取による確認も行い調査の正確さを期した。

結果

*は枝(1972)にあるが、今回は確認できなかった種、**は枝(1972)に無く滝田(1983)にあるが、今回は確認できなかった種を示す。

イトトンボ科 Agrionidae

1. モートンイトトンボ
Mortonagrion selenion (Ris)*
2. キイトトンボ
Ceriagrion melanurum Selys
3. アジアイトトンボ
Ischnura asiatica Brauer
4. クロイトトンボ
Cercion calamorum calamorum (Ris)
5. セスジイトトンボ
Cercion hieroglyphicum (Brauer)*
6. オオイトトンボ
Cercion sieboldii (Selys)*

- モノサシトンボ科 Platycnemididae
7. モノサシトンボ
Copera annulata (Selys)
- アオイトトンボ科 Lestidae
8. オツネトンボ
Sympecma paedisca paedisca (Eversmann)
9. ホソミオツネトンボ
Indolestes peregrinus (Ris)
10. アオイトトンボ
Lestes sponsa (Hansemann)
11. オオアオイトトンボ
Lestes temporalis Selys
- カワトンボ科 Calopterygidae
12. ハグロトンボ
Calopteryx atrata Selys
13. アオハダトンボ
Calopteryx japonica Selys*
14. ミヤマカワトンボ
Calopteryx cornelia Selys
15. ヒガシカワトンボ
Mnais pruinosa costalis Selys
- ムカシトンボ科 Epiophlebiidae
16. ムカシトンボ
Epiophlebia superstes (Selys)
- ムカシヤンマ科 Petaluridae
17. ムカシヤンマ
Tanypteryx pryeri (Selys)
- サナエトンボ科 Gomphidae
18. ミヤマサナエ
Anisogomphus maacki (Selys)*
19. ナゴヤサナエ
Stylurus nagoyanus (Asahina)*
20. メガネサナエ
Stylurus oculus (Asahina)*
21. ヤマサナエ
Asiagomphus melaenops (Selys)
22. キイロサナエ
Asiagomphus pryeri (Selys)*
23. ホンサナエ
Gomphus postocularis Selys*
24. コサナエ
Trigomphus melampus (Selys)*
25. ダビドサナエ
Davidius nanus (Selys)
26. クロサナエ
Davidius fujiama Fraser*
27. ヒメクロサナエ
Lanthus fujiacus (Fraser)
28. オジロサナエ
Stylogomphus suzukii (Oguma)
29. アオサナエ
Nihonogomphus viridis Oguma*
30. オナガサナエ
Onychogomphus viridicosta (Oguma)*
31. コオニヤンマ
Sieboldius albardae Selys
32. ウチワヤンマ
Ictinogomphus clavatus (Fabricius)*
- オニヤンマ科 Cordulegasteridae
33. オニヤンマ
Anotogaster sieboldii (Selys)
- ヤンマ科 Aeschnidae
34. サラサヤンマ
Oligoaeschna pryeri (Martin)
35. ミルンヤンマ
Planaeschna milnei (Selys)
36. コシボソヤンマ
Boyeria maclachlani (Selys)*
37. カトリヤンマ
Gynacantha japonica Barteneff
38. ヤブヤンマ
Polycanthagyna melanictera (Selys)
39. オオルリボシヤンマ
Aeschna nigroflava Martin
40. ギンヤンマ
Anax parthenope julius Brauer*
41. クロスジギンヤンマ
Anax nigrofasciatus nigrofasciatus Oguma
- エゾトンボ科 Corduliidae
42. トラフトンボ
Epilheca marginata (Selys)*
43. オオエゾトンボ

- Somatochlora viridiaenea atrovirens* Selys
44. タカネトンボ
Somatochlora uchidai Forster
45. コヤマトンボ
Macromia amphigena amphigena Selys
46. キイロヤマトンボ
Macromia daimoji Okumura*
47. オオヤマトンボ
Epophthalmia elegans (Brauer)*
- トンボ科 Libellulidae
48. ハラビロトンボ
Lyriothemis pachygastra (Selys)
49. シオカラトンボ
Orthetrum albistylum speciosum (Uhler)
50. シオヤトンボ
Orthetrum japonicum japonicum (Uhler)
51. オオシオカラトンボ
Orthetrum triangulare melania (Selys)
52. ベッコウトンボ
Libellula angelina Selys*
53. ヨツボシトンボ
Libellula quadrimaculata asahinai Schmidt*
54. ハッチョウトンボ
Nannophya pygmaea Rambur
55. ショウジョウトンボ
Crocothemis servilla mariannae Kiauta
56. コフキトンボ
Deielia phaon (Selys)*
57. ミヤマアカネ
Sympetrum pedemontanum elatum (Selys)
58. リスアカネ
Sympetrum risi risi Bartenef**
59. ナツアカネ
Sympetrum darwinianum (Selys)
60. アキアカネ
Sympetrum frequens (Selys)
61. マイコアカネ
Sympetrum kumckeli (Selys)
62. ヒメアカネ
Sympetrum parvulum (Bartenef)*
63. マユタテアカネ
Sympetrum eroticum eroticum (Selys)
64. ノシメトンボ
Sympetrum infuscatum (Selys)

65. コノシメトンボ
Sympetrum baccha matutinum Ris*
66. キトンボ
Sympetrum croceolum Selys*
67. ウ斯巴キトンボ
Pantala flavescens (Fabricius)
68. コシアキトンボ
Pseudothemis zonata Burmeister
69. チョウトンボ
Rhyothemis fuliginosa Selys*

解説

筑波山のトンボに関する先駆的な調査報告は、地元の中学校のクラブ誌に生徒の記録を見ることができ、菅間中学校1年の飯島市蔵は、茨城自然研究同好会誌「自然茨城」の創刊号(1949)に「筑波山のチョウとトンボ」と題して、ウチワヤンマ、カトリヤンマ、ミルンヤンマ、コシボソヤンマ、コオニヤンマ、サナエトンボ、オニヤンマ、ハラビロトンボ、ギンヤンマ、ノシメトンボ、ヒトスジサナエ、オホシオカラトンボ、コシアキトンボ、ミヤマアカネ、シヤウジョウトンボ、ウ斯巴キトンボ、オツネントンボ、ミヤマカワトンボ、ハグロトンボ等が比較的容易に採集できたとし、沢の中とか雨の前とか夕方しか飛ばないヤンマが頂上で乱舞していると報じた。次いで、第2号(1950)では、菅間中2年の青木昭次郎が、「続筑波山のチョウとトンボ」の中で、コヤマトンボを追加した。翌年1951年には、菅間中学校生物クラブ「生物」IIに、藤田正己が「筑波山付近における昆虫と植物の目録」を挙げ、ルリボシヤンマ、オナガサナエ、ムカシトンボ、グンバイトンボ等の名が見られたが、広瀬(1953)は、これらグンバイトンボ等を疑問の多い種として扱った。続く、広瀬(1953, 1971, 1977)や、茨城県教育委員会(1970)、茨城県高等学校教育研究会生物部(1971, 1974)の特別地域自然財分布報告書、今村(1966)ではムカシトンボ等が注目されている。

筑波山のトンボに関しては、昭和47年(1972)に枝重夫が、日本蜻蛉学会誌「TOMBO」第15巻第1～4号に、筑波山付近の蜻蛉類と題して総括し、その後、広瀬(1976)などが茨城県のトンボ相を扱った際に筑波山のトンボに触れたり、短報的にいくつかのトンボを報じたりしたが、滝田(1983)が1980年代初頭の、主として元筑波町側の山麓から山頂にかけての調査結果を報じた後、総括的な報告はない。

表2. 筑波山トンボ種類数.

科名	種数
イトトンボ科	3種
モノサシトンボ科	1種
アオイトトンボ科	4種
カワトンボ科	3種
ムカシトンボ科	1種
ムカシヤンマ科	1種
サナエトンボ科	5種
オニヤンマ科	1種
ヤンマ科	6種
エゾトンボ科	3種
トンボ科	14種
11科	42種

筑波山北稜の登山道周辺を日中歩行し、現地調査で確認された本報告の11科42種のトンボは、昭和40年代の枝（1972）の記録した65種に比して、構成種の減少ばかりか、多くの種の個体数の減少が注目される。

筑波山北面、真壁町に位置する山麓一帯に見る谷津田、溜め池、休耕田内の池などの止水性の種の構成には大きな変動はないが、山地から山麓にかけての流水性種であるサナエトンボ科、ヤンマ科の種類数の減少は顕著で、林道工事、護岸工事、さらに岩石流など、山間の渓流域の環境変化がもたらした結果ではないかと推定している。

枝（1972）の報告によるヤマトンボ科を、その後の改定でエゾトンボ科に含め、今回の調査結果と比較してみると、イトトンボ科、サナエトンボ科の記録種数に大きな差があることが分かる。

イトトンボ科の種については、調査地のAゾーンに谷津田、休耕田や人家内の池、農業用の溜め池があるが、水生植物の貧弱さなどから、生息が予想されたモートンイトトンボなどは記録できなかった。

サナエトンボ科については山地から山麓にかけての河川、沢、特に桜川とその支流の水域環境の変化のためか、メガネサナエ、ナゴヤサナエ、ミヤマサナエ、オナガサナエ、キイロサナエ、ホンサナエ、コサナエ、クロサナエ、アオサナエ、ウチワヤンマの10種の確認がとれなかった。

枝の記録当時では、メガネサナエ、ナゴヤサナエは、1957年頃には両種が半々くらいの割合であったが、1965年頃よりナゴヤサナエが圧倒的に多くなり、1970年代に入って、両種とも激減し、1972年8月の調査では全く発見できなかったという。枝の報告以後の調査結果から、山麓を流れる桜川中流域の河川性サナエトンボが急減した時期は1970年代初頭ではない

かと想定できる。

調査地内の溪流にしても、流域の人工的な改修の結果、河川形態が変化し、ダビドサナエ、オジロサナエといった小型の流水性サナエトンボの個体数は減少している。

しかしながら、山頂で数度に亘って目撃できたヤンマ科オオルリボシヤンマの記録や、山麓のAゾーン内の休耕田でのトンボ科ハッチョウトンボの記録は、地域を厳密に規定しても枝の種数に追加できるものであり、今後さらなる山頂周辺や山麓一帯の調査、各種の生態的な観察の必要性を痛感している。

今回の調査では、幼虫が溪流の源流域に生息するムカシトンボ科ムカシトンボは健在であり、ムカシヤンマ科ムカシヤンマがBゾーンに個体数は多くないが広く生息、渓流域に生息のカワトンボ科ミヤマカワトンボ、ヒガシカワトンボの個体数も安定していることが分かった。

年間を通しては、春はアオイトトンボ科ホソミオツネトンボ、初夏はムカシトンボ、夏はオニヤンマ科オニヤンマ、秋はトンボ科ノシメトンボの4種が筑波山北稜のトンボの代表と見なせよう。

調査全体からトンボ相の特徴的な点を指摘するとすれば、標高差による垂直的な分布が明瞭なものと、そうではなく調査地一帯に広域に見られるものとの混在が挙げられる。

山地渓流域を代表するムカシトンボやヒメクロサナエは、Cゾーンの渓流域で幼虫の確認ができ、さらに成虫は森林内の溪流周辺から山頂部まで姿を見せることもあって、Cゾーンの代表種とみなせよう。

低山地性とみなされるムカシヤンマ、ダビドサナエ、オジロサナエなどは、B・Cゾーンの溪流やその周辺に生息が確認できても、年によって発生個体数が変動し、個体数は貧弱化の傾向を示した。それに反して、本県では低地性の種、ホソミオツネトンボ、オニヤンマ、クロスジギンヤンマ、オオエゾトンボ、ノシメトンボなどが、AからDゾーンまで調査地一帯に姿を現し、垂直的な分布の様相を把握できなかった。その原因としては、飛翔性昆虫であるトンボが日中の上昇気流に乗って山頂部に集合してしまうという物理的な原因も考えられる。これらの全ての幼虫が山麓部の水域で確認できることから、トンボ類の生息には、幼虫生息の水域、それに成虫の成熟までの生活空間としての広域な森林や原野の存在が必要なことは明確である。

1. 分布上注目すべき種

記録末尾の () 内のA~Dは調査地を区分したゾーンの符号を示す。

(1) ムカシトンボ *Epiophlebia superstes* (Selys)
May 9. 1994 6 ♂(C), May 24. 1994 8 ♂(D), May 18. 1995 6 ♂(D), Jun 8. 1995 9 ♂ 1 ♀(D), May 6. 1996 1 ♂(C), May 10. 1996 1 ♂(C), May 29. 1996 6 ♂ 3 ♀(D)

我が国特産種で、生きている化石トンボとしても著名である。幼虫は溪流の源流域に生息し、幼虫時期が長く7~8年を要すると言われているが、筑波山の幼虫では確かめられていない。

幼虫は、流れの急な細流の河床の小石やレキ、落葉の下に潜み、1年中、生育段階がさまざまな幼虫が見られる。羽化時期は4月中旬から5月上旬。成虫はC・Dゾーンで6月上旬まで観察できる。産卵植物はウバミソウなどの流れの周辺に自生する草本植物で、コケ類などへの産卵は見えていない。

茨城県内では最南端の生息地であり、幼虫は造林地内の溪流の源流域にも生息している。

(2) ヤブヤンマ *Polycanthagyna melanictera* (Selys)

Aug 14. 1994 1 ♀(B)

低地から山地にかけて生息するヤンマ科の1種であるが、近年、県内各地で個体数の減少が著しく、筑波山においても観察例は少ない。

(3) オオルリボンヤンマ *Aeschna nigroflava* Martin

Aug 20. 1995 2 ♂(D) 目撃, Aug 15. 1996 2 ♂目撃, Sep 11. 1996 1 ♂(D)

女体山頂上を飛翔通過した正午前後の記録のみである。

(4) オオエゾトンボ *Somatochlora viridiaenea atrovirens* Selys

Jun 22. 1994 2 ♂(A), Sep 14. 1994 1 ♀(A), Jul 16. 1996 1 ♂(A)

山麓に放置されている水田跡地内に生じた水溜まりや湿地内の細流の岸に幼虫が生活し、成虫は、林道上や流れの周辺の疎林内を飛ぶ。

(5) タカネトンボ *Somatochlora uchidai* Forster

Aug 28. 1994 2 ♂(B), Aug 20. 1995 1 ♀(B), Aug 7. 1996 1 ♂(B)

山間に残された小さな水溜まりや湧水池などに幼虫が生息する。県内では、近年観察個体が減少し、今回の調査でも、年1例の記録にとどまり、筑波山では稀少な種になってしまった。

(6) ハッチョウトンボ *Nannophya pygmaea* Rambur

Jun 22. 1994 12 ♂ 9 ♀(A), Jul 12. 1994 1 ♂(A), Jun 30. 1995 4 ♂ 3 ♀(A), Jun 16. 1996 1 ♂ 2 ♀(A), Jul 9. 1996 6 ♂ 7 ♀(A)

枝(1972)の記録になかった種で、Aゾーンに生じた休耕田、その周辺の細流に発生が認められた。

生息環境は、地形、植生とも安定しており、調査期間中、梅雨時期に発生が見られた。

(7) マイコアカネ *Sympetrum kunkeli* (Selys)

Sep 11. 1994 3 ♂ 1 ♀(A), Aug 27. 1995 1 ♂ 2 ♀(A), Sep 8. 1995 3 ♂(A), Oct 5. 1995 1 ♂ 1 ♀(A), Sep 6. 1996 2 ♀(A), Oct 10. 1996 1 ♂(A), Oct 18. 1996 1 ♂ 1 ♀(A)

枝(1972)は、分布可能種のなかに、マイコアカネ、リスアカネ等を挙げていたが、共に滝田(1983)が記録し、今回の調査では、マイコアカネをAゾーンで確認でき、その個体数は増加の傾向を見せている。

(8) ヒガシカワトンボ *Mnais pruinosa costalis* Selys

May 24. 1994 9 ♂ 2 ♀(B), Jun 22. 1994 12 ♂ 4 ♀(A), Jun 22. 1994 2 ♂ 2 ♀(A), May 18. 1995 4 ♂ 6 ♀(A), Jun 8. 1995 3 ♂ 5 ♀(B), Jun 30. 1995 (B), Apr 23. 1996 2 ♂(A), May 6. 1996 6 ♂ 4 ♀(B), May 10. 1996 3 ♂ 4 ♀(B), May 29. 1996 1 ♂ 3 ♀(C), Jun 16. 1996 2 ♀(B)

Asahina, S.(1976)によれば、筑波山は、茨城県では唯一のニシカワトンボ *Mnais pruinosa pruinosa* の産地であるが、今回の調査中、A・B・Cゾーンで点検した77個体(43♂, 34♀)は全てヒガシカワトンボ *M. p. costalis*であった。

2. 生態的に注目すべき種

(1) ホソミオツネトンボの季節的移動

春期、成熟し、雌雄連結した状態で池沼に飛来、水

中から生じた草本の茎などに産卵が見られ、幼虫もこうした止水域で生活し、急速に発育して、7月下旬に羽化が見られる。

未熟な成虫は、羽化後すぐさま、水域から離れて、周辺の雑木林の下草の間に姿を隠し、時には地上3mほどの小枝の先に静止する姿を見る。盛夏は、山麓のAゾーン内で盛んに採食する個体を発見できるが、晩夏から中秋にかけて、全ての個体がBゾーンまで移動し、林道に沿った草地にも見られるようになる。こうした、登山的な傾向は晩秋まで観察でき、それらの一部はDゾーンにまでも移動し、山頂のブナ林帯に達する。越冬個体はA・Dゾーンで観察できた。林縁部で発見したが、冬期、直接は風が吹き付けない、平均地上高1mほどの日当たりのよい枯れ枝の中程や先端部に静止する個体であって、草本に静止する個体を見ていない。

筑波山においては、春季5月下旬の産卵地はAゾーン内であり、それより高地で越冬の個体の中には、標高差700mほどを下山してからの配偶行動、繁殖行動をとるものもあるようだ。

こうした旺盛な移動力の結果なのか、近似の生態を持つオツネトンボは急速に姿を減じているにもかかわらず、年々、本種は個体数、生息地とも記録が増えてきている。

(2) ムカシトンボの女体山頂占有飛翔

成虫の飛翔習性としては、成熟雄が暗い渓流域を往復して、産卵中の雌をとらえて連結したり、林間の開けた場所や林道上の空間を地上5mほどの高さで往復旋回するといった観察例はある。

筑波山においては、Cゾーン源流域で羽化した成虫が、どこで成熟を待つかの記録はないが、雄の成熟個体はDゾーンのブナ帯にまで姿を現し、快晴の日の正午前後においては御幸ヶ原の地面上を低く軽快に飛翔し、林内に姿を消すことは知られている。

こうした個体が観察できると、その後、女体山、男体山の山頂の露出した岩石を嘗めるかのように低く飛ぶ成熟雄が見られるようになる。

通常、女体山頂部北部のブナ林から出現し、女体山神社の石段に添って上昇し、一等三角点の標識あたりで旋回、高く飛ぶことなく神社裏手に姿を消す。飛翔空間に登山者がいても、大きく飛翔路を乱すことなく、2～4回旋回し、時には数個体が追いかけてあうこともある。

上昇気流に乗ってか、それとも溪流周辺の林内の暗

さから抜けて山頂の明るさに導かれて飛翔してくるのかとも考えられるが、山頂では微小な双翅目昆虫を捕食する。この地より高所はなく、摂食のために成熟雄は山頂を占有できても、成熟雌がどこで雄を待ち、産卵植物をどうして選定するかの観察例はない。

滝田(1983)は、5月に男体山頂に集まる習性が顕著で、群がり、交尾中のもを見たこと報告している。

(3) ハッチョウトンボの生息地

調査地の山麓部、標高約70m、Aゾーン内に残る休耕田内の湿地で発見してから3年間、個体数は安定している。発生の盛期は6月下旬で、県内の低地の例としては、1旬遅い。

県内では、八郷町、新治村、真壁町を結ぶ筑波山麓の線がハッチョウトンボの生息地としての南限線を描き、各産地とも周辺の開発や生息地の植生・水質・水量の変化等で生息環境は危機的な状況にある。

尚、この休耕田は、廣瀬(1982)が報じた筑波郡真壁町の山麓の小湿地とは異なる地である。

(4) ノシメトンボの山登り

1970年代、枝の報告時には「筑波山測候所にあった破損した1雌の標本を保管している」とあるが、その当時から20年経った現在、筑波山において最も個体数が多いトンボ科の昆虫は本種である。

幼虫が、生活排水等で幾分水質が汚染された池、沼ばかりか、水田跡の水溜まり、プールといった人工水域にも生息でき、年々個体数が増加している。

調査地、Aゾーンにおいては、6月下旬に羽化が見られ、最終見は11月中旬である。7月中旬まではAゾーンで見られるが、盛夏が訪れるや、調査地全域に姿を見せ、Dゾーンのブナ帯下草に静止する個体数は、未熟なアキアカネを越す。夏期、晴れた日の正午前後、山頂での群飛にはアキアカネの混在もあるが、翅端がくすむ本種が圧倒的に多く、平成7年8月6日、15分間の観察では、観察個体400の70%が本種で、残りの大半はアキアカネ、それに少数のウスバキトンボであった。こうした山頂で優勢な本種は、9月の台風期が過ぎると、山頂からは姿を消し、山麓Aゾーンで、交尾、産卵の記録は11月まで継続する。

個体数を増したノシメトンボにとって女体山頂の生態的な意義は成熟を待つまでの摂食空間なのだろう。

一般的に、調査地内では、トンボの死体を見る機会は稀だが、例外的に本種は、山麓の池や水田跡の水溜まりに落ちて死んだものを見る。特に、11月、冷え

込んだ朝など、水面に落下し、翅を広げて浮かんでいるものは確実に死ぬ。林道沿いの窪地に溜まった水に何らかの油が浮かび、そこに羽を広げて浮かぶ死体を23(10♂13♀)も数えたことがある。産卵のための着水時に腹部や翅が濡れて飛べなくなってしまうようだ。これらは自然死なのか事故死なのか判定は難しい。

Sympetrum 属のトンボの推移については、幼虫の生息環境を含めて、十分な資料がない。このところ、筑波山全山でのノシメトンボの増加は顕著であっても、山麓周辺では、アキアカネを除く、ミヤマアカネ、コノシメトンボ、リスアカネなどの盛衰は、過去30年ほどの調査では論じられないものがある。

現在、普通種のノシメトンボ、アキアカネ以外の種では、個体数の減少や年による発生場所の変動を見る時、本属にあって定量的な調査が可能な種を探すことは困難になってしまった。

山麓一帯に発達していた止水域、特に湿地、水田、池沼の環境の変化が原因ではないかとも考えられるが、そうした変化を示す資料もない。

引用文献

- (1) Asahina, S. 1976. A revisional study of the genus *Mnais* (Odonata, Calopterygidae) - VIII. A proposed taxonomy of Japanese *Mnais*. TOMBO (日本蜻蛉学会誌), **19** (1-4): 2-16.
- (2) 枝 重夫. 1972. 筑波山付近のトンボ類. TOMBO, **15** (1-4): 28-32.
- (3) 廣瀬 誠. 1953. 茨城県産トンボ誌第II報. 虫の国(茨城虫の会誌), **8** (1): 12-30.

- (4) 廣瀬 誠. 1971. 茨城のトンボ. おけら(茨城昆虫同好会誌), **40**: 79-99.
- (5) 廣瀬 誠. 1976. 茨城県のトンボ資料. 第1報. 月刊むし, (67): 9-14.
- (6) 廣瀬 誠. 1977. 茨城のムカシトンボ研究史. 瑠璃星(水戸昆虫研究会誌), (10): 105-114.
- (7) 廣瀬 誠. 1979. 茨城県のトンボ相(茨城県のトンボ 資料第2報). 昆虫と自然, **14** (6): 66-71.
- (8) 廣瀬 誠. 1982. 茨城の蝶とトンボ. 昆虫と自然, **17** (7): 16-20.
- (9) 茨城県高等学校教育研究会生物部. 1971. 自然財分布調査報告書. pp.63.
- (10) 茨城県高等学校教育研究会生物部. 1974. 昭和47年度特別地域自然財分布調査報告書. pp.386-392.
- (11) 茨城県教育委員会(編). 1970. 昭和44年度特別地域自然財分布調査報告書. pp.297-300.
- (12) 今村泰二. 1966. 筑波山と加波山の動物. 筑波自然公園学術調査報告. pp.59-65.
- (13) 水戸昆虫研究会(編). 1993. 茨城県の昆虫. トンボ目. pp.24-35, 水戸市立博物館.
- (14) 滝田 論. 1983. 筑波山のトンボ 1980-1982. おとしぶみ(筑波大学昆虫談話会誌), (12): 17-19.
- (15) 植村好延. 1997. つくば市のトンボ若干の知見. おとしぶみ(つくば昆虫談話会誌), **17**: 27-28.

(調査研究及び執筆 廣瀬 誠)

バッタ類

調査地および方法

調査地は主に真壁町羽鳥の表坪から筑波山頂上周辺までのルートで、調査期間は1995年、1996年である。方法は調査ルートを歩きながら目視と採集網によるスーピング等によった。直翅類のうちコオロギ類やキリギリス類のように発音する種類は、鳴き声のみによる確認も併用した。しかしシーズン中に十分な調査ができなかったため、筑波山全体の未発表の過去の記録も含めた。

結果

今回の調査で確認できたのは、文献からの引用および過去の未発表記録も含めて4目14科67種類であった。過去の未発表記録の中には鈴木幹男氏のものを含んでいる。しかし生息が十分予想されながら確認できなかった種も多いので、今後の継続的調査によってまだまだ追加種がありうる。とりあえず現時点でのリストを以下に掲げる。なお和名と学名は市川（1998）によった。

種名の後の数字は確認できた文献の番号を、*は本調査において確認できなかった種を示す。

バッタ目 Orthoptera

バッタ亜目（有弁亜目）Caelifera

ヒシバッタ上科 Tetrigoidea

ヒシバッタ科 Tetrigidae

1. トゲヒシバッタ
Criotettix japonicus japonicus (de Haan)
2. ハネナガヒシバッタ
Euparattix insularis Bey - Bienko
3. コバネヒシバッタ
Formosatettix larvatus Bey - Bienko
4. ハラヒシバッタ
Tetrix japonica (Bolivar)
5. アズマモリヒシバッタ
Tetrix kantoensis kantoensis Uchida and Ichikawa, 1998MS⁽¹⁰⁾

バッタ上科 Acridoidea

オンブバッタ科 Pyrgomorphidae

6. オンブバッタ
Atractomorpha lata (Motschulsky)⁽²⁾

イナゴ科 Catantopidae

7. コバネイナゴ
Oxya yezoensis Shiraki
8. ツチイナゴ
Nomadacris japonica (Bolivar)
9. アオフキバッタ
Parapodisma subaptera (Hebard)⁽⁴⁾⁽⁵⁾⁽⁶⁾
10. ヤマトフキバッタ
Parapodisma yamato Tominaga and Storozhenko⁽⁴⁾⁽⁵⁾

バッタ科 Acrididae

11. ショウリョウバッタ
Acrida cinerea (Thunberg)⁽²⁾
「本種は従来1種とされていたが、近年3種類ほど国内に分布すると言われている。しかし文献からの引用があって確認できないので、ここでは従来の和名で扱った。」
 12. ショウリョウバッタモドキ
Gonista bicolor (de Haan)^{(2)*}
 13. トノサマバッタ
Locusta migratoria (Linnaeus)
 14. クルマバッタ
Gastrimargus marmoratus (Thunberg)
 15. クルマバッタモドキ
Oedaleus infernalis Saussure
 16. イボバッタ
Trilophidia japonica Saussure
 17. ナキイナゴ
Mongolotettix japonicus (Bolivar)
 18. ヒロバネヒナバッタ
Megalaucobothrus latipennis (Bolivar)⁽⁶⁾⁽¹²⁾
 19. ヒナバッタ
Chorthippus biguttulus maritimus Mistshenko
- ノミバッタ上科 Tridactyloidea
- ノミバッタ科 Tridactylidae
20. ノミバッタ
Xya japonica (De Haan)
- コオロギ亜目 Ensifera
- コロギス上科 Gryllacridoidea
- コロギス科 Gryllacridae
21. ハネナシコロギス
Nippancistroger testaceus (Matsumura et Shiraki)⁽⁶⁾

- カマドウマ科 Rhabdiphoridae
22. マダラカマドウマ
Diestrammena japonica Blatchley
23. コノシタウマ
Tachycines elegantissimus (Griffini) ⁽⁵⁾
24. コガタカマドウマ
Allotachycines sp. ^{(4)(8)*}
- キリギリス上科 Tettigonioidea
- キリギリス科 Tettigoniidae
25. ヤブキリ
Tettigonia orientalis Uvalov ⁽²⁾⁽⁵⁾⁽⁶⁾⁽¹³⁾
26. キリギリス
Gampsocleis mikado Burr ^{(2)*}
27. ヒメギス
Eobiana engelhardti subtropica (Bey - Bienko)
28. コバネヒメギス
Metrioptera bonneti (Bolivar) ⁽⁵⁾
29. ハヤシノウマオイ
Hexacentrus japonicus Karny ⁽⁶⁾
30. クサキリ
Ruspolia lineosa (Walker)
31. ヒメクサキリ
Ruspolia jezoensis (Matsumura et Shiraki) ⁽⁶⁾⁽⁷⁾
32. クビキリギス
Euconocephalus varius (Walker)
33. ウスイロササキリ
Conocephalus chinensis (Redtenbacher)
34. オナガササキリ
Conocephalus gladiatus (Redtenbacher)
35. コバネササキリ
Conocephalus japonicus (Redtenbacher)
36. ササキリ
Conocephalus melas (De Haan) ⁽²⁾
37. ヒメツユムシ
Leptoteratura albicornis (Motschoulsky) ^{(6)*}
38. ヒメヤブキリモドキ
Tettigoniopsis forcipicercus Yamasaki ⁽⁵⁾
39. ツユムシ
Phaneroptera falcata (Poda)
40. アシグロツユムシ
Phaneroptera nigroantennata Brunner ⁽⁶⁾⁽¹³⁾
41. セスジツユムシ
Ducetia japonica (Thunberg)
42. ホソクビツユムシ
- Shirakisotima japonica* (Matsumura et Shiraki)
43. サトクダマキモドキ
Holochlora japonica Brunner
44. ヤマクダマキモドキ
Holochlora longifissa Matsumura et Shiraki ^{(9)*}
- コオロギ上科 Grylloidea
- コオロギ科 Gryllidae
45. エンマコオロギ
Teleogryllus emma (Ohmachi et Matsuura)
46. タンボコオロギ
Lepidogryllus siamensis Chopard
47. モリオカメコオロギ
Loxoblemmus sylvestris Matsuura
48. ハラオカメコオロギ
Loxoblemmus campester Matsuura
49. ミツカドコオロギ
Loxoblemmus doenitzi Stein
50. ツヅレサセコオロギ
Velarifictorus micado (Saussure)
51. クマスズムシ
Sclerogryllus punctatus (Brunner)
52. アオマトムシ
Trujalia hibinonis (Matsuura) ⁽³⁾
53. カンタン
Oecanthus longicauda Matsumura ⁽⁶⁾
54. ヤマトヒバリ
Homoeoxipha obliterated (Caudell)
55. クサヒバリ
Svistella bifasciata (Shiraki)
56. エゾスズ
Pteronemobius yezoensis (Shiraki)
57. ヤチスズ
Pteronemobius ohmachi (Shiraki)
58. マダラスズ
Dianemobius nigrofasciatus (Matsumura)
59. シバスズ
Polionemobius mikado (Shiraki)
- ケラ科 Gryllotalpidae
60. ケラ
Gryllotalpa orientalis Burmeister
- カネタタキ科 Mogoplistidae
61. カネタタキ

Ornebius kanetataki (Matsumura)

ナナフシ目 Phasmatodea

ナナフシ科 Phasmatidae

62. ナナフシモドキ

Baculum irregulariterdentatum (Brunner von Wattenwyl) ⁽⁶⁾(13)

63. トビナナフシ (ニホントビナナフシ)

Micadina phluctaenoides (Rehn) ⁽⁹⁾*

ゴキブリ目 Blattaria

オオゴキブリ科 Panesthiidae

64. オオゴキブリ

Panesthia angustipennis spadica (Shiraki) ⁽²⁾(13)*

カマキリ目 Manteodea

カマキリ科 Manteidae(Mantidae)

65. オオカマキリ

Tenodera aridifolia (Stoll) ⁽²⁾

66. チョウセンカマキリ (カマキリ)

Tenodera angustipennis Saussure

67. コカマキリ

Statilia maculata (Thunberg and Lundahl) ⁽²⁾(6)

解説

関東の名山筑波山は、その特異な地理的位置によって明治以来多くの生物学者の注目を引いてきたが、直翅類に関する報告は意外と少なく、巻末に掲げた文献(2)~(10)(12)(13)に断片的な記録があるのみで、筆者の知る限りまとまった報告はなかった。ただ過去における調査で特筆すべきは、日本直翅類研究会(現日本直翅類学会)会員による霞ヶ浦湖岸の合宿調査会の際、1日をさいて筑波山の調査を実施したことである(井上, 1986b)。短時間の調査ではあったが、各分類群の専門家によるものなので筑波山における直翅類相の特徴を把握する意味で意義があったと思う。特に西日本で多数の種分化が見られるヒメツユムシ亜科(ササキリモドキ亜科)については、東日本の他の地域と同様筑波山の固有種とも言うべきものは発見できなかった。

なお筑波山の昆虫相を論ずる上で忘れてならないのは、畠山(1936)が指摘しているように、気温の逆転層のために中腹南側が冬暖かく、南に分布する昆虫が中腹に生息するという現象が見られることである。直翅類相に対してどのような影響を与えているか興

味の持たれるところであるが、残念ながら今回は南方系の種類は明確に確認できなかった。しかし特有の種類は発見できなくてもコバネイナゴなどのように標高によって体の大きさの平均値が異なる種類に、この逆転層が果たしてどのような影響を与えているか、興味の持たれるところであり今後の課題としたい。

今のところ直翅類に関しては筑波山のみに見られる種類は見出されていないが、特筆すべき事として次のような点があげられる。

(1) アズマモリヒシバツタ *Tetrix kantoensis kantoensis* Uchida and Ichikawa, 1998MS

内田正吉および市川顕彦の両氏のご教示によると北茨城市定波や埼玉県神泉村に分布するものと同じ未記載種で、現在両氏が記載文を投稿中である。主に林縁の丈の短い草地に生息する。

(2) ヤマトフキバツタ *Parapodisma yamato* Tominaga and Storozhenko

近年記載された種であるが、従来ミカドフキバツタなどと同定されていたもので、県内の山地でも普通に見られる。羽が短く飛べないため、分布の拡大が少ない種と考えられるが、本県においては時に全くの平野部でも見つかっている。植物でも見られるように本県では遺存的な分布をする種である。この点、鹿島神宮の森でも発見されているコバネヒシバツタ *Formosatettix larvatus* Bey-Bienko にも共通する現象である。

(3) コガタカマドウマ *Allotachycines* sp.

筑波山の標高300 m 周辺で確認されているが、日本の数カ所で発見されている未記載種で分布は意外と広いようである。

(4) ヤブキリ *Tettigonia orientalis* Uvalov

本県では短鳴型(シリー・シリーと切って鳴く)と長鳴型(ジー…と長く伸ばして鳴く)が分布し、前者は県北山地に広く分布する。後者は山地から平野にかけて全県的に広く分布する。この両者は別種の可能性があるが、このリストでは1種として扱った。一方同じ長鳴型でも平地産のものはかなり長く伸ばして鳴き1分以上続くが、山地産のものには短く数秒程度しか続かないものがある。数秒程度の長鳴型は阿武隈山地南部の標高150 m 位以上の樹上で鳴声を聴いているが、これと同じものが筑波山の頂上周辺でも聴かれた。この2型が別種なのか同一種なのかは不明だが、長鳴型は日本各地で多くの鳴き声の型がある。筑波山では標高の低い地域と上下ですみわけているのかどうか、今後確認を要する。

引用文献

- (1) 畠山久重. 1936. 筑波山に暖地性昆虫の棲息する原因に就いての考察. 虫の世界, **1** (3), 2.
- (2) 茨城県高等学校教育研究会生物部. 1971. 昭和45年度自然財分布調査報告書. 106 pp.
- (3) 井上尚武. 1984. 茨城の直翅類 分布生態ノート. おけら, **53**: 1-8.
- (4) 井上尚武. 1986a. 茨城県の直翅類 (跳躍目). 茨城県高等学校教育研究会生物部会誌, **50**: 133-144.
- (5) 井上尚武. 1986b. 霞ヶ浦合宿の記録'84. バッタリギス, **66**: 7-12.
- (6) 井上尚武. 1988. 昭和62年度夏季研究大会報告・動物班. 茨城県高等学校教育研究会生物部会誌, **52**: 26-33.
- (7) 井上尚武. 1989. 雌の形態計測による日本産クサキリ属3種の比較. 茨城県立水戸農業高等学校紀要, **2**: 2-11.
- (8) 井上尚武. 1992. 茨城県の直翅類 (バッタ目). 茨城の生物 (平成4年版). pp.196-201, 茨城県高等学校教育研究会生物部.
- (9) 井上尚武. 1993. バッタ目, ナナフシ目. 茨城県の昆虫. pp.45-53, 水戸昆虫研究会.
- (10) 市川顕彦. 1991. ヒシバッタノート (その10). バッタリギス, **91**: 55-79.
- (11) 市川顕彦. 1998. 日本産直翅類のカタログ Ver. 1.
- (12) 鈴木成美. 1992. 筑波山の昆虫観察. 学園都市の自然と親しむ会 (編). つくばの自然誌 I・筑波山. pp.82-84, STEP.
- (13) 豊崎永英. 1992. 平成4年度夏季研究大会報告・動物班. 茨城県高等学校教育研究会生物部会誌, **61**: 22-29.

協力者

鈴木幹男 (元茨城大学農学部)

(調査研究及び執筆 井上尚武)

セミ類

調査地及び方法

ルートセンサス法；鳴声・目撃・採集による。調査日及び調査地を表1に示す。

表1. 筑波山セミ類調査日及び調査地。

1995年		1996年	
5月13日	A, B, E, F	5月19日	A, B, E, F
5月28日	B, E, F, H	6月16日	E, C, D
6月11日	A, D	7月7日	H, C, D, F, I, J
6月18日	C, D	7月25日	A, D
7月9日	A, D, E, I, J	8月17日	C, D, E
7月27日	C, D		
7月28日	A		
8月2日	C, D		
8月3日	B, E, G		
8月22日	A, D		
9月10日	C, D, E		

調査ルート

- A 真壁町伊佐々(桃山中)～ユースホステル～山頂
- B 筑波町ガマ園・梅林～真壁町車～薬王院上部～ユースホステル～キャンプ場～つくばね
- C 筑波町営駐車場～筑波神社～みやわき駅～山頂駅
- D 女体山頂～筑波山頂自然観察路～男体山頂(ブナ帯)
- E 筑波山神社(筑波スカイライン)～白滝～つつじがおか～風返峠～八郷町湯袋峠
- F 新治町大志バ～表筑波スカイライン～不動峠～風返峠
- G 湯袋峠～きのこ山～足尾山～一本杉～加波山～燕峠～岩瀬町曾根
- H 八郷町上曾～上曾峠～真壁町伝正寺
- I 八郷町菖蒲沢
- J 八郷町小山田

リスト

今回の調査で確認されたセミ科の種は10種である。

セミ科 Cicadidae

セミ亜科 Cicadinae

1. ヒメハルゼミ

Euterpnosia chibensis chibensis Matsumura

2. アブラゼミ

Graptopsaltria nigrofuscata (Motschulsky)

3. ツクツクボウシ

Meimuna oparifera (Walker)

4. ミンミンゼミ

表2. 文献にみる筑波山のセミ。

文献	ヒメハルゼミ	アブラゼミ	ツクツクボウシ	ミンミンゼミ	ニイニイゼミ	ヒグラシ	エゾハルゼミ	ハルゼミ	アカエゾゼミ	エゾゼミ
木内 玄節(文政年間)		○	○	○	○	○	○(也支)			
岸田 久吉(1929)		○			○	○				○
島山久重他(1929)		○		○	○	○				○
加藤 正世(1932)		○	○	○	○	○	○	?	○	○
関 行孝(1935)	菖蒲沢 小山田									
関 行孝(1936)										
小菅 次男(1975)		○	○	○	○	○	○		○	○
小菅 次男(1980)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

Oncotympana maculaticollis (Motschulsky)

5. ニイニイゼミ

Platypleura kaempferi (Fabricius)

6. ヒグラシ

Tanna japonensis japonensis (Distant)

7. エゾハルゼミ

Terpnosia nigricosta (Motschulsky)

8. ハルゼミ

Terpnosia vacua (Olivier)

9. アカエゾゼミ

Tibicen flammatus (Distant)

10. エゾゼミ

Tibicen japonicus (Kato)

解説

筑波山におけるセミ類の記録は古くは江戸時代の常陸物産誌に漢名と方言で6種が記載されたのが初めてと思われる。その後いくつかの文献に記載されてきたので、表2にその概略をまとめた。

茨城県産のセミとしては13種(小菅, 1981)が記録されている。筑波山にはクマゼミ, コエゾゼミ, チツゼミの3種を除く10種が記録された。

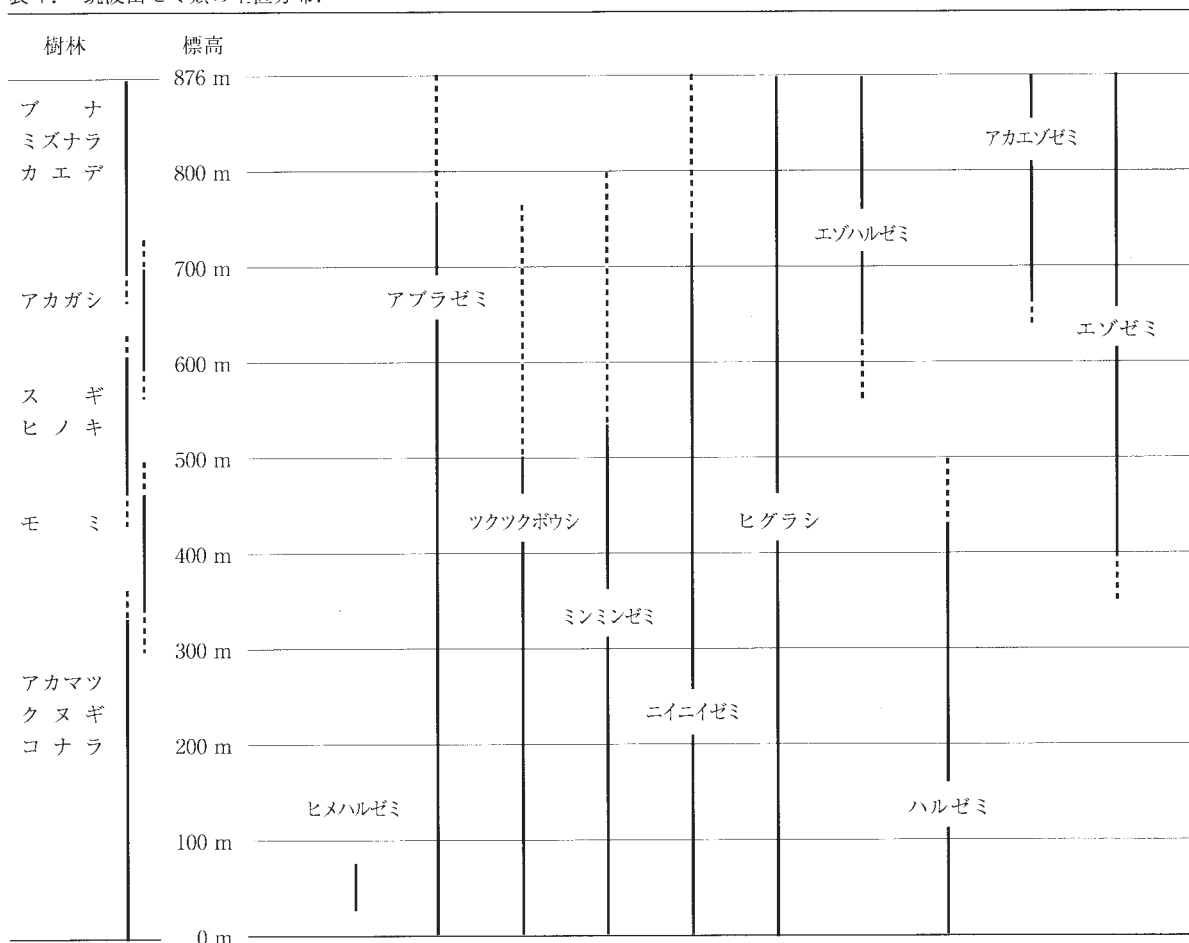
山頂部のブナ・ミズナラ帯を中心に発生するセミではエゾハルゼミ, エゾゼミ, アカエゾゼミの3種があげられ、山麓部のアカマツ林にのみ発生しているセミではハルゼミ1種が上げられる。また、山麓部の八郷町の菖蒲沢と小山田の2箇所にはヒメハルゼミの発生地がある。本県平野部の普通種の5種ではヒグラシが山麓から山頂にかけて最も広く分布し、ニイニイゼミ, アブラゼミは最盛期になると山頂部でも比較的多く見られるようになる。ミンミンゼミ, ツクツクボウシの2種は中腹部までに多く山頂部では前2種に比べると少ない。表3に季節的消長の概略, 表4に垂直分布の概略をまとめた。

() 内のA~Jは、調査地を区分したゾーンを示す。

表3. 筑波山セミ類の季節的消長.

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ヒメハルゼミ			-----	-----			
アブラゼミ			-----	-----	-----		
ツクツクボウシ				-----	-----	-----	
ミンミンゼミ			-----	-----	-----	-----	
ニイニイゼミ		-----	-----	-----	-----		
ヒグラシ		-----	-----	-----	-----	-----	
エゾハルゼミ		-----	-----	-----			
ハルゼミ	-----	-----					
アカエゾゼミ			-----	-----	-----		
エゾゼミ			-----	-----	-----		

表4. 筑波山セミ類の垂直分布.



(1) ヒメハルゼミ *Euterpnosia chibensis chibensis* 会

Matsumura

Jul 9 1995. (I), Jul 9 1995. (J), Jul 7 1996.

(I), Jul 7 1996. (J)

関 (1935) 菖蒲沢, 関 (1935) 小山田, 小菅 (1976a); Jul 18 1975 小山田・菖蒲沢. Jul 20 1975 小山田・菖蒲沢. Jul 23 1975 菖蒲沢・小山田. Aug 5 1975 菖蒲沢・小山田・小菅 (1980a); Jul 16 1975 菖蒲沢 1 ♂. Jul 23 1975 小山田 1 ♀, 小菅 (1981b); Jul 8 1981 小山田. Jul 12 1981 小山田・日本セミノ

南方系のセミで本州の分布は局所的で、茨城県笠間市のほか新潟県能生町と千葉県茂原市の発生地の3箇所が国の天然記念物に指定されている。シイ・カシ・ヤブツバキなどの照葉樹林に限って生息する。6月下旬から8月上旬にかけて出現する。最盛期は7月10～20日あたりであり、よく鳴くのは夕方合唱性があり最盛期には大合唱となる。

茨城県笠間市片庭の楞厳寺と八幡社の発生地が分布

の北限として1934年12月28日に国指定天然記念物となっている。文部省告示第312号に文部大臣松田源治の名をもって指定されている。

八郷町の産地が明らかとなったのは、昭和10年8月3日付けの水戸市茨城新聞社発行の「いはらき」新聞の記事による。笠間営林署長宗宮敏行氏が新治郡小桜村菖蒲沢においてカンゼミと呼ばれているヒメハルゼミを確認したとある。これを関(1935)が報告している。八郷町小山田の産地も関(1936)で明らかにされた。八郷町菖蒲沢は中村氏宅裏山、同町小山田は鈴木氏・藤代氏宅裏山とともにシイ・カシの林であり、笠間市の発生地と比較するとシイよりはカシのほうが多くなっている。このことは地元でカンゼミと呼ばれていたことからもうなずける。

その後しばらく八郷町の産地の報告はなく、戦後、枝(1954)が両産地の健在を報じた。高教研生物部(1972)では小山田は健在、菖蒲沢は未確認であった。菖蒲沢と小山田の調査が本格的になされ始めたのは1975年からであり、小菅(1976a, 1976b, 1977b, 1978, 1980a, 1983)等で報告されている。1975年の調査(菖蒲沢の小学生中村剛君の協力)が認められ1956年12月14日に八郷町指定の天然記念物として両発生地が保護されることとなった。

(2) アブラゼミ *Graptosaltria nigrofuscata* (Motschulsky)

Jul 27 1995 (C), Jul 28 1995 (A), Aug 2 1995 (C D), Aug 3 1995 (B E G), Aug 22 1995 (A D), Sep 10 1995 (C D E), Jul 25 1996 (A), Aug 17 1996 (C D E)

日本では最も普通種。本県にも平地から山地まで広く分布するが、標高700 m以上の山地では平地より発生数が少ない。ほとんど全ての樹木に生息する。筑波山では発生初期は中腹以下に多いが8月の盛期になると頂上付近にも多くなる。7月中旬から9月下旬にかけて発生し、8月が盛期である。

(3) ツクツクボウシ *Meimuna oparifera* (Walker)

Aug 22 1995 (A), Sep 10 1995 (C E), Aug 17 1996 (C E)

8月上旬から10月上旬にかけて出現し各地に普通にみられ、8月中旬から9月上旬が盛期である。本県では標高600 m以上の山地では平野部より発生数は少ない。広葉樹を好み、筑波山では山麓部から中腹部

に多く、標高600 mから山頂部にかけては比較的少ない。

(4) ミンミンゼミ *Oncotympana maculaticollis* (Motschulsky)

Jul 27 1995 (C), Jul 28 1995 (A), Aug 2 1995 (C D), Aug 3 1995 (B E G), Aug 22 1995 (A D), Sep 10 1995 (C E), Jul 25 1996 (A), Aug 17 1996 (C D E), 島山(1929) 筑波山, 加藤(1932) 筑波山, 松下(1974); Aug 14 1974 筑波山♂♂3♀♀ (forma mikado kato), 西村(1983) 筑波山; 西村文彦・林正美・大阪市立自然史博物館 (forma mikado kato)

胸背は黒地に緑色紋を点在しているが、変異が多い。体全体が淡緑色のもの(f. mikado Kato)から全体黒色のものまで知られている。筑波山では筑波神社付近にこのミカドミンミンが多く発生していることが知られている(松下, 1974; 西村, 1983)。7月中旬から10月上旬にかけて出現し、8月中旬から下旬に最盛期となる。ケヤキ・サクラなどの広葉樹を好む。東日本では平地に多いのに対して西日本では低山地に多い。筑波山に於いても山麓部に多く、標高500 m以上では高くなるにつれて少なくなる。北限である北海道釧路支庁・屈斜路湖の和琴半島では国指定天然記念物として保護されている。

(5) ニイニゼミ *Platypleura kaempferi* (Fabricius)

Jun 18 1995 (C), Jul 9 1995 (A E I J), Jul 27 1995 (C D), Jul 28 1995 (A), Aug 2 1995 (C D), Aug 3 1995 (B E G), Aug 22 1995 (A), Jun 16 1996 (C E), Jul 7 1996 (C F I J), Jul 25 1996 (A D), Aug 17 1996 (C D E)

加藤(1933)

日本全国に普通の種である。本県でも平野部から山地にかけて広く分布している。サクラ、ケヤキ、マツなど多くの樹木に生息し、ときに果樹園で大発生することがある。筑波山でも広く分布しているが特に山麓部の果樹園に多く発生している。6月下旬から8月下旬に出現し、7月から8月中旬が盛期である。出現はじめはヒメハルゼミのそれとほぼ重なり、菖蒲沢・小山田のヒメハルゼミ発生地ではニイニゼミとヒグラシの鳴声を同時に聴くことが出来る。

(6) ヒグラシ *Tanna japonennsis japonennsis* (Distant)

Jul 9 1995 (A D E I J), Jul 27 1995 (C D), Jul 28 1995 (A), Aug 2 1995 (C D), Aug 3 1995 (B E G), Aug 22 1995 (A D), Jul 7 1996 (C D F I J), Jul 25 1996 (A D), Aug 17 1996 (C D E)

日本の各地に普通な種。胸背の色彩変化が大きく黒色部の欠けるものや逆に黒色部の発達したものなどがある。6月下旬から9月上旬にかけて出現し平地から標高1,500 m位の山地にまで生息する。おもに薄暗い森を好み、夕方や明け方に高い声で鳴く。筑波山に生息するセミでは山麓部から山頂にかけて最も広く分布する。

(7) エゾハルゼミ *Terpnosia nigricosta* (Motschulsky)

Jun 11 1995 (A D), Jun 18 1995 (C D), Jul 9 1995 (A D), Jun 16 1996 (C D), Jul 7 1996 (C D), Jun 16 1992 飯島 (D) 1 ♂

加藤 (1931); Jun 21 1931 3 ♂♂ 2 ♀♀, 村山 (1980); Jun 9 1979 (山頂) 1 ♀, Jun 16 1979 (山頂) 2 ♂♂ 2 ♀♀, 村山 (1981); Jun 7 1980 (山頂), 関 (1934) 新治村十三塚・加波山

5月下旬から7月下旬にかけて出現し、北海道、東北地方では平地、他の地方では標高700 m～1,500 mの山地に生息する。茨城県では(小菅, 1980a)に筑波山, 加波山, 八溝山, 北茨城市花園, 里美村岡見が上げられ、北茨城市花園では標高450 m 辺りから上部に発生し、ブナ, ミズナラ, スギ, ヒノキの林で鳴く。里美村岡見は標高600 mほどである。岡見では「田植えセミ」と呼んでいる。筑波山では600 mあたりから山頂にかけて聞くことが出来るとある。茨城県東北部のセミを調べた高瀬(1996)では700 m以上の山地に普通で最も多いとある。里美村, 高萩市, 北茨城市の福島県境の標高700 mあたりである。

茨城県の出現期は6月上旬から7月下旬で最盛期は6月下旬から7月上旬である。おもに広葉樹の幹にとまって鳴き、合唱性がある。今回の調査でも筑波山では標高600 mあたりから上部で確認された。県北山地では筑波よりは100 mほど低いところでも出現しているところがある。

(8) ハルゼミ *Terpnosia vacua* (Olivier)

May 13 1995 (A E F), May 28 1995 (A B F H), Jun 11 1995 (A), May 19 1996 (A B E F), Jun 16 1996 (E), May 11 1992 飯島 (A B E), May 23 1992 飯島 (A E), Jun 6 1992 飯島 (E), Jun 12 1992 飯島 (B E), May 18 1995 飯島 (B E), May 20 1995 飯島 (A B), May 24 1995 飯島 (A B E), May 28 1995 飯島 (A B E), Jun 10 1995 飯島 (A B E)

加藤 (1932) 筑波山疑問, 関 (1934) 県南のみ
小菅 (1977a); May 17・20・24・30 1976 筑波町大形.
May 24・30 1976 筑波町大志戸. May 30 1976 筑波町不動峠. May 28 1976 (長谷川正信) 新治村東城寺
脱皮殻 4 ♂ 1 ♀, 小菅次男 (1980a); May 30 1976 筑波町大志戸. May 10 1976 筑波町大形. May 26 1979 八郷町仏生寺・柴内. May 22 1979 真壁町伝正寺. May 23 1980 (長谷川正信) 筑波町大形 1 ♂

※今回の調査で筑波町大形・大志戸, 八郷町仏生寺・柴内では確認出来ず(マツ枯れ被害)。

南方系のセミで5月上旬から6月下旬にかけて出現し、おもに平地や低山地のマツ林(アカマツ・クロマツ)に生息している。小菅(1980a)によると茨城県の分布は限られており、水戸周辺から県北にかけては記録が極めて少なく、県南西部の平地や低山地のマツ林に偏った分布をしていることが分かる。1980年以降にはマツノザイセンチュウの被害によってマツ林が枯れ、ハルゼミの生息地がかなり失われた。関(1934)には、本県の南部の諸郡にはいますが北部にはいない様です。那珂郡中野村で声を聞いたという人がありますが、北部にいるとしても極めて稀でしょう。水戸付近に発生しないのが実に不思議でありますと記されている。

筑波山では標高400 m位から下の山麓部のマツ林に生息が認められ、特に北西部の山麓部に生息地が多くみられる。南側の山麓マツ林には少なく、東に伸びるパープルライン沿いのマツ林はマツ枯れの被害を受けたところが多く、以前確認されたところで今回確認出来なかったところがあった。

晴天時に断続的に合唱をする。1頭の♂が鳴き始めると次々に他の♂が同調し、しばらくすると鳴き止む。横枝にとまって鳴き、自動車やオートバイの音に刺激されて合唱することもある。

今後もマツ枯れ被害とマツ枯れ防止の殺虫剤の空散の両方の影響が心配である。

(9) アカエゾゼミ *Tibicen flammatus* (Distant)

Aug 2 1995 (D), Aug 22 1995 (A D), Aug 17 1996 (C D), Aug 28 1993 飯島 1 ♂(D)

関 (1934) 筑波山, 日置 (1973) 添野光一ノ記録, 小菅 (1975b); Aug 2 1959(800 m), 林 (1979) 筑波山, 小菅 (1980a); Aug 22 1970 塚田静男 1 ♂. Aug 26 1970 塚田静男 1 ♂

北海道や東北地方では平地にすむが, 関東以西では標高600~1,200 m の山地にみられ, 産地は局所的である。ブナ・ミズナラ林など自然度の高い落葉広葉樹林に限って生息する。7月下旬から9月上旬にかけて出現し, 木の梢や葉上にとまってコエゾゼミの声をさらに大きくしたようなジ…という連続音で鳴く。鳴き終わると直ちに飛び去る習性がある。なれるとエゾゼミの鳴声と区別することができる。茨城県の産地は限られており, 小菅 (1980) は筑波山のほか北茨城市花園・定波を上げ, 生息地はいずれも標高600 m 以上のところでありエゾゼミの生息地である。ブナ優占の落葉広葉樹林となっている。本県での生態及び里美や八溝山などでの生息確認が課題となるとしている。

林 (1989) は課題であった八溝山の記録を上げている。小菅は (Aug 9 1995) に高萩市上君田滝ノ倉 (標高600 m) で目撃をした。高橋 (1996) は北茨城市, 高萩市のほか里美村岡見周辺の生息地を記録している。1980年に課題であったところが現在までに明らかにされた。

筑波山では標高700 m から頂上にかけてのブナ・ミズナラを主とする落葉広葉樹林帯を生息地としている。最盛期は8月中~下旬といえる。

(10) エゾゼミ *Tibicen japonicus* (Kato)

Aug 2 1995 (C D), Aug 3 1995 (B E G), Aug 22 1995 (A D), Aug 17 1996 (C D E), Aug 1 1992飯島 (B E), Aug 26 1992 飯島 (D)

岸田 (1929) 筑波山 4 ♂♂, 畠山 (1929) 山地帯, 関 (1934) Aug 筑波山・加波山, 小菅 (1975b); Aug 2 1959(800 m) 1 ♂, 小菅 (1980a); Aug 22 1970 鈴木成美 1 ♂. Aug 26 1970 金井節博 1 ♂, 小菅 (1981a); 塚田静男・筑波山 1 ♀. 加波山。

北海道, 東北地方では平地から低山地にかけて生息するが, 関東以西では標高500 m ~1,000 m の山地にすむ。ブナ, ミズナラなどの広葉樹らアカマツ, スギなどの針葉樹まで種々の樹木にとまる。どちらかというところマツ林やスギ・ヒノキ林に多い。おもに逆さにと

まってジ…というふるえを帯びた連続音で鳴く。全国的には7月中旬から9月中旬までといわれるが, 筑波山では7月下旬から9月上旬にかけて出現する。最盛期は8月中~下旬である。

茨城県の産地については, 小菅 (1980a) が本県山地の標高500~600 m 以上のブナの優占する広葉樹林帯に見られるが一部ではブナ帯以下のところでも生息しているとして, 筑波山のほか加波山, 北茨城市花園, 高萩市花貫溪谷, 里美村岡見, 男体山, 八溝山, 金砂郷町西金砂神社, 水府村武生山を上げている。林 (1989) はそれ以外に高萩市柳沢を上げている。小菅は1995年の8月9日・10日・17日・25日にかけて北茨城市, 高萩市, 里美村, 水府村のエゾゼミ調査の結果, 県北山地では標高300 m 以上のところにかなり広範囲に分布していることがわかった。高瀬 (1996) は県東北部の標高300 m 以上の山地に多く普通にみられるとしている。

筑波山では標高400 m 位以上に分布し, 500 m 辺りから多くなり特に700 m から上の山頂部に最も多く生息する。

引用文献

- (1) 枝 重夫. 1954. 筑波山塊菖蒲沢のヒメハルゼミを訪ねて. 新昆虫, **7** (1): 37.
- (2) 畠山久重. 1929. 筑波山の動物. 筑波山の自然界. 57 p., 中央气象台.
- (3) 林 正美. 1977. 日本のセミ. 昆虫と自然, **12** (8): 6-19.
- (4) 林 正美. 1979. 1979年夏のエゾゼミ類の発生状況. 日本セミの会々報. CICADA, **1** (3): 12.
- (5) 林 正美. 1989. 日本産セミの分布調査報告 (1). 日本セミの会々報. CICADA, **8** (1): 3, 17, 20.
- (6) 林 正美. 1990. 日本産セミの分布調査報告 (2). 日本セミの会々報. CICADA, **9** (1/2/3): 2, 14, 19, 27.
- (7) 林 正美. 1991. 日本産セミの分布調査報告 (3). 日本セミの会々報. CICADA, **10** (1/2): 2, 21.
- (8) 林 正美. 1992. 日本産セミの分布調査報告 (4). 日本セミの会々報. CICADA, **11** (1/2): 2, 25.
- (9) 日置正義. 1973. 茨城のセミ. るりぼし, (1): 12.

- (10) 広瀬 誠. 1975a. 茨城県のカメハルゼミ誌, 茨城県教育研修センター.
- (11) 広瀬 誠. 1975b. 片庭のカメハルゼミ考. 茨城生物 (第3号). pp.12-14, 茨城生物の会.
- (12) 広瀬 誠. 1977a. 茨城県のカメハルゼミ - 導線を欠く記録の累積. 瑠璃星, **5** (2): 56-71.
- (13) 広瀬誠. 1977b. クマゼミは茨城のセミか. 瑠璃星, **5** (2): 72-76.
- (14) 堀江 廣. 1931. 私共の愛護する大蟬に就いて. 昆虫世界, **35** (410): 14-22.
- (15) 堀江 廣. 1933. 大蟬保護同志會報告. 昆虫界, **1** (1): 90-93.
- (16) 堀江 廣. 1934. 姫春蟬調査報告. 昆虫界, **2** (8): 195-197.
- (17) 茨城県高等学校教育研究会生物部. 1973. 第5地区動物相の概要. 昭和47年度特別地域自然財分布調査報告書. pp.386-388.
- (18) 飯島義克. 1992. 平成4年度夏季研究大会報告動物班. 高教研生物部会誌, (61): 28.
- (19) 井上尚武. 1988. 昭和62年度夏季研究大会報告動物班. 高教研生物部会誌, (52): 28-31.
- (20) 今村泰二. 1966. 筑波山と加波山の動物. 筑波自然公園学術調査報告. 62 p., 日本自然保護協会.
- (21) 加藤正世・堀江廣. 1930. 村民挙って愛護する珍しい蟬に就いて. 昆虫世界, **34** (399): 2-18.
- (22) 加藤正世. 1931. エゾハルゼミ筑波に産す. 昆虫, **5** (3).
- (23) 加藤正世. 1932. 筑波山の蟬. 昆虫, **6** (1).
- (24) 岸田久吉. 1929. 筑波山のセミについて. *Lansania*, **1** (4): 54-56.
- (25) 岸田久吉. 1930. 茨城県片の大蟬. *Lansania*, **2** (13): 44.
- (26) 小菅次男. 1975a. 動物相の概要. 茨城の生物 (第1集). pp. 8-10, 茨城県高教研生物部.
- (27) 小菅次男. 1975b. 筑波山の昆虫. 茨城の生物 (第1集). pp.173-180, 茨城県高教研生物部.
- (28) 小菅次男. 1975c. 加波山と北筑波の山なみ. 江幡栄・佐藤寿幸・山崎陸男・吉武和治郎 (共著). 茨城の自然-山野を歩く. pp.200-201, (株) 郁文.
- (29) 小菅次男. 1975d. 筑波山そこにすむ動物. 江幡栄・佐藤寿幸・山崎陸男・吉武和治郎 (共著). 茨城の自然-山野を歩く. pp.210-213, (株) 郁文.
- (30) 小菅次男. 1976a. 八郷町小山田と菖蒲沢のカメハルゼミ. 茨城生物, (4): 25-28, 茨城生物の会.
- (31) 小菅次男. 1976b. 天然記念物カメハルゼミの誕生. アニマ, **1** (34): 72-73.
- (32) 小菅次男. 1977a. 茨城のカメハルゼミ・チツチゼミ. 茨城生物, (5): 43-44, 茨城生物の会.
- (33) 小菅次男. 1977b. 茨城のカメハルゼミ. 昆虫と自然, **12** (8): 1-3.
- (34) 小菅次男. 1977c. 八郷町のカメハルゼミ. 木村義明・山崎陸男 (共著). 四季を追って-茨城の虫と花と. 39 p., 新いばらきタイムス社.
- (35) 小菅次男. 1978. 国指定天然記念物カメハルゼミの生態学的研究. 茨城県教育研究紀要 (6): 76-80.
- (36) 小菅次男. 1979. カメハルゼミ. 朝日新聞水戸支局編. 野の博物誌-茨城の自然をたずねて. p. 88-89, 第1法規.
- (37) 小菅次男. 1980a. 茨城県のカメハルゼミ類の分布. おけら, (50): 50-64.
- (38) 小菅次男. 1980b. カメハルゼミ類. 第2回自然環境保全基礎調査動物分布調査報告書 (昆虫類) 茨城県. p.97, pp.115-117, 環境庁.
- (39) 小菅次男. 1981a. 茨城県産カメハルゼミ類の分布. 茨城の生物 (第2集). pp. 239-252, 茨城県高教研生物部.
- (40) 小菅次男. 1981b. 笠間・八郷「蟬聴きの会」報告記. 日本カメハルゼミの会々報. *CICADA*, **3** (1): 9-12.
- (41) 小菅次男. 1983. 歴史をせおうカメハルゼミ. 茨城県小学校理科研究会 (編). 茨城の理科ものがたり. pp.69-74.
- (42) 小菅次男. 1984a. カメハルゼミの東北限「片庭姫春蟬発生地」. 市川正巳 (監). 博学紀行-茨城県. pp.30-35.
- (43) 小菅次男. 1988. カメハルゼミと私. 日本の生物, **2** (7): 1-4.
- (44) 小菅次男. 1994b. 筑波山の動物. 天野一男 (編著). 日曜の地学-茨城の自然をたずねて. 44 p., 築地書館.
- (45) 小菅次男. 1994c. 茨城を特徴づける動物. 天野一男 (編著). 日曜の地学-茨城の自然をたずねて. pp.219-225, 築地書館.
- (46) 宮部頼夫・加納康嗣. 1992. 検索入門-カメハルゼミ・

- バッタ. 215 pp., 保育社.
- (47) 村山壯五. 1980. 筑波山のエゾハルゼミ. 日本セミの会々報. CICADA, **4** (4): 14.
- (48) 成田行弘. 1993. カメムシ目. 水戸昆虫研究会 (編). 茨城県の昆虫. pp.64-65, 水戸市立博物館.
- (49) 西村文彦. 1983. ミンミンゼミの斑紋変異について. 日本セミの会々報. CICADA, **5** (1): 1-10.
- (50) 沼田 稔. 1974. 茨城のセミ. 瑠璃星, **2** (1) (2): 20-22.
- (51) 関行 孝. 1934. 分布から見た茨城県の蝉. 茨城博物同好会会誌, (2): 11-23.
- (52) 関行 孝. 1935. 小桜村菖蒲沢のヒメハルゼミ. 茨城博物同好会会誌, (5): 18.
- (53) 関行 孝. 1936. 茨城県のヒメハルゼミの新産地. 昆虫界, **4** (33): 11-15.
- (54) 関行 孝. 1937. 姫春蝉と蝦夷春蝉の古記録. 茨城博物同好会会誌, (8): 7-13.
- (55) 鈴木成美・小菅次男. 1975. 茨城のヒメハルゼミ. 茨城の生物 (第1集). pp.213-217, 茨城県高教研生物部.
- (56) 高島春雄. 1954. 新潟・茨城・千葉各県に於ける姫春蝉の知見. 山階鳥類研究所報告, (5): 16-27.
- (57) 高瀬仁志. 1996. 茨城県東北部に生息するセミ類の水平及び垂直分布. るりぼし, (**20**): pp.42-55.
- (58) 山崎芳夫. 1953. セミ類. 茨城県郷土研究. 139 p., 茨城大学教育研究所.

協力者

飯島義克 (茨城県立下妻第一高等学校)
(調査研究及び執筆 小菅次男)

コウチュウ類

調査地及び方法

調査は平井と市毛がおこなった(表1)。平井は、筑波山山麓中腹の地点として鬼ヶ作林道約200 mの区間、中腹から尾根までとしてユースホテルからケーブル駅までの登山道、尾根から山頂までをケーブル駅から女体山頂までの登山道の3地点を基本的な調査地点とした。採集法はビートングによって1平米の叩き網上に落下するコウチュウ類を直接または吸虫管、または捕虫網によるすくい取りによった。その他にキャンプ場とケーブル駅付近でガ類採集を利用して水銀灯によるライトトラップ採集をおこなった。鬼ヶ作林道では調査点とは違う地点で2年目は側溝からの採集もおこなった。なお、市毛が1995年に3回、1996年に8回、主に酒寄林道から筑波山自然観察路にかけておこなった採集調査と、平井が1996年に真壁口周辺と湯袋峠付近でも採集調査をおこなったので、本調査の記録として含めた。

表1. 筑波山のコウチュウ類調査日及び調査地。

1995年	1996年
4月28日 O	4月21日 O
5月6日 Y~M, M~NY	5月3日 O, YH~M, M~NY
5月28日 O, YH~M, M~NY	5月19日 O
6月11日 O, YH~M, M~NY	5月26日 O, YH~M, M~NY, S~SA
6月18日 S~SA	6月8日 MA, YB
6月29日 O, YH~M, M~NY	6月15日 O, YH~M, M~NY
7月16日 O, YH~M, M~NY	6月18日 S~SA
7月23日 O	6月20日 C
7月26日 YH~M, M~NY, C	6月28日 O, YH~M, M~NY
8月4日 M, M~NY	7月6日 S~SA
8月19日 C	7月13日 O, YH~M, M~NA, M~NY, S~SA
9月3日 O	7月19日 C
9月24日 C	7月20日 S~SA
10月10日 S~SA	7月27日 O, YH~M, M~NY
10月15日 S~SA	7月29日 S~SA
11月15日 Y~M	8月11日 O
	8月17日 O, YH~M, M~NY
	8月31日 S~SA
	9月7日 O, YH~M, M~NY
	9月14日 S~SA
	9月28日 O
	10月27日 O

C : 真壁町羽鳥の上坪から林道を登ったキャンプ場下部、標高約400 m
 O : 明野町酒寄からの山道を山腹よりの林道の鬼ヶ作林道約200 m
 YH~M: ユースホテルから御幸ヶ原までの山道
 M~NY: 御幸ヶ原から女体山山頂までの山道
 M~NA: 御幸ヶ原から男体山山頂までの山道
 M : 山頂鞍部の御幸ヶ原、標高約700 m
 YB : 湯袋峠
 MA~ : 真壁口
 S~SA: 酒寄林道から筑波山自然観察路

結果

今回の調査で確認できたのは59科606種であった(付表1)。この他に、未同定種が20頭程あり、それらの同定については今後の検討を待つことにする。表2に今まで報告されている種数に本調査での結果を合わせて示した。

付表の種名の後の数字は文献の番号を、*は本調査において確認できなかった種を示す。

解説

筑波山のコウチュウ類について今までまとまった報告はなされていない。しかしながら、1980年~87年にかけて「筑波研究学園都市およびその周辺の甲虫(その1~補遺を含めたその6まで)」の10篇の報告(大桃, 1980, 1982a, 1982b, 1983, 1984a, 1985, 1986, 1987a, b, c)の中であげられているのが筑波山からのコウチュウ類の記録のほとんどを占めている。そのほかとしてはグループでの記録のあるのは、オサムシ科のナガゴミムシ類(笠原, 1986)

表2. 筑波山コウチュウ類種類数.

亜目名	上科名	科名	種数		
オサムシ亜目	オサムシ上科	ハンミョウ科	3種		
		オサムシ科	71種		
		クビソゴミムシ科	1種		
		ゲンゴロウ科	7種		
		タマキノコムシ科	1種		
		カブトムシ亜目	エンマムシ上科	エンマムシ科	4種
				ミズスマシ科	3種
				タマキノコムシ科	1種
				シデムシ科	3種
				ハネカクシ科	29種
デオキノコムシ科	4種				
マルハナノミ科	2種				
コガネムシ上科	4種				
コブスジコガネ科	1種				
センチコガネ科	1種				
	ドロムシ上科	コガネムシ科	25種		
		ナガハナノミ科	2種		
		ヒラタドロムシ科	1種		
		ヒメドロムシ科	1種		
		タマムシ上科	20種		
		コメツキムシ上科	33種		
		コメツキダマシ科	2種		
		ホタル上科	7種		
		ホタル科	5種		
		ホタルモドキ科	1種		
	カツオブシムシ上科	ジョウカイボン科	12種		
		カツオブシムシ科	1種		
		ナガシクイムシ上科	1種		
		シバンムシ科	1種		
		カッコウムシ上科	1種		
		コクヌスト科	1種		
		カッコウムシ科	3種		
		ジョウカイモドキ科	4種		
		ケシキスイ科	13種		
		ヒメハナムシ科	3種		
	ヒラタムシ上科	ホソヒラタムシ科	1種		
		キスイムシ科	2種		
		ムクゲキスイムシ科	2種		
		キスイモドキ科	2種		
		コメツキモドキ科	1種		
		オオキノコムシ科	13種		
		テントウムシダマシ科	4種		
		テントウムシダ科	21種		
		ミジンムシダマシ科	1種		
		ゴミムシダマシ上科	3種		
	ゴミムシ上科	コキノコムシ科	4種		
		ツツキノコムシ科	1種		
		キノコムシダマシ科	1種		
		ナガクチキムシ科	12種		
		ハナノミ科	3種		
		オオハナノミ科	2種		
		カミキリモドキ科	5種		
		アカハネムシ科	1種		
		アリモドキ科	1種		
		ツチハンミョウ科	1種		
	ハムシ上科	ハムシダマシ科	3種		
		クチキムシ科	5種		
		ゴミムシダマシ科	18種		
		カミキリムシ科	70種		
		ハムシ科	75種		
		ヒゲナガゾウムシ科	11種		
		オトシブミ科	21種		
		ホソクチゾウムシ科	2種		
		ゾウムシ科	50種		
		キクイムシ科	2種		

とカミキリムシ科(大桃, 1984b; 添野, 1973; 山本・加藤, 1987)がある。

これらの報告からの記録を集計するとコウチュウ目は16科140種となる。それを各科別にみても、オサムシ科の13種、ゲンゴロウ科の7種、ミズスマシ科の3種、エンマムシ科の2種、タマムシ科の19種、コメツキムシ科の1種、ホタル科の1種、ジョウカイボン科の2種、ベニボタル科の4種、ムクゲキスイムシ科の1種、オオキノコムシ科の1種、テントウダマシ科の4種、ナガクチキムシ科の6種、ハナノミ科の1種、カミキリムシ科の37種、ハムシ科の39種となる。

そのうち、分布上注目すべきものをいくつか挙げてみる。筑波山が分布の南限となる種類には、オサムシ科のアブクマナガゴミムシとフタトゲナガゴミムシの2種がある(笠原, 1986)。また、ハムシ科のオオネタイハムシについては、知られている4亜種(東北、北陸)のいずれとも異なっている阿武隈山地の個体群があり、それとほぼ同じ形質を持つものが筑波山真壁口で採集されていて、太平洋側の南限になっている(大桃, 1986)。さらに、オオヒメゲンゴロウは、関東地方で筑波山とその周辺にだけ分布している。この水生甲虫は、北海道と東北地方に産しているが、阿武隈山地の南端に位置する筑波山にまで到達していることになる(大桃, 1987)。筑波山が分布の北限となる種類には、ミツボシナガタマムシがいる。本種はカンワを寄主としているが、筑波山ではクスギの可能性もある(大桃, 1987)。また、山頂付近にブナを宿主とするヨコヤマヒゲナガカミキリが採集されている(大桃, 1984b; 添野, 1973)。さらに、ヒメボタルが山頂付近で生息しているのが確認されている(水戸昆虫研究会, 1993)。本種は、九州、四国、低地から山地にかけて広く分布しているが、雌は下翅を欠いているために飛翔が出来ないので、生息地の隔離がみられ、体の大きさや、前胸の黒斑に変異が認められるという。筑波山の個体群についての他の地域と相違がみられるか興味もたれる。

注目すべき種類

- (1) アブクマナガゴミムシ *Pterostichus nishiyamai* Kasahara

筑波山が南限として分布上注目されているナガゴミムシ類の一種(笠原, 1986)である。本調査において中腹の鬼ヶ作林道(28. VIII. 1996)の側溝から採集された。

- (2) コルリアトキリゴミムシ *Lebia viridis* Say

北米から移入したものと見られているが、我が国での初めての採集記録は1989年千葉県佐倉からである(中根, 1989)。その後関東の北部の栃木県でも分布が確認されているが、茨城県での記録は知り得てない。本調査で、筑波山の中腹の鬼ヶ作林道でビートニングにより採集された(3. V. 1996)。

- (3) ヒメボタル *Hotaria parvula* (Kesenwetter)

筑波山に採集の報告がある(採集者: 廣瀬誠, 18. VI. 1989)が、本調査では確認されなかった(水戸昆虫研究会, 1993)。

- (4) ゲンジボタル *Luciola cruciata* Motschulsky

ゲンジボタルがキャンプ場付近(26. VII. 1995)のいわゆる裏筑波で採集された。成虫発生期に筑波山表側の神郡や臼井地区の用水路でも確認されているので、筑波山山麓一帯で生息していると思われる。

- (5) ヨコヤマヒゲナガカミキリ *Dolichoprosopus yokoyamai* (Gresitt)

筑波山では1970年8月23日で地上を這っていた1♂個体が採集された報告がある(添野, 1973)。さらに山頂付近で1984年8月14日に飛翔中の1♀個体が捕獲されており、頂上付近でのブナ林に発生が認められている(大桃, 1984)。本調査ではライトトラップ採集を含めて夜間採集も試みたが確認されなかった。

- (6) ヒゲナガカミキリ *Monochamus subfaciata* Bates

ケーブル駅周辺でおこなったライトトラップでモミに発生するヒゲナガカミキリ1♂1♀(27. VII. 1996)が採集された。

- (7) シラホシハナノミ *Hoshihananomia perlata* (Sulzer)

ブナ帯を中心とした地域の花上に優占な種として知られる。ケーブル駅〜女体山頂(29. VI. 1995)で採集された。

- (8) オオタコゾウムシ *Hypera punctata* (Fabricius)

海外から1978年に我が国への侵入が認められた(Watanabe, 1979)種類で、クローバなどマメ科牧草の害虫として知られている。その後の分布状態が不

明だったのが、関東、東北にかけて広く分布していることが明らかにされ（平井ら，1994），茨城県でもつくば市内での生息が確認されている（平井，1995）。本調査で（6．Ⅶ．1996）真壁町筑紫湖で採集された（採集者，市毛勝義）。

(9) イネミズゾウムシ *Lissorhoptorus oryzae*
Kuschel

海外からの侵入昆虫として我が国での生息が知られている種類。アメリカから我が国に1976年に侵入したものであるが、イネの主要な害虫として知られている。筑波山の中腹の鬼ヶ作林道で採集された（26．Ⅴ．1996）。

引用文献

- (1) 平井剛夫・高橋敬一・白石昭彦・佐藤光一．1994．オオタコゾウムシの関東北部周辺での分布と草地における生息（関東東山病害虫研究会年報），**41**: 275 - 277.
- (2) 平井剛夫．1995．オオタコゾウムシの分布と生息実態（植物防疫）**49**: 423 - 425.
- (3) 笠原須摩生．1986．筑波山のナガゴミムシ数種．甲虫ニュース，**74**: 8.
- (4) 水戸昆虫研究会．1993．茨城県の昆虫，355 p.
- (5) 中根猛彦．1989．移入種と思われるアトキリゴミムシの記録．昆虫と自然，**24**（8）: 33.
- (6) 大桃定洋．1980．筑波研究学園都市およびその周辺の甲虫（その1．タマムシ科 Buprestidae），おとしぶみ（筑波大学昆虫談話会会誌），（9）: 8 - 11.
- (7) 大桃定洋．1982a．筑波研究学園都市およびその周辺の甲虫（タマムシ科 Buprestidae 補遺）．おとしぶみ（筑波大学昆虫談話会会誌），（11）.
- (8) 大桃定洋．1982b．筑波研究学園都市およびその周辺の甲虫（その2，カミキリムシ科 Cerambycidae）．おとしぶみ（筑波大学昆虫談話会会誌），（11）: 21 - 27.
- (9) 大桃定洋．1983．筑波研究学園都市およびその周辺の甲虫（その3，テントウムシダマシ科 Endomychidae）．おとしぶみ（筑波大学昆虫談話会会誌），（12）: 20 - 22.
- (10) 大桃定洋．1984a．茨城県筑波山のヨコヤマヒ

ゲナガカミキリ．月刊むし，**20**: 13.

- (11) 大桃定洋．1984b．筑波研究学園都市およびその周辺の甲虫（カミキリムシ科 Cerambycidae 補遺）．おとしぶみ（筑波大学昆虫談話会会誌），（13）: 6 - 7.
- (12) 大桃定洋．1985． - 短報 - 筑波山におけるテントウムシダマシ科甲虫2種の記録，おとしぶみ（筑波大学昆虫談話会会誌），（14）: 17.
- (13) 大桃定洋．1986．筑波研究学園都市およびその周辺の甲虫（その4，ハムシ科 Chrysomelidae）．おとしぶみ（筑波大学昆虫談話会会誌），（15）: 17 - 25.
- (14) 大桃定洋．1987a．筑波研究学園都市およびその周辺の甲虫（その5．水生食肉虫目 Adephaga）．おとしぶみ（筑波大学昆虫談話会会誌），（16）: 27 - 33.
- (15) 大桃定洋．1987b．筑波研究学園都市およびその周辺の甲虫（その6．オサムシ科 Carabidae）．おとしぶみ（筑波大学昆虫談話会会誌），（16）: 34 - 39.
- (16) 大桃定洋．1987c．筑波研究学園都市およびその周辺の甲虫（ハムシ科 Chrysomelidae 補遺）．おとしぶみ（筑波大学昆虫談話会会誌），（16）: 40 - 42.
- (17) 添野光一．1973．ヨコヤマヒゲナガ筑波山で採る．月刊むし，**24**: 52.
- (18) 山本勝利・加藤 薫．1987． - 短報 - 筑波学園都市およびその周辺のカミキリムシ2種．おとしぶみ（筑波大学昆虫談話会会誌），（16）: 42.
- (19) Watanabe, N. 1979. Appl. Ent. Zool. **14**: 494 - 495.

調査者

平井剛夫

成田行弘

協力者

斉藤 修（農業環境技術研究所）

大桃定洋（畜産試験場）

木内 信（蚕糸・昆虫農業技術研究所）

市毛勝義（水戸昆虫研究会）

（執筆 平井剛夫）

付表1. 筑波山のコウチュウ類リスト.

- オサムシ亜目 Adepbaga
- オサムシ上科 Caraboidea
- ハンミョウ科 Cicindelidae
1. ニワハンミョウ *Cicindela japana* Motschulsky
 2. コハンミョウ *Cicindela specularis* Chaudoir
 3. アイヌハンミョウ *Cicindela gemmata* Faldermann
- オサムシ科 Carabidae
- オサムシ亜科 Carabinae
4. クロオサムシ *Carabus albrechti esakianus* (Nakane)⁽¹³⁾
 5. アオオサムシ *Carabus insulicola* Chaudoir
 6. セアカオサムシ *Hemicarabus tubeculosus* (Dejean et Boisd-
uval)
- マルクビゴミムシ亜科 Nebrinae
7. マルクビゴミムシ *Nebria lewisi* Bates
 8. メダカゴミムシ *Notiophilus impressifrons* Morawitz
- ミズギワゴミムシ亜科 Bembidinae
9. メダカチビキカワゴミムシ *Asaphidion semilucidum*
(Motschulsky)
 10. ヨツボシミズギワゴミムシ *Bembidion worawitzi* Csiki
- ナガゴミムシ亜科 Ptelostichinae
11. クロモリヒラタゴミムシ *Colpodes atricomis* Bates:
 12. チビモリヒラタゴミムシ *Colpodes aurelius* Bates
 13. オオアオモリヒラタゴミムシ *Colpodes buchanani* Hope
 14. ヤセモリヒラタゴミムシ *Colpodes elainus* Bates
 15. ハコネモリヒラタゴミムシ (亜種) *Colpodes hakonus takacihoi*
(Habu)
 16. ハラアカモリヒラタゴミムシ *Colpodes japonicus* (Motschulsky)
 17. イクビモリヒラタゴミムシ *Colpodes modestior* Bates
 18. ホソモリヒラタゴミムシ *Colpodes speculator* Harold
 19. キンモリヒラタゴミムシ (亜種) *Colpodes sylphis stichai* Jedlicka
 20. ルリヒラタゴミムシ *Dicranoncus femoralis* Chaudoir
 21. オオゴミムシ *Lesticus magnus* (Motschulsky)
 22. フトクチヒゲヒラタゴミムシ *Parabrosicus crassipalpis* (Blcs)
 23. コヒラタゴミムシ *Platynus protensus* (Morawitz)
 24. ヤマトクロヒラタゴミムシ *Platynus subovatus* (Putzeys)
 25. ホソヒラタゴミムシ *Pristosia aeneola* (Bates)
 26. ニセクロナガゴミムシ *Pterostichus fuliginus* Morawitz
 27. クロオオナガゴミムシ *Pterostichus lepitis* Bates:
 28. コガシラナガゴミムシ *Pterostichus microcephalus* (Motschulsky)
 29. フタトゲナガゴミムシ *Pterostichus*(subg.?) *mirificus* Bates*
 30. アブクマナガゴミムシ *Pterostichus nishiyamai* Kasahara⁽³⁾
 31. タカオヒメナガゴミムシ *Pterostichus*(*Rhagadus*) *takaosanus*
Habu*
 32. ヨリトモナガゴミムシ *Pterostichus yoritomus* Bates⁽³⁾
 33. ミヤマナガゴミムシ *Pterostichus* (*Nialoe*) *rhanis rhanis*
Tschittscherine
 34. キバナガゴミムシ *Stomis prognathus* Bates*
 35. クロツヤヒラタゴミムシ *Synuchus cycloclerus* (Bates)
 36. コクロツヤヒラタゴミムシ *Synuchus melantho* (Bates)
 37. オオクロツヤヒラタゴミムシ *Synuchus nitidulus* Motschulsky
 38. ナガクロツヤヒラタゴミムシ *Synuchus sylvester* (Habu)
- マルガタゴミムシ亜科 Zabrinae
39. マルガタゴミムシ *Amara chalcites* Dejean
- ゴモクムシ亜科 Harpalinae
40. ヒメゴミムシ *Anisadactylis tricuspidatus* Morawitz
 41. オオズヒメゴモクムシ *Badycellus grandiceps* (Bates)
 42. アカクビヒメゴモクムシ *Bradycellus laeticolor* Bates*
 43. オオズケゴモクムシ *Harpalus eous* Tschittscherine
 44. ケウスゴモクムシ *Harpalus griseus* (Panzer)
 45. ニセケゴモクムシ *Harpalus pseudophonoides* Schauburger
 46. クビナガゴモクムシ *Oxycentrus arygutroides* (Bates)
 47. ムネアカマメゴモクムシ *Stenolophus propinquus* Morawitz*
 48. ヒメツヤゴモクムシ *Trichotichus congruus* (Motschulsky)
 49. オオクロツヤゴモクムシ *Trichotichus lewisi* Schauburger
- スナハラゴミムシ亜科 Licininae
50. オオスナハラゴミムシ *Diplocheila zeelandica* (Restenbacher)
- アオゴミムシ亜科 Callistinae
51. オオアトボシアオゴミムシ *Chlaenius micans* (Fabricius)
 52. アトボシアオゴミムシ *Chlaenius naeviger* Morawitz
 53. アオヘリアオゴミムシ *Chlaenius praefectus* Bates
 54. コガシラアオゴミムシ *Chlaenius variicornis* Bates
 55. アトワアオゴミムシ *Chlaenius virgulifer* Chaudoir
 56. オオキベリアオゴミムシ *Epomis nigricans* (Wiedeman)
 57. スジアオゴミムシ *Haplo ehlaenius costiger* (Chaudoir)
- アトキリゴミムシ亜科 Lebiinae
58. キガシラアオトキリゴミムシ *Cadeida lepida* Redtenbacher
 59. イクビホソアトキリゴミムシ *Dromius quadraticollis* Morawitz

60. ハギキノコゴミムシ *Coptoderina subapacalis* Putzeys
 61. ヤセアトキリゴミムシ *Dolichoctis luctuosus* (Putzeys)
 62. ホソアトキリゴミムシ *Dromius prolixus* Bates
 63. キクピアオアトキリゴミムシ *Lachnolebia cribricollis* (Morawitz)*
 64. ヤホシゴミムシ *Lebidia octoguttata* Morawitz
 65. フタツメゴミムシ *Lebidia bioculata* Morawitz
 66. フタホシアトキリゴミムシ *Lebia bifenestrata* Morawitz⁽¹⁵⁾
 67. ハネビロアトキリゴミムシ *Lebia duplex* Bates
 68. ジュウヅアトキリゴミムシ *Lebia retrofasciata* Motschulsky
 69. コルリアトキリゴミムシ *Lebia viridis* Say
 70. ヒトツメアトキリゴミムシ *Parena latecincta* (Bates)⁽¹⁵⁾
 71. クロヘリアトキリゴミムシ *Parena nigrolineata* Chaudoir
 72. オオヨツアナアトキリゴミムシ *Parena perforata* (Bates)
 73. ミツアナアトキリゴミムシ *Parena tripunctata* (Bates)
 74. コヒラタゴミムシ *Platynus protensus* (Morawitz)
- クビボソゴミムシ科 Brachinidae
75. オオホソクビゴミムシ *Brachinus scotomedes* Redtenbacher
- ゲンゴロウ科 Dytiscidae
- ヒメゲンゴロウ亜科 Colymbetinae
76. クロズマメゲンゴロウ *Agabus conspicuus* Sharp*
 77. マメゲンゴロウ *Agabus japonicus* Sharp*
 78. オオヒメゲンゴロウ *Rhantus erraticus* Sharp*
 79. ヒメゲンゴロウ *Rhantus pulverosus* (Stephens)⁽¹⁴⁾
- ケシゲンゴロウ亜科 Colymbetinae
80. ケシゲンゴロウ *Hyphydrus japonicus* Sharp*
- ゲンゴロウ亜科 Dytiscinae
81. クロゲンゴロウ *Clybister brevis* (Aube)*
 82. コシマゲンゴロウ *Hydaticus grammicus* (Germar)*
- エンマムシ科 Histeridae
83. クロチビエンマムシ *Carcinops pumilio* (Erichson)*
 84. キノコアカマルエンマムシ *Notodoma fungorum* Lewis
 85. ヒメエンマムシ *Margariotus weymarni* Wenzel
 86. ヒメナガエンマムシ *Platysoma celatum* Lewis*
- ミズスマシ科 Gyrinidae
87. オオミズスマシ *Dieneutus orientalis* (Modeer)*
 88. ミズスマシ *Grynus japonicus* Sharp*
 89. コミズスマシ *Grynus curtus* Motschulsky*
- タマキノコムシ科 Leiodidae
90. アカバマルタマキノコムシ *Sphaeroliodes rufescens* Portevin
- シテムシ科 Silphidae
91. オオモモブトシテムシ *Necrodes asiatics* Portevin
 92. マエモンシテムシ *Nicrophorus maculifrons* Kraatz
 93. ヨツボシモンシテムシ *Nicrophorus quadripunctatus* Kratz
- ハネカクシ科 Staphylinidae
- ヒラタハネカクシ亜科 Piestinae
94. ヒラタハネカクシ *Siagonium vittatum* Fauvel
 95. クロツヤハネカクシ *Priochirus japonicus* Sharp
- ヨツメハネカクシ亜科 Omaliinae
96. アロウヨツメハネカクシ *Olophrum arrowi* Scheerpelz
- オオキバハネカクシ亜科 Oxyporinae
97. オオズオオキバハネカクシ *Oxyporus parvus* Sharp
- アリガタハネカクシ亜科
98. コアリガタハネカクシ *Megaropederus lewisi* (Cameron)
 99. アオバアリガタハネカクシ *Paederus fuscipes* (Curti)
- ナガハネカクシ亜科 Xantholiniae
100. コバナナガハネカクシ *Lathrobium pollens* Sharp
 101. ツマキツヤナガハネカクシ *Nudobius apicipennis* Sharp
- ハネカクシ亜科 Staphylininae
102. オオアカバハネカクシ *Agelosus carinatus* (Sharp)
 103. ムネビロハネカクシ *Algon grandicollis* Sharp
 104. ツヤケシブチヒゲハネカクシ *Anisolinus elegans* Sharp
 105. ハイイロハネカクシ *Eucibdelus japonicus* Sharp
 106. ツマグロアカバハネカクシ *Hesperus tiro* (Sharp)
 107. サビハネカクシ *Ontholestes gracilis* (Sharp)
 108. ルリコガシラハネカクシ *Philonthus cyanipennis* (Fabricius)
 109. アカバハネカクシ *Staphylinus pagansu* Sharp
- シリホソハネカクシ亜科 Tachyporinae
110. カタモンキノコハネカクシ *Bolitobius setiger* (Sharp)
 111. アカチャキノコハネカクシ *Bolitobius prolongatus* (Sharp)
 112. オオヒメキノコハネカクシ *Cisboleti* Scopoli
 113. ハラグロキノコハネカクシ *Lordithon bicolor* (Gravenhorst)
 114. ハスオビキノコハネカクシ *Lordithon irregularis* (Weise)
 115. クロモンキノコハネカクシ *Lordithon semirufos* (Sharp)

116. ハネスジキノコハネカクシ *Lodithon striatus* (Oliver)
 117. フタモンヒメキノコハネカクシ *Sepedophilus bipustulatus* (Gravenhorst)
 118. ヒメキノコハネカクシ *Sepedophilus tibialis* (Sharp)
 119. ヤマトマルクビハネカクシ *Tachinus japonicus* Sharp
 120. クロツヤマルクビハネカクシ *Tachinus punctiventris* Sharp
- ヒゲブトハネカクシ亜科 Aleocharinae
 121. ミイロチビハネカクシ *Phymatura japonica* Cameron
 122. モンクロアリノスハネカクシ *Zyras optatus* (Sharp)
- デオキノコムシ科 Scaphidiidae
 123. ホソスジデオキノコムシ *Acaphium tibiale* Lewis
 124. ヤマトデオキノコムシ *Scaphidium japonum* Reitter
 125. クリイロケンデオキノコムシ *Scaphisoma castaneipenne* Reitter
 126. アカケシデオキノコムシ *Scaphisoma rufum* Achard
- マルハナノミ上科 Eucinetoidea
 マルハナノミ科 Helodidae
 127. イシハラチビマルハナノミ *Cyphon ishiharai* K.Sasagawa
 128. キムネマルハナノミ *Eloides flavicollis* Kiesenwetter
- コガネムシ上科 Scarabaeoidea
 クワガタムシ科 Lucanidae
 129. ミヤマクワガタ *Lucanus maculifemoratus* Motschulsky
 130. コクワガタ *Macrodercus rectus* (Motschulsky)
 131. スジクワガタ *Macrodercus striatipennis* Motschulsky
 132. アカアシクワガタ *Nipponodercus rubrofemorata* (Snellen van Vollenhoven)
- コブスジコガネ科 Trogidae
 133. ヒメコブスジコガネ *Trox opacotuberculatus* Motschulsky
- センチコガネ科 Geotrupidae
 134. センチコガネ *Geotrupes laevistriatus* Motschulsky
- コガネムシ科 Scarabaeidea
 ダイコクコガネ亜科 Scarabaeinae
 135. ツヤエンマコガネ *Onthophagus nitidus* Waterhouse
- コフキコガネ亜科 Melolonthinae
 136. ナガチャコガネ *Heptophylla picea* Motschulsky
 137. クロコガネ *Holotrichia kiotoensis* Brenske
 138. オオクロコガネ *Holotrichia parallela* (Motschulsky)
139. ナエドコチャイロコガネ *Sericania mimica* Lewis
- アシナガコガネ亜科 Hoplinae
 140. アシナガコガネ *Hoplia communis* Waterhouse
- ビロウドコガネ亜科 Sericinae
 141. アカビロウドコガネ *Maledera castanea* (Arrow)
 142. オオビロウドコガネ *Maladera renardi* (Ballion)
 143. カバイロビロウドコガネ *Nipponoserica similis* Lewis
 144. ワタリビロウドコガネ *Nipponenserica peregrina* (Chapin)
 145. ハイイロビロウドコガネ *Paraserica gricea* Motschulsky
 146. ヒゲナガビロウドコガネ *Serica boops* Waterhouse
- スジコガネ亜科 Rutelinae
 147. コイチャコガネ *Aderetus tenuimaculatus* Waterhouse
 148. サクラコガネ *Anomala daimiana* Harold
 149. ツヤコガネ *Anomala lucens* Ballion
 150. セマダラコガネ *Blitopertha orientalis* (Waterhouse)
 151. ヒメスジコガネ *Mimela flavilabris* Waterhouse
 152. オオスジコガネ *Mimela costata* Hope
 153. スジコガネ *Mimela testaceipes* Motschulsky
 154. マメコガネ *Popillia japonica* Newman
 155. ウスチャコガネ *Phyllopertha diversa* Waterhouse
 156. オオタケチャイロコガネ *Sericania ohtakei* Sawada
- ヒラタハナムグリ亜科 Valginae
 157. ヒラタハナムグリ *Nipponovalgus angusticollis* (Waterhouse)
- ハナムグリ亜科 Cetoninae
 158. クロハナムグリ *Glyphana fulvitemma* Motschulsky
- マルハナノミ科 Helodidae
 159. キムネマルハナノミ *Helodes protectus* Harold
- ナガハナノミ科 Ptilodactylidae
 160. エダヒゲナガハナノミ *Epilichas flabellatus* (Kiesenwetter)
 161. クロツヤヒゲナガハナノミ *Epillochos monticola* Nakane
- ヒラタドROMシ科 Psephenidae
 162. ヒメマルヒラタドROMシ *Eubrianax pellucidus* Lewis
- ヒメドROMシ科 Elmidae
 163. ハバビドROMシ *Dryomorpha extraneus* Hinton

- タマムシ科 Buprestidae
 タマムシ亜科 Buprestinae
164. タマムシ *Buprestis haemorroidalis japonensis* Saunders*
 165. ウバタマムシ *Chalcophora japonica* Gory*
 166. タマムシ *Chrysochroa fulgidissima* Schonerr*
- ムツボシタマムシ亜科 Chrysobothridae
167. ヒメヒラタタマムシ *Anthaxia proteus* E.Saunders(4)
 168. ムツボシタマムシ *Chrysobothris succedanea* Saunders*
- ナガタマムシ亜科 Aglinae
169. ダイミョウナガタマムシ *Agrilus daimio* Oberberger
 170. アサギナガタマムシ *Agrilus rotundicollis* Sunders*
 171. ウグイスナガタマムシ *Agrilus tempestivus* Lewis⁽⁶⁾
 172. ミツボシナガタマムシ *Agrilus trinotatus* Sunders*
 173. アオグロナガタマムシ *Agrilus viridiobscurus* E.Saunders⁽⁶⁾
 174. ホソアシナガタマムシ *Anthaxia tibialis**
 175. シロオビナカボソタマムシ *Caraebus quadriundulatus* Motschulsky*
- ツブタマムシ亜科 Paratrachyinae
176. ヒラタチビタマムシ *Harbroloma elegantula* (Saunders)*
 177. クズノチビタマムシ *Trachys auricollis* E.Saunders⁽⁶⁾
 178. ヤナギチビタマムシ *Trachys minuta* Linne*
 179. マメチビタマムシ *Trachys reitteri* Obenberger*
 180. アカガネチビタマムシ *Trachys tsushimae* Obenberger
 181. ダンダラチビタマムシ *Trachys variolaris* Saunders*
 182. ヤノナミガタチビタマムシ *Trachys yanoi* Y.Kurosawa
 183. コウゾチビタマムシ *Trachys* sp*
- コメツキムシ上科 Elateroidea
 コメツキムシ科 Elateridae
 ヒゲコメツキ亜科 Pityobiinae
184. ヒゲコメツキ *Pectocera fortunei* Candeze
- サビキコリ亜科 Pyrophorinae
185. サビキコリ *Agrypnus binodulus* (Motschulsky)
 186. ムナビロサビキコリ *Agrypnus cordicollis* (Candeze)
 187. ヒメサビキコリ *Agrypnus scrofa* (Candeze)
 188. オオクシヒゲコメツキ *Tetrigus lewisi* Candeze
- ベニコメツキ亜科 Denticollinae
189. サビキコリ *Agrypnus binodulus* (Motschulsky)
 190. ヒメクロツヤハダコメツキ *Athous desertor* Candeze
 191. クロツヤハダコメツキ *Athous secessus* Candeze
192. ドウガネヒラタコメツキ *Corymbiotodes gratus* (Lewis)
 193. ニホンベニコメツキ *Denticollis nipponensis* Ohira
 194. シリプトヒラタコメツキ *Eanooides puerilis* (Candeze)
 195. タテジマカネコメツキ *Gombrinus vittatus* (Candeze)
 196. トラフコメツキ *Selatosomus onerosus* (Lewis)
 197. オオツヤハダコメツキ *Stenagastus umbratilis* (Lewis)
- コメツキ亜科 Elaterinae
198. ヨコズナシモフリコメツキ *Actenicerus giganteus* Kishi*
 199. ホソシモフリコメツキ *Actenicerus yamashitai* Ohira
 200. シモフリコメツキ *Actenicerus pruinosus* (Motschulsky)
 201. アカアシクロコメツキ *Ampedus japonicus* Silfverberg
 202. アカコメツキ *Ampedus orientalis* (Lewis)
 203. ケバククロコメツキ *Ampedus vestitus* Lewis
 204. キバネホソコメツキ *Delerosomus gracilis* (Candeze)
 205. ヨツキボシコメツキ *Ectinus insignatus* (Lewis)
 206. カバイロコメツキ *Ectinus sericeus* (Candeze)
 207. ホソツヤケシコメツキ *Hayekpenthes pallidus* (Lewis)
 208. ムネアカクロコメツキ *Ischnodes maiko* W.Suzuki
 209. ヒゲナガコメツキ *Neotrichophorus junior* (Candeze)
- クシコメツキ亜科 Melanotinae
210. アカアシオオクシコメツキ *Melanotus cete* Candeze
 211. ヒラタクシコメツキ *Melanotus koikei* Kishii et Ohira
 212. クシコメツキ *Melanotus legatus* Candeze
 213. オオクロクシコメツキ *Melanotus restricus* Candeze
 214. クロクシコメツキ *Melanotus sensilis* Candeze
- ハナコメツキ亜科 Cardiophorinae
215. コハナコメツキ *Paracardiophorus pullatus* (Candeze)
 216. アカアシハナコメツキ *Platynychus adjutoradjutor* (Candeze)
- コメツキダマシ科 Eucnemidae
 ミゾコメツキダマシ亜科 Eucneminae
217. クロヒメミゾコメツキ *Dramaeolus lewisi* Fleutiaux
- フチトリコメツキダマシ亜科 Dirrhaginae
218. ナガミゾコメツキダマシ *Dirrhagofarsus lewsi* (Fleutiaux)
- ホタル上科 Cantharoidea
 ベニボタル科 Lucidae
219. ミスジヒシベニボタル *Bonibotarus spinicoxis* (Kesenwetter)*
 220. ヒメベニボタル *Lyponia delicatula* Kiesenwetter
 221. カクムネベニボタル *Lyponia quadricollis* (Kiesenwetter)
 222. コクシヒゲベニボタル *Macrolycus aemulus* Balovskij*

動物

223. ミヤマクシヒゲボタル *Macrolycus montanus* Nakane*
224. クロハナボタル *Plateros coracinus* (Kiesenwetter)*
225. フトヒシベニボタル *Pyropterus nigroruber* Degeer
- ホタル科 Lampyridae
226. ムネクリイロボタル *Cyphonocerus ruficollis* Kiesenwetter
227. ヒメボタル *Hotaria parvula* (Kesenwetter)*
228. ゲンジボタル *Luciola cruciata* Motschulsky
229. オバボタル *Lucidina biplagiata* (Motschulsky)
230. クロマドボタル *Lychnuris fumosa* (Gorham)
- ホタルモドキ科 Omethidae
231. チビホタルモドキ *Omethes rugiceps* Lewis
- ジョウカイボン科 Cantharidae
- ジョウカイボン亜科 Cantharinae
232. クロホソジョウカイ *Athemus aegrota* (Kiesenwetter)
233. クロジョウカイ *Athemus attristanus* (Kiesenwetter)*
234. ジョウカイボン *Athemus suturellus* (Motschulsky)
235. マルムネジョウカイ *Prothemus ciusiamus* (Kiesenwetter)
236. クビボソジョウカイ *Podabrus heydeni* Kiesenwetter
237. ミヤマクビボソジョウカイ *Podabrus lictorius* Lewis⁽⁴⁾
238. クロヒメクビボソジョウカイ *Podabrus malthinoides* Kiesenwetter
239. ウスイロクビボソジョウカイ *Podabrus temporalis* Harold
240. ヒガシマルムネジョウカイ *Prothemus reini* (Kiesenwetter)
241. クリイロジョウカイ *Stenothermus badius* (Kiesenwetter)
242. アオジョウカイ *Themus cyanipennis* Motschulsky
243. ウスチャジョウカイ *Themus insulsus* Harold
- カツオブシムシ上科 Dermestoidae
- カツオブシムシ科 Dermestidae
- マルカツオブシムシ亜科 Anthreninae
244. チビマルカツオブシムシ *Anthrenus japonicus* N.Ohbayashi
- シバンムシ科 Anobiidae
- シバンムシ亜科 Anobiinae
245. オオナガシバンムシ *Probius cylindricum* (Nakane)
- コクヌスト科 Trogossidae
- チビコクヌスト亜科 Lophocaterinae
246. チビコクヌスト *Latolaeva japonica* (Reitter)
- カッコウムシ科 Cleridae
- カッコウムシ亜科 Clerinae
247. キオビナガカッコウムシ *Opilo carinatus* Lewis
248. ムナグロナガカッコウムシ *Opilo nipponicus* Lewis
249. クロダングラカッコウムシ *Stigmatium nakanei* Iga
- ジョウカイモドキ科 Melyridae
- ケシジョウカイモドキ亜科 Dasytinae
250. ホソヒメジョウカイモドキ *Attalus elongatulus* Lewis
251. クロアオケシジョウカイモドキ *Celsus japonicus* Kiesenwetter
252. ケシジョウカイモドキ *Dasytes vulgaris* Nakane
253. ツマキアオジョウカイモドキ *Malachius prlongatus* Motschulsky
- ヒラタムシ上科 Cucujoidae
- ケシクスイ科 Nitidulidae
- デオケシクスイ亜科 Caprophilinae
254. クロハナケシクスイ *Carpophilus chalybeus* Murray
- ケシクスイ亜科 Nitidulinae
255. ナガコゲチャケシクスイ *Amphicrosis lewisi* Reitter
256. クロマルケシクスイ *Cyllodes ater* (Herbst)
257. ヒメクロマルケシクスイ *Cyllodes brevisculus* (Reitter)
258. ニセクロマルケシクスイ *Cyllodes dubius* (Reitter)
259. ツバキヒラタケシクスイ *Eपुरaea commutata* Grouvelle
260. キバナガヒラタケシクスイ *Eपुरaea mandibularis* Reitter
261. クロヒラタケシクスイ *Ipidia violosa* Reitter
262. キボシヒラタケシクスイ *Omosita colon* (Linne)
263. キノコヒラタケシクスイ *Physoronia explanata* Reitter
264. ウスオビキノコケシクスイ *Pocadites dilatimanus* (Reitter)
265. クロマダラケシクスイ *Soronia lewisii* Reitter
266. マルマダラケシクスイ *Stelidota multiguttata* Reitter
- ヒメハナムシ科 Phalacridae
267. ベニモンアシナガヒメハナムシ *Heterolitus coronatus* (Flach)
268. キイロアシナガヒメハナムシ *Heterolitus thoracicus* Fleutriaux
269. ミツモンセマルヒラタムシ *Psammoecus triguttatus* Reitter
- ホソヒラタムシ科 Silvanidae
- セマルヒラタムシ亜科 Psammoecinae
270. クロオビセマルヒラタムシ *Psammoecus fasciatus* Reitter
- クスイムシ科 Cryptophagidae
- クスイムシ亜科 Cryptophaginae
271. ヨツモンクスイ *Cryptophagus callosipennis* Grouvelle
272. ヒゲブトクスイ *Cryptophagus latangulus* Hisamatsu

- ムクゲキスイムシ科 Biphyllidae
273. ケマダラムクゲキスイ *Biphyllus flexuosus* (Reitter)
274. カタモンムクゲキスイ *Biphyllus humeralis* (Reitter)*
- キスイモドキ科 Byturidae
275. キスイモドキ *Byturus affinis* Reitter
276. ズグロキスイモドキ *Byturus atricollis* Reitter
- コメツキモドキ科 Languriidae
- コメツキモドキ亜科 Languriinae
277. ルイスコメツキモドキ *Languriomorpha lewsi* (Crotch)
- オオキノコムシ科 Elotylidae
- オオキノコムシ亜科 Tritominae
278. カタモンオオキノコムシ *Aulacochilus japonicus* Crotch
279. ルリオオキノコ *Aulacochilus sibilicus* Reitter*
280. ミヤマオビオオキノコムシ *Episcapha gorhami* Lewis
281. クロハバビロオオキノコムシ *Neotriplax atrata* Lewis
282. アカハバビロオオキノコムシ *Neotriplax lewisii* Lewis
283. キベリハバビロオオキノコムシ *Neotriplax pallidicincta* (Lewis)
284. ホソチビオオキノコムシ *Triplax japonica* Crotch
285. シベリアチビオオキノコムシ *Triplax sibirica* Solsky
286. フタオビチビオオキノコ *Tritoma latifasciata* (Lewis)
287. クロチビオオキノコムシ *Tritoma nipponensis* (Lewis)
- ホソガタオオキノコムシ亜科 Dacninae
288. ズグロホソオオキノコ *Dacne zonalia* Lewis
289. オオキノコムシ *Encaustes praenobilis* Lewis
290. ミヤマオビオオキノコムシ *Epicapha gorhami* Lewis
- テントウムシダマシ科 Endomychidae
- テントウダマシ亜科 Endomychinae
291. トウヨウダナエテントウダマシ *Danae orientalis* (Gorham)*
292. クロモンケブカテントウダマシ *Ectomychus musculus**
293. ルリテントウダマシ *Endomychus gorhami* (Lewis)^{sp}
294. キボシテントウダマシ *Mycetina amabilis* Gohman*
- テントウムシ科 Coccinellidae
- メツブテントウムシ亜科 Sticolotinae
295. クロツヤテントウ *Serangium japonicum* Chapin
- ヒメテントウムシ亜科 Scymminae
296. ヒメアカホシテントウ *Chilocornus kuwanae* Silvestri
297. フタホシテントウ *Hyperaspis japonica* (Crotch)
298. ハレヤヒメテントウ *Pseudoscymnus hareja* (Weise)
299. クロヒメテントウ *Scymnus japonicus* Weise
300. カワムラヒメテントウ *Scymnus kawamurae* (Ohta)
301. キアシクロヒメテントウ *Stethorus japonicus* H.Kamiya
302. クロテントウ *Telsimia nigra* Weise
- テントウムシ亜科 Coccinellinae
303. カメノコテントウ *Aiolocaria hexaspilota* (Hope)
304. ウンモンテントウ *Anatis halonis* Lewis
305. ムーアシロホシテントウ *Calvia muiri* (Timberlake)
306. シロジュウシホシテントウ *Calvia quatuordecimguttata* (Linne)
307. ナナホシテントウ *Coccinea septempunctata* Linne
308. ナミテントウ *Harmonia axyridis* (Pallas)
309. キイロテントウ *Illeis koebelei* Timberlake
310. ムツキボシテントウ *Oenopia scalaris* (Timberlake)
311. ヒメカメノコテントウ *Propylea japonica* (Thunberg)
312. アカイロテントウ *Rodolia concolor* (Lewis)
313. ジュウロクホシテントウ *Sospita parvinotata* (Miyatake)
314. シロホシテントウ *Vividia duodecimguttata* (Poda)
- マダラテントウムシ亜科
315. トホシテントウ *Epilachna admirabilis* Crotch
- ミジンムシダマシ科 Discolomidae
316. クロミジンムシダマシ *Aphanocephalus hemisphericus* Wollaston
- コキノコムシ科 Mycetophagidae
317. ヒゲブトコキノコムシ *Mycetophagus antennatus* (Reitter)
318. クロコキノコムシ *Mycetophagus ater* (Reitter)
319. コマダラコキノコムシ *Mycetophagus putolosus* (Reitter)
- ツツキノコムシ科 Ciidae
320. オオツツキノコムシ *Cis boleti* (Scopoli)
321. キタツツキノコムシ *Cis seriatopilosus* Motschulsky
322. アシユウナガツツキノコムシ *Nipponocis ashuensis* Nobuchi
323. スエヒロタケツツキノコムシ *Orthocis schizophylli* (Nakane et Nobuchi)
- キノコムシダマシ科 Tetratomidae
- コキノコムシダマシ亜科 Piseninae
324. クロコキノコムシダマシ *Piseunus rufitasis* (Reitter)
- ナガクチキムシ科 Melandridae
- ニセハナノミ亜科 Orchesiinae
325. アヤモンニセハナノミ *Orchesia elegantula* Lewis

326. アカオビニセハナノミ *Orchesia imitans* Lewis
 327. カバイロニセハナノミ *Orchesia ocularis* Lewis

ナガクチキムシ亜科 Melandryinae

328. アオバナガクチキ *Melandrya gloriosa* Lewis⁽⁴⁾
 329. アカオビニセハナノミ *Orchesia imitans* Lewis
 330. カバイロニセハナノミ *Orchesia ocularis* Lewis
 331. コメツキガタナガクチキ *Paramikadnius crepuscula* (Lewis)
 332. クロホソナガクチキムシ *Phloetrya rugicollis* Marseul⁽⁴⁾
 333. ビロウドホソナガクチキ *Phloetrya obscura* (Lewis)
 334. キイロホソナガクチキ *Serropalpus nipponicus* Lewis
 335. ヒメナガクチキ *Symphora atra* Nomura
 336. ミヤケヒメナガクチキ *Symphora miyakei* Nomura et Hayashi

ハナノミ科 Mordellidae

337. クロフナガタハナノミ *Anaspis marseuli* Csiki
 338. チャイロヒメハナノミ *Glipostenoda rosseola* (Marseul)
 339. アラクハナノミ *Mordellaria arakii* (Nakane et Nomura)*

オオハナノミ科 Rhipiphoridae

340. シラホシハナノミ *Hoshihananomia perlata* (Sulzer)
 341. クチキオオハナノミ *Pelecotomoides tokejii* Nomura et Nakane

カミキリモドキ科 Oedemeridae

342. モモプトカミキリモドキ *Oedemeronia lucidiocollis* Motschulsky
 343. キアシカミキリモドキ *Oedemeronia manicata* (Lewis)
 344. ハラグロカミキリモドキ *Xanthochroa deformis* (Lewis)
 キイロカミキリモドキ *Xanthochroa hilleri* Harold
 345. キバネカミキリモドキ *Xanthochroa luteipennis* Marseul
 346. アオカミキリモドキ *Xanthochroa waterhousei* Harold

アカハネムシ科 Pyrochroidae

アカハネムシ亜科 Pyrochroinae

347. ウスイロアカハネムシ *Pseudopyrochroa peculiaris* (Lewis)

アリモドキ科 Anthicidae

348. ムナグロホソアリモドキ *Sapintus cohaeres* (Lewis)

ツチハンミョウ科 Meloidea

ゲンセイ亜科 Ncmognathinae

349. キイロゲンセイ *Zonitis japonica* Pic

ハムシダマシ科 Lagriidae

ハムシダマシ亜科 Lagriinae

350. アオハムシダマシ *Arthromacra viridissima* Lewis

351. ハムシダマシ *Lagria nigrocollis* Hope

352. ナガハムシダマシ *Macrolagria rufobrunnea* (Marseul)

クチキムシ科 Alleculidae

クチキムシ亜科 Alleculinae

353. クチキムシ *Allecula aenipennis* Harold
 354. ウスイロクチキムシ *Allecula simiola* Lewis
 355. クリイロクチキムシ *Borboresthes cruralis* (Marseul)
 356. クロツヤバネクチキムシ *Hymenalia unicolor* Nakane
 357. フナガタクチキムシ *Isomira oculata* (Marseul)

ゴミムシダマシ科 Tenebrionidae

カプトゴミムシダマシ亜科 Bolitophaginae

358. コブスジツノゴミムシダマシ *Boletoxenus bellicosus* (Lewis)

キノコゴミムシダマシ亜科 Diaperinae

359. ナガニジゴミムシダマシ *Ceropria induta* (Wiedermann)
 360. オオナガニジゴミムシダマシ *Ceropria sulcifrons* Harold
 361. クロツヤキノコゴミムシダマシ *Platydema nigroaenum* Motschulsky

テントウゴミムシダマシ亜科 Leiochrinae

362. クロホシテントウゴミムシダマシ *Derispia maculipennis* (Marseul)
 363. クロテントウゴミムシダマシ *Leiochrodes convexus* Lewis

エグリゴミムシダマシ亜科 Ulominae

364. ヨツコブゴミムシダマシ *Uloma bonzica* Marseul
 365. エグリゴミムシダマシ *Uloma marseuli* Nakane

ゴミムシダマシ亜科 Tenebrioninae

366. ルリゴミムシダマシ *Encyalesthus violaceipennis* (Marseul)
 367. ミツノゴミムシダマシ *Toxicum subtricornutum* M.T.Chujou

ニジゴミムシダマシ亜科 Cnodaloninae

368. マルツヤニジゴミムシダマシ *Addia scatebrae* Lewis
 369. ルリツヤヒメキマワリダマシ *Simalura coerulea* (Lewis)

マルクビゴミムシダマシ亜科 Helopinae

370. ヒメマルムネゴミムシダマシ *Tarpela elegantula* (Lewis)

キマワリ亜科 Amarygminae

371. クロツヤキノコゴミムシダマシ *Platydema nigroaureum* Motschulsky
 372. キマワリ *Plesiophthalmus nigrocyaneus* Motschulsky

373. クロナガキマワリ *Strongylium nipponicus* Lewis
- ナガキマワリ亜科 Strongylinae
374. ホソヒゲナガキマワリ *Ainutenuicornis* Lewis
375. ヒメナガキマワリ *Strongylium impigrum* Lewis
- ハムシ上科 Cryosomeloidea
- カミキリムシ科 Cerambycidae
- ホソカミキリ亜科 Disteniinae
376. ホソカミキリ *Distenia gracilis* (Blessig)⁽⁸⁾
- ノコギリカミキリ亜科 Prioninae
377. ウスバカミキリ *Megopsis sinicawhitzi* White⁽⁸⁾
378. ノコギリカミキリ *Prionus insularis* Motschulsky
- マルクビカミキリ亜科 Aseminae
379. ムネツヤサビカミキリ(ムナクボカミキリ) *Arhopalus rusticus* (Linne)
380. マルクビヒラタカミキリ *Asemum amurense* Kraatz
381. オオクロカミキリ *Megasemum quadricostulatum* Kraatz
- クロカミキリ亜科 Spondyliinae
382. クロカミキリ *Spondylis buprestoides* Linne
- ハナカミキリ亜科 Leptominae
383. ヒナルリハナカミキリ *Acmaeops minuta* (Gebler)⁽⁸⁾
384. ツヤケシハナカミキリ *Anastrangalia scotodes* (Bates)⁽⁸⁾
385. アカハナカミキリ *Corymbia succidanea* (Lewis)
386. キバネニセハムシハナカミキリ *Lemula decipiens* Bates
387. ツマグロハナカミキリムシ *Leptura arcuata tsumagurohana* Ohbayashi*
388. ヨツジハナカミキリ *Leptura ochraceofasciata* Motschulsky⁽⁸⁾
389. ニンフハナカミキリ *Parastrangalis nymphula* (Bates)⁽⁸⁾
390. チャイロヒメハナカミキリ *Pidonia aegrota* (Bates)⁽⁸⁾
391. フタオビノミハナカミキリ *Pidonia puziloi* (Solsky)⁽⁸⁾
392. ナガバヒメハナカミキリ *Pidonia signifera* (Bates)⁽⁸⁾
393. ヤマトヒメハナカミキリ *Pidonia yamato* Hayashi et Mizuno
394. モモグロハナカミキリ *Toxotinus reini* (Heyden)
- カミキリムシ亜科 Cerambyciinae
395. トゲヒゲトラカミキリ *Demonax transilis* Bates⁽⁸⁾
396. ホタルカミキリ *Dere thoracica* White⁽⁸⁾
397. オダヒゲナガコバネカミキリ *Glaphyra gracilis* (Hayashi)*
398. コジマヒゲナガコバネカミキリ *Glaphyra kojimai* (Matsusita)
399. ヒメスギカミキリ *Palaecallidium rufipenne* (Motschulsky)*
400. シロトラカミキリ *Paraclytus excultus* Bates⁽⁸⁾
401. ベニカミキリ *Purpuricenens temminckii* (Guerin-Meneville)
402. クスベニカミキリ *Pyrestes haematicus* Pascoe*
403. アメイロカミキリ *Stenodryas clavigera* Bates
404. カッコウメダカカミキリ *Stenhomalus cleroides* Bates
405. トワダムモンメダカカミキリ *Stenohomalus lighti* Gressitt
406. タカオメダカカミキリ *Stenhomalus takaosanus* Ohbayashi
407. ヒメクロトラカミキリ *Rhaphuma diminuta* (Bates)⁽⁸⁾
- フトカミキリ亜科 Lampiinae
408. ビロウドカミキリ *Acalolepta fraudatrix* (Bates)⁽⁸⁾
409. センノカミキリ *Acalolepta luxuriosa* (Bates)*
410. ゴマダラカミキリ *Anoplophola malasiaca* (Thompson)⁽⁸⁾
411. シナノクロフカミキリ *Asperda agapanthina* Bates⁽⁸⁾
412. コブスジサビカミキリ *Atimura japonica* Bates
413. ハスオビヒゲナガカミキリ *Cleptometopus bimaculata* (Bates)⁽⁸⁾
414. ヨツキボシカミキリ *Epiglenea comes* Bates
415. トゲバカミキリ *Eryssamensa saperdina* Bates⁽⁸⁾
416. クモガタケシカミキリ *Exocentrus fasciolatus* Bates
417. アトモンマルケシカミキリ *Exocentrus lineatus* Bates
418. キッコウモンケシカミキリ *Exocentrus testudineus* Matsushita⁽⁸⁾
419. ガロアケシカミキリ *Exocentrus galloisi* Matsushita⁽⁸⁾
420. シラホシカミキリ *Glenea relictata* Pascoe
421. イタヤカミキリ *Mecynippus pubicornis* Bates
422. ゴマフカミキリ *Mesosa japonica* Bates
423. クワサビカミキリ *Mesosella simiola* Bates⁽⁸⁾
424. カッコウカミキリ *Miccolamia cleroides* Bates
425. ヒシカミキリ *Microlera ptinoides* Bates⁽⁸⁾
426. ヒゲナガカミキリ *Monochamus grandis* Waterhouse
427. ヘリグロリンゴカミキリ *Nupserpha marginella* (Bates)*
428. ヒメリンゴカミキリ *Oberea hebescens* Bates⁽⁸⁾
429. リンゴカミキリ *Oberea japonica* (Thunberg)
430. ホソツツリンゴカミキリ *Oberea nigripennis* Bates
431. ヒゲナガゴマフカミキリ *Paltimna liturata* (Bates)*
432. ニセシラホシカミキリ *Paureutetrappa simulans* (Bates)*
433. マルモンサビカミキリ *Perolophia leiopodina* (Bates)
434. キクスイカミキリ *Phytoecia rufiventris* Gautier*
435. ネジロカミキリ *Pogonocherus seminiveus* Bates*
436. キボシカミキリ *Psacothoe hilaris* (Pascoe)
437. トガリシロオビサビカミキリ *Pterolophia caudata* Bates
438. エゾサビカミキリ *Pterolophia japonica* Breuning
439. ナカジロサビカミキリ *Pterolophia jugosa* (Bates)⁽⁸⁾
440. ヒメナガサビカミキリ *Pterophia leiopodea* (Bates)

441. アトモンサビカミキリ *Pterophia rigada* Bates
442. セミスジコブヒゲカミキリ *Rhodopina lewsii* (Bates)⁽¹⁶⁾
443. ヒトオビアラゲカミキリ *Rhopaloscelis unifasciatus* Blessig⁽¹¹⁾
444. フジヤマケシカミキリ *Sciades fujiyamai* (Matsumura et Matsushita)
445. ヤハズカミキリ *Uraecha bimaculata* Thompson
- ハムシ科 Chrysomelidae
- ネクイハムシ亜科
446. ツヤネクイハムシ *Donacia nitidior* (Nakane)*
447. オオネクイハムシ *Plateumaris constricticollis* (Jacoby)⁽¹²⁾
448. スゲハムシ *Plateumaris sericia* (Linne)*
- クビボソハムシ亜科 Criocerinae
449. キオビクビボソハムシ *Lema delicaluta* Baly*
450. アカクビボソハムシ *Lema diversa* Baly*
451. ヤマイモハムシ *Lema honorata* Baly
452. キイロクビナガハムシ *Lilioceris rugata* (Baly)
453. アカクビナガハムシ *Lilioceris subpolita* Motschulsky⁽¹³⁾
- ツツハムシ亜科 Cryptocephalinae
454. タマツツハムシ *Adiscus lewsii* (Baly)*
455. ルリツツハムシ *Cryptocephalus aeneoblitus* Takizawa*
456. バラルリツツハムシ *Cryprocephalus approximatus* Baly⁽¹⁴⁾
457. キアシルリツツハムシ *Cryptocephalus fortunatus* Baly⁽¹⁵⁾
458. ヨツモンクロツツハムシ *Cryptocephalus nobialis* Kraatz
459. セスジツツハムシ *Crytocephalus obliquostratus* Motschulsky
460. カシワツツハムシ *Cryptocephalus scitutus* Baly
461. キボシルリハムシ *Smaragdina aurita* (Linne)
- コブハムシ亜科 Chrysomelinae
462. アカガネサルハムシ *Acrothinium gaschkevitchii* (Motschulsky)⁽¹⁶⁾
463. ムシクソハムシ *Chalmisus spilatus* (Baly)
464. オオルリハムシ *Chrysolina virgata* (Motschulsky)*
465. ドロノキハムシ *Chrysomela populi* Linne*
466. マダラアラゲサルハムシ *Demotina fasculata* Baly
467. クルミハムシ *Gastrolina depressa* Baly*
468. ズグロキハムシ *Gastrolinoides japonica* (Harold)
469. フジハムシ *Gonioctera rubripennis* Baly⁽¹³⁾
470. ズグロアラメハムシ *Lochmaea caprea cribrata* (Solsky)*
471. ドウガネツヤハムシ *Oomorhoides cupreatus* (Baly)
472. カバノキハムシ *Syneta adamsi* Baly
- サルハムシ亜科 Eumolpinae
473. イモサルハムシ *Colasposoma dauricum* Mannerheim
474. マダラアラゲサルハムシ *Demotina fasciculata* Baly
- ホソハムシ亜科 Synetinae
475. カバノキハムシ *Syneta adamsi* Baly
- ハムシ亜科 Chrysomelinae
476. ハッカハムシ *Chrysolina exanthematica* (Wiedemann)
- ヒゲナガハムシ亜科 Gelelucinae
477. キクビアオハムシ *Agelasa nigricapis* Motschulsky
478. ハンノキハムシ *Agelestica coerulea* Baly
479. スジカミナリハムシ *Altica latericosta* (Jacoby)
480. ムナグロツヤハムシ *Arthrotus niger* Motschulsky
481. ウリハムシモドキ *Atrachya menetriesi* (Faldermann)
482. ウリハムシ *Aulacophora femoralis* (Motschulsky)
483. クロウリハムシ *Aulacophora nigripennis* Motschulsky
484. ハラグロヒメハムシ *Calomicrus cyaneus* (Jacoby)
485. ハラグロヒメハムシ *Caromicrus cyaneus* (Jacoby)
486. ウエツキブナハムシ *Chujoa uetsukii* (Chujo)
487. キアシヒゲアオハムシ *Clerotilia flavomarginata* Jacoby
488. キバラヒメハムシ *Exsoma flaviventre* (Motschulsky)
489. クワハムシ *Fleutiauxia armata* (Baly)
490. イチゴハムシ *Galerucella grisescens* (Joannis)*
491. アトボシハムシ *Paridea angulicollis* (Motschulsky)
492. ヨツボシハムシ *Paridea quadriplagiata* (Baly)*
493. ブチヒゲケブカハムシ *Pyrrhalta annulicornis* (Baly)*
494. アカタデハムシ *Pyrrhalta semifulva* (Jacoby)
495. エノキハムシ *Pyrrhalta tibialis* (Baly)
- ノミハムシ亜科 Halticinae
496. ヒメカミナリハムシ *Altica caerulescens* (Baly)*
497. ミズマタソウカミナリハムシ *Altica circaea* Ohno*
498. アカバナトビハムシ *Altica oleracea* (Linne)*
499. ツブノミハムシ *Aphthona permenuta* Baly
500. オオキイロマルノミハムシ *Argopus balyi* Harold
501. アカイロマルノミハムシ *Argopus ouncticollis* (Motschulsky)
502. オオアカマルノミハムシ *Argopus punctipennis* (Motschulsky)
503. キバネマルノミハムシ *Hemipyxis flavipennis* (Baly)
504. ヒゲナガルリマルノミハムシ *Hemipyxis plagioderoides* (Motschulsky)
505. クワノミハムシ *Luperomorpha funesta* (Baly)
506. ルリマルノミハムシ *Nonarthra cyaneum* Baly
507. チャバネツヤハムシ *Phygasia fulvipennis* (Baly)*

508. フタホシオオノミハムシ *Pseudodera xanthospila* Baly
 509. ムネアカタマノミハムシ *Sphaeroderma placidum* Harold
 510. キイロタマノミハムシ *Sphaeroderma unicolor* Kimoto
 511. ツマキタマノミハムシ *Sphaeroderma apicata* Baly

トゲトゲハムシ亜科 Hisprinae

512. ヒメキベリトゲハムシ *Dactylispa angulosa* (Solsky)*
 513. キベリトゲハムシ *Dactylispa masonii* Gestro
 514. カタバシトゲハムシ *Dactylispa subquadrata* (Baly)*
 515. クロルリトゲハムシ *Rhadinosa nigricyanea* Motschulsky

カメノコハムシ亜科 Cassidinae

516. セモンジンガサハムシ *Cassida versicolor* (Boheman)
 517. コガタカメノコハムシ *Cassida verspertina* (Boheman)
 518. イチモンジカメノコハムシ *Thlaspida biramosa* Boheman⁽¹³⁾
 519. ルイスジンガサハムシ *Thlaspida lewisii* (Baly)
 520. イノコズチヒメカメノコハムシ *Cassida japana* Baly*

ゾウムシ上科 Curculionoidae

ヒゲナガゾウムシ科 Anthribidae

ヒゲナガゾウムシ亜科 Anthribinae

521. アカアシヒゲナガゾウムシ *Araecerus tarsalis* Sharp
 522. エグリバネヒゲナガゾウムシ *Autotropis basipennis* (Sharp)
 523. マダラフトヒゲナガゾウムシ *Baistropis nitidicutis* Jekel
 524. キノコヒゲナガゾウムシ *Eupariis oculatus* (Sharp)
 525. エゴヒゲナガゾウムシ *Exechesops leucopis* (Jordan)
 526. ヒメコブヒゲナガゾウムシ *Gibber nodulosus* Sharp
 527. カオジロヒゲナガゾウムシ *Litocerus laxus* Sharp
 528. ウスモンツツヒゲナガゾウムシ *Ozotomerus nigromaculatus*

Morimoto

529. クロホシメナガヒゲナガゾウムシ *Phaulimia aberrans* Sarp
 530. ヒラズネヒゲボソゾウムシ *Phyllobius instrusus* Kono
 531. キマダラヒゲナガゾウムシ *Tropideres naevulus* Faust

オトシブミ科 Attelabidae

チョッキリゾウムシ亜科 Rhychitinae

532. チャイロチョッキリ *Aderorhinus cricroides* Roelofs
 533. ファウストハマキチョッキリ *Byctiscus fausti* Sharp
 534. ドロハマキチョッキリ *Byctiscus puberulus* (Motschulsky)
 535. ルリデオチョッキリ *Depasophilus apertus* (Sharp)
 536. グミチョッキリ *Involvulus placidus* (Sharp)
 537. カンルリチョッキリ *Neocoenorrhinus assimilis* (Roelofs)

オトシブミ亜科 Attelabinae

538. ウスモンオトシブミ *Apoderus balteatus* Roelofs

539. ヒメクロオトシブミ *Apoderus erythrogaster* Vollenhoven

540. オトシブミ *Apoderus jekelii* Roelofs

541. ウスアカオトシブミ *Apoderus rubidus* Motschulsky

542. マルムネチョッキリ *Chonostropher chujoi* Voss

543. エゴツルクビオトシブミ *Cycnotrachelus roelofsi* (Harold)

544. ルリイクビチョッキリ *Deporaus mannerheimi* (Hummel)

545. コナライクビチョッキリ *Deporaus unicolor* (Roelofs)

546. ルリオトシブミ *Euops punctatostratus* (Motschulsky)

547. カシルリオトシブミ *Euops splendida* Voss

548. ピロウドアシナガオトシブミ *Himaiolabus cupreus* (Roelofs)

549. オオケバカチョッキリ *Involvulus amabilis* (Roelofs)

550. アカクビナガオトシブミ *Paracentrocorynus nigricollis* (Roelofs)

551. ヒゲナガオトシブミ *Paratrachelophorus longicornis* (Roelofs)

552. ゴマダラオトシブミ *Paroplapoderus pardalis* (Vollenhoven)

ホソクチゾウムシ科 Apionidae

ホソクチゾウムシ亜科 Apioninae

553. メホソクチゾウムシ *Apion collare* Schilsky
 554. ヒゲナガホソクチゾウムシ *Apion placidum* Faust

ゾウムシ科 Curculionidae

クチブトゾウムシ亜科 Otiorhynchinae

555. クリイロクチブトゾウムシ *Cyrtopistomus castaneus* (Roelofs)
 556. ヒメシロコブゾウムシ *Dermatoxenos caesiocollis* (Gallenhal)
 557. シロコブゾウムシ *Episomus turritus* (Gyllenhal)
 558. ウスアオクチブトゾウムシ *Macrocorynus elegantulus* (Roelofs)
 559. コカシワクチブトゾウムシ *Macrocorynus griseoides* (Zumpt)
 560. カシワクチブトゾウムシ *Mylocerus griseus* Roelofs
 561. ニセチビヒョウタンゾウムシ *Myosides pyrus* Sharp
 562. リンゴコフキゾウムシ *Phyllobius armatus* Roelofs
 563. ツチイロヒゲボソゾウムシ *Phyllobius incomptus* Sharp
 564. ハダカヒゲボソゾウムシ *Phyllobius japonicus* Faust
 565. ウスイロヒゲボソゾウムシ *Phyllobius mundus* (Sharp)
 566. コブヒゲボソゾウムシ *Phyllobius picipes* Motschulsky

チビコフキゾウムシ亜科 Sitoninae

567. コフキゾウムシ *Eugnathus distinctus* Roelofs

タコゾウムシ亜科 Hyperinae

568. オオタコゾウムシ *Hypera punctata* (Fabricius)

カツオゾウムシ亜科 Cleoninae

569. カツオゾウムシ *Lixus impessiventris* Roelofs
 570. アイノカツオゾウムシ *Lixus maculatus* Roelofs

- アシナガゾウムシ亜科 *Mecysolobinae*
571. ホホジロアシナガゾウムシ *Mecysolobus erro* (Pascoe)
572. オジロアシナガゾウムシ *Mesalcidodes trifidus* (Pascoe)
- イネゾウムシ亜科 *Notarinae*
573. ケナガイネゾウムシ *Dorytomus hirtipennis* (Bedel)
574. ポプライネゾウムシ *Dorytomus urakoeae* (Morimoto et Enda)
- ミズゾウムシ亜科 *Transysphyrinae*
575. イネミズゾウムシ *Lissorhoptorus oryzae* Kuschel
- コバンゾウムシ亜科 *Gymnaetrinae*
576. キボシコバンゾウムシ *Miarus flavoscutellatus* Morimoto
- ノミゾウムシ亜科 *Tanysphyrinae*
577. クチブトノミゾウムシ *Orchestoides decipiens* Roelofs
578. アカアシノミゾウムシ *Rhynchaenus sanguipenis* (Roelofs)
- シギゾウムシ亜科 *Culculioninae*
579. シロオビチビシギゾウムシ *Curculio albovittans* (Kono)
580. セダカシギゾウムシ *Curculio convexus* (Roelofs)
581. ナツグミシギゾウムシ *Curculio elaeagni* Morimoto
582. アキグミシギゾウムシ *Curculio flavoscutellatus* (Roelofs)
583. クロサワシギゾウムシ *Curculio kurosawai* Morimoto
584. レロフチビシギゾウムシ *Curculio roelofsi* (Heller)
585. クリシギゾウムシ *Curculio sikkimensis* (Heller)
586. エゴシギゾウムシ *Curculio styracis* (Roelofs)
- ヒメゾウムシ亜科 *Bardinae*
587. ツヤケシヒメゾウムシ *Paracythopeus melancholicus* (Roelofs)
- サルゾウムシ亜科 *Ceutorynchinae*
588. カナムグラサルゾウムシ *Ceutorhynchus shaowuensis* Voss
589. ジュウジコブサルゾウムシ *Craponius bigibbosus* Hustache
590. タデサルゾウムシ *Homorosoma asper* (Roelofs)
591. キボシトゲムネサルゾウムシ *Mecysmoderes ater* Hustache
592. ツツジトゲムネサルゾウムシ *Mecysmoderes fulvus* Roelofs
593. タデノクチブトサルゾウムシ *Rhinoncus sibiricus* Faust
594. クロツヤサルゾウムシ *Wagneris costatus* (Hustache)
595. アルマンサルゾウムシ *Wagnerinus harmandi* (Hustache)
- クモゾウムシ亜科 *Zygopinae*
596. トゲハラヒラセクモゾウムシ *Metialma cordata* Marshall
- ツツゾウムシ亜科 *Carcillinae*
597. ツツゾウムシ *Carcilia strigicollis* Roelofs
- カレキゾウムシ亜科 *Acicemidinae*
598. アトジロカレキゾウムシ *Acinemus dorsonigrita* Voss
599. ナカスジカレキゾウムシ *Acinemis sturalis* Voss
- アナアキゾウムシ亜科 *Hylobiinae*
600. クリアアナキゾウムシ *Dyscerus exsculptus* (Roelofs)
601. ホソアナアキゾウムシ *Hylobius elongatus* (Roelofs)
- クチカクシゾウムシ亜科 *Cryptorhynchinae*
602. マダラククチカクシゾウムシ *Cryptorhynchus electus* (Roelofs)
603. マツアラハダククチカクシゾウムシ *Rhadinops confinis* Voss
- オサゾウムシ科 *Rynchophoridae*
- オサゾウムシ亜科 *Rynchophorinae*
604. オオゾウムシ *Sipilanus gigas* (Fabricius)
- キクイムシ科 *Scolytidae*
- ミカドキクイムシ亜科 *Scolytoplatypinae*
605. タイコンキクイムシ *Scolytoplatypus tycon* Blantford
- ザイキクイムシ亜科 *Ipinae*
606. トドマツオオキクイムシ *Xyleborus validus* Eichhoff

ハチ類

調査地及び方法

調査地は主に真壁町羽鳥の表坪から筑波山山頂周辺までのルートで、調査期間は1995年と1996年で、一部は1997年である。方法は、調査ルートを歩きながら、訪花したり飛翔するハチを捕虫網で見つけ取りした。さらに1995年は真壁町羽鳥及びつくば市の臼井と山口、古来にヨシとタケを束ねたトラップをしかけ、筑波山麓一帯の借坑性ハチ類について調べた。

結果

小島（未発表）が1977年に筑波山麓で行ったハナバチ類の定期採集の結果を含め、今回10科59種を報告する。コハナバチ科やヒメバチ科を中心に未同定の標本がまだかなりあり、今後種数が相当増えるのは確実である。

種名の後の（ ）は確認できた文献番号を、*は本調査で確認できなかった種を示す。

ツチバチ科 Scoliidae

1. ヒメハラナガツチバチ
Campsomeriella (Annulimeris) annulata annulata (Fabricius)
2. キオビツチバチ
Scolia (Discolia) oculata (Matsumura)

ベッコウバチ科 Pompilidae

3. オオモンクロベッコウ
Anoplius (Lophopompilus) samariensis (Pallas)

ドロバチ亜科 Eumenidae

4. ヤマトスジドロバチ
Ancistrocerus japonicus (Schulthess)
5. オオフトオビドロバチ
Anterhynchium flavomarginatum micado (Kirsch)
6. フタスジスズバチ
Discoelius japonicus Pérez
7. ムモントックリバチ
Eumenes rubronotatus rubronotatus Pérez
8. カバオビドロバチ
Euodynerus dantici violaceipennis Giordani Soika
9. オオカバフスジドロバチ
Orancistrocerus drewseni drewseni Saussure

10. スズバチ

Oreumenes decoratus (Smith)

11. フカイドロバチ
Rhynchium quinquecinctum fukaii Cameron
12. カタグロチビドロバチ
Stenodynerus chinensis simillimus Sk. Yamane et Gusenleitner
13. サイジョウハムシドロバチ
Symmorphus apiciornatus (Cameron)

スズメバチ亜科 Vespidae

14. ムモンホソアシナガバチ
Parapolybia indica indica (Saussure)
15. コアシナガバチ
Polistes snelleni Saussure
16. オオスズメバチ
Vespa mandarinia japonica Radoszkowski
17. クロスズメバチ
Vespula flaviceps lewisii (Cameron)

アナバチ科 Sphecidae

18. コクロアナバチ
Isodontia nigella (Smith)
19. ニッポンモンキジガバチ
Sceliphron deforme nipponicum Tsuneki

コハナバチ科 Halictidae

20. アカガネコハナバチ
Halictus (Seladonia) aerarius (Smith) ^{(1)*}
21. ヒラシマアオコハナバチ
Lasioglossum (Dialictus) problematicum (Blüthgen)
22. ズマルコハナバチ
Lasioglossum (Evyllaesus) affine (Smith) ^{(1)*}
23. ニジイロコハナバチ
Lasioglossum (Evyllaesus) apristum (Vachal) ⁽¹⁾
24. クラカケコハナバチ
Lasioglossum (Evyllaesus) allodalum Ebmer et Sakagami
25. シオカワコハナバチ
Lasioglossum (Evyllaesus) baleicum (Cockerell) ⁽¹⁾
26. ニッポンチビコハナバチ
Lasioglossum (Evyllaesus) japonicum (Dalla Torre) ^{(1)*}
27. キオビコハナバチ
Lasioglossum (Evyllaesus) sibiriacum (Blüthgen) ^{(1)*}
28. サビイロカタコハナバチ

- Lasioglossum (Lasioglossum) mutilum* (Vachal)
(1)
29. シロスジカタコハナバチ
Lasioglossum (Lasioglossum) occidens (Smith) (1)
30. フタモンカタコハナバチ
Lasioglossum (Lasioglossum) scitulum (Smith) (1)
31. ヤスマツフンダカコンボウハバチ
Rhopalomelissa yasumatui Hirashima (1)*
32. ヤマトハラアカハナバチ
Sphecodes nipponicus Yasumatsu

ヒメハナバチ科 Andrenidae

33. アブラナマメヒメハナバチ
Andrena (Micrandrena) brassicae Hirashima (1)*
34. ヒコサンマメヒメハナバチ
Andrena (Micrandrena) hikosana Hirashima (1)*
35. コマチマメヒメハナバチ
Andrena (Micrandrena) komachi Hirashima (1)*
36. ナカヒラアシヒメハナバチ
Andrena (Simandrena) opacifovea Hirashima (1)*
37. コガタウツギヒメハナバチ
Andrena (Calomelissa) tsukubana Hirashima
38. キバナヒメハナバチ
Andrena (Chlorandrena) knuthi Alfken (1)
39. ヤヨイヒメハナバチ
Andrena (Euandrena) hebes Pérez (1)
40. シロヤヨイヒメハナバチ
Andrena (Euandrena) stellaria Hirashima

ハキリバチ科 Megachilidae

41. ヒメトガリハナバチ
Coelioxys acuminata Nylander
42. ヤノトガリハナバチ
Coelioxys yanonis Matsumura
43. バラハキリバチ
Megachile nipponica Cockerell
44. オオハキリバチ
Megachile sculpturalis (Smith)
45. バラハキリバチモドキ
Megachile tsurugensis Cockerell (1)*
46. マメコバチ
Osmia cornifrons (Radoszkowski) (1)
47. ツツハナバチ
Osmia taurus Smith (1)*

コシブトハナバチ科 Anthophoridae

48. イワタチビツヤハナバチ
Ceratina (Ceratina) iwatai Yasumatsu (1)
49. キオビツヤハナバチ
Ceratina (Ceratinidia) flavipes Smith
50. ヤマトツヤハナバチ
Ceratina (Ceratinidia) japonica Cockerell (1)
51. ミツクリヒゲナガハナバチ
Tetralonia mitsukurii Cockerell
52. ニッポンヒゲナガハナバチ
Tetralonia nipponensis Pérez (1)
53. クマバチ
Xylocopa appendiculata circumvolans Smith

ミツバチ科 Apidae

54. ニホンミツバチ
Apis cerana Fabricius
55. セイヨウミツバチ
Apis mellifera Linnaeus
56. クロマルハナバチ
Bombus ignitus Smith (1)*
57. オオマルハナバチ
Bombus hypocrita hypocrita Pérez
58. トラマルハナバチ
Bombus diversus diversus Smith
59. コマルハナバチ
Bombus ardens ardens Smith

解説

筑波山におけるハチ類の調査は、小島（未発表）によるハナバチ類の季節消長調査など、現在まで断片的に行われているに過ぎない。

今回の調査では、ドロバチを中心とする借坑性ハチ類の調査がかなり進み、これまで県内で18種が知られるドロバチ亜科（スズメバチ科）のハチ類（久松，1986）のうち、10種が確認できた。県北部しか記録のなかったヤマトスジドロバチや、近年住宅環境の変化により人里で急激に個体数を減らしていると思われるサイジョウハムシドロバチが確認された。南方系の種で久松（1986）でも2個体の記録しかないフカイドロバチも今回の調査で確認され、筑波山麓一帯で最も一般的な種であるオオフタオビドロバチとの関係が興味をもたれる。

筑波山腹では、ミツバチ科のコマルハナバチとトラマルハナバチが優先的な位置を占め、他の地域のハナ

バチ相との比較が待たれるところである。

筑波山のハチ相は、一般的には関東平野の特徴を持っているといえよう。筑波山のハチ相の全貌を明らかにするには、今回の調査でリストアップできなかった、ハバチ類やヒメバチ、コバチ、タマバチ、アリ類などを加えた総合的な調査が必要であろう。

注目すべき種

(1) サイジョウハムシドロバチ *Symmorphus apiciornatus* (Cameron)

体長9 mm以下の小型で細長い種で、麦藁などでふいた屋根に集団で営巣する。近年の住宅事情の変化に伴い、人里で急速に個体数が減少している。集団の営巣地は見つからなかったが、つくば市山口に設置したトラップから記録された。

(2) フカイドロバチ *Rhynchium quinquecinctum fukaii* Cameron

南方系の種で、これまで久松(1986)が出島と水戸でそれぞれ1個体記録したのみである。茨城県南部では、オオフタオビドロバチが最も優勢で、久松が1980年代後半に竹筒やヨシを束ねたトラップに営巣した種を調べた際にも多くの個体が確認された。今回、筑波山麓のつくば市古来のトラップでは、オオフタオビドロバチの営巣はなくフカイドロバチのみが営巣した。オオフタオビドロバチと本種は、共に大型のドロバチで営巣する筒の坑径も共通する。県南部地域ではフカイドロバチの生息域拡大がおこっているのかもしれない。

(3) オオマルハナバチ *Bombus hypocrita hypocrita* Pérez

県内のマルハナバチの記録(水戸: 齊藤・山根, 1992; 八溝山: 石井・山根, 1980; 御前山: 伊宝・山根, 1985)を見ると、トラマルハナバチ *Bombus diversus diversus*, コマルハナバチ *Bombus ardens ardens*, ミヤママルハナバチ *Bombus honshuensis*, オオマルハナバチの記録があるが、いずれの地においてもオオマルハナバチの個体数は少なく、平地の水戸での記録はない。今回も1個体ではあるが真壁町羽鳥の筑波山腹において確認できた。

引用文献

- (1) 久松正樹. 1986. 茨城県のドロバチ科 (Eumenidae) ハチ類. 茨城大学教育学部研究紀要, **35**: 45-64.
- (2) 石井英世・山根爽一. 1981. 茨城県八溝山麓における野生ハナバチの調査. 茨城大学教育学部研究紀要, **30**: 45-59.
- (3) 伊宝真理子・山根爽一. 1985. 茨城県御前山山麓における野生ハナバチ相とその生態学的調査. 茨城大学教育学部研究紀要, **34**: 57-74.
- (4) 小島洋子. 未発表. 茨城県筑波山における野生ハナバチ相の生態学的研究. 茨城大学教育学部昭和52年度卒業論文. 43 pp.
- (5) 齊藤法子・山根爽一・松村 雄. 1992. 茨城大学水戸キャンパスにおけるハナバチの季節消長と訪花選好性. 茨城大学教育学部紀要, **41**: 153-172.

(調査研究及び執筆 久松正樹・山根爽一)

チョウ類

調査地及び方法

調査地は、真壁町羽鳥北坪（標高約50 m）からユースホテルを経て男体山頂（標高871 m）までのルートを中心に行い、ルートセンサス法を用いた。ルートをつくり移動しながら、ルートの両側約5 m 以内に出現した全ての蝶類（成虫）の種類と個体数を記録した。調査は、1995年の4月～11月について月1回、晴天の日の午前9時～午後4時の間に行った（表1）。また、上記ルートとともに筑波山神社周辺、ふれあいの里～白滝林道、酒寄～関東ふれあいの道（鬼ヶ作林道）についても、1995年4月～1996年11月にかけて不規則の採集観察による調査を行った。

表1. ルートセンサスによる調査日（1995年）.

期 日	羽鳥北坪の気温（時間）	天候
標高		
4月8日	16℃（9:00）	曇時々晴
5月24日	25℃（13:00）	晴
5月28日	23℃（10:00）	晴のち曇
7月10日	25℃（10:00）	晴
8月24日	32℃（9:30）	晴
9月23日	19℃（10:00）	曇時々晴
10月11日	16℃（10:30）	晴
11月3日	13℃（10:00）	晴

（6月は実施できず、不規則の採集のみ）

*不規則による採集は月2～3回程度を目安とした。また、採集観察地は以下の記号で示す。

RH: ルートの羽鳥周辺（50～200 m）
 RT: “ 中腹林道（200～400 m）
 RU: “ ユース周辺（400～600 m）
 RS: “ 山頂周辺（740～871 m）
 Z : 筑波山神社周辺（100～300 m）
 F : ふれあいの里周辺（100～200 m）
 SR: 白滝林道（100～300 m）
 SK: 酒寄周辺（50～250 m）
 K : 関東ふれあいの道（250～420 m）
 （鬼ヶ作林道）

結果

今回の調査で多数の個体を採集観察し、確認したのは8科67種である（表2）。ルートセンサスによる調

表2. 筑波山チョウ類種類数.

上科名	科名	種数（今回調査）	（文献による確認種）
セセリチョウ科	セセリチョウ科	10種	13種
アゲハチョウ科	アゲハチョウ科	8種	9種
	シロチョウ科	6種	8種
	シジミチョウ科	16種	17種
	テングチョウ科	1種	1種
	マダラチョウ科	1種	1種
	タテハチョウ科	16種	25種
	ジャノメチョウ科	9種	10種
		67種	84種

査により8科56種、不規則調査により4科11種を加えた。以下にそのリストを示すが、文献による確認種も加えてある。今回の調査では、偶産種であるクロコノマチョウを採集することができた。

種名の後の（ ）は確認できた文献の番号を、*は本調査において確認できなかった種を示す。

二門亜目 Ditrysia

セセリチョウ上科 Hesperioidea

セセリチョウ科 HesperIIDae

- ミヤマセセリ
Erynnis montanus (Bremer)
- ダイミョウセセリ
Daimio tethys tethys (Menetries)
- アオバセセリ
Chaospes benjaminii japonica (Murray)
- ギンイチモンジセセリ *Leptalina unicolor* (Bremer & Grey) ^{(11)(16)*}
- コチャバネセセリ
Thoressa varia (Murray)
- ホソバセセリ
Isotheon lamprospilus lamprospilus C. & R. Felder
- ヘリグロチャバネセセリ
Thymelicus sylvaticus sylvaticus (Bremer) ^{(2)*}
- ヒメキマダラセセリ
Ochlodes ochraceus (Bremer)
- キマダラセセリ
Potanthus flavus flavus (Murray)
- オオチャバネセセリ
Polytremis pellucida pellucida (Murray)
- ミヤマチャバネセセリ
Pelopidas jansonis (Butler) ^{(3)*}
- チャバネセセリ
Pelopidas mathias oberthueri Evans
- イチモンジセセリ

- Parnara guttata guttata* (Bremer & Grey)
- アゲハチョウ上科 Papilionodae
アゲハチョウ科 Papilionidae
14. ジャコウアゲハ *Byasa alcinous alcinous* (Klug)
15. アオスジアゲハ
Graphium sarpedo nipponum (Fruhstorfer)
16. アゲハ
Papilio xuthus Linnaeus
17. キアゲハ
Papilio machaon hippocrates C. & R. Felder
18. モンキアゲハ
Papilio helenus nicconicolens Butler
19. クロアゲハ
Papilio protenor demetrius Stoll
20. オナガアゲハ
Papilio macilentus Janson
21. カラスアゲハ
Papilio bianor dehaanii C. & R. Felder
22. ミヤマカラスアゲハ
Papilio maackii Menetries (3)(4)(11)(16)*
- シロチョウ科 Pieridae
23. キチョウ
Eurema hecabe hecabe (Linnaeus)
24. ツマグロキチョウ
Eurema laeta betheseba (Janson)
25. モンキチョウ
Colias erate poliographus Motschulsky
26. スジボソヤマキチョウ
Gonepteryx aspasia nipponica Bollow (2)*
27. スジグロンロチョウ
Pieris melete (Menetries)
28. エゾスジグロンロチョウ
Pieris napi (Linnaeus) (3)(9)(16)*
29. モンシロチョウ
Pieris rapae crucivora Boisduval
30. ツマキチョウ
Anthocharis scolymus Butler
- シジミチョウ科 Lycaenidae
31. ムラサキシジミ
Narathura japonica japonica (Murray)
32. ウラゴマダランジミ
Artopoetes pryeri (Murray)
33. アカシジミ
Japonica lutea (Hewitson)
34. ウラナミアカシジミ
Japonica saepestriata saepestriata (Hewitson)
35. ミズイロオナガシジミ
Antigius attilia attilia (Bremer)
36. ミドリシジミ
Neozephyrus japonicus (Murray)
37. オオミドリシジミ
Favonius orientalis (Murray)
38. コツバメ
Callophrys ferrea (Butler)
39. トラフシジミ
Rapala arata (Bremer)
40. ゴイシジミ
Taraka hamada hamada (H. Druce)
41. ベニシジミ
Lycaena phlaeas daimio (Matsumura)
42. クロシジミ
Niphanda fusca (Bremer & Grey) (3)(4)(7)(8)(10)*
43. ウラナミシジミ
Lampides boeticus (Linnaeus)
44. ヤマトシジミ
Zizeeria maha argia (Menetries)
45. ルリシジミ
Celastrina argiolus ladonides (de l'Orza)
46. ツバメシジミ
Everes argiades hellotia (Menetries)
47. ウラギンシジミ
Curetis acuta paracuta de Niceville
- テングチョウ科 Libytheidae
48. テングチョウ
Libythea celtis celtoides Fruhstorfer
- マダラチョウ科 Danaidae
49. アサギマダラ
Parantica sita nipponica (Moore)
- タテハチョウ科 Nymphalidae
50. ウラギンスジヒョウモン
Argyronome laodice japonica (Menetries) (3)(4)(7)(8)(9)(11)(12)*
51. オオウラギンスジヒョウモン
Argyronome ruslana lysippe (Janson)

52. メスグロヒョウモン
Damora sagana liane (Fruhstorfer)
53. クモガタヒョウモン
Nephargynnis anadyomene midas (Butler)
54. ミドリヒョウモン
Argynnis paphia tsushimana Fruhstorfer
55. ウラギンヒョウモン
Fabriciana adippe pallescens (Butler) (3)(4)(7)*
56. オオウラギンヒョウモン
Fabriciana nerippe (C. & R. Felder) (3)(4)(8)(12)*
57. ツマグロヒョウモン
Argyreus hyperbius hyperbius (Linnaeus) (3)(4)(12)*
58. イチモンジチョウ
Ladoga camilla japonica (Menetries)
59. アサマイチモンジ
Ladoga glorifica (Fruhstorfer) (3)(4)(8)(11)(16)*
60. コミスジ
Neptis sappho intermedia W. B. Pryer
61. ミスジチョウ
Neptis philyra excellens Butler
62. オオミスジ
Neptis alwina (Bremer & Grey) (3)(4)*
63. キタテハ
Polygonia c - aureum (Linnaeus)
64. シータテハ
Polygonia c - album hamigera (Butler) (3)(6)(8)(13)(16)*
65. ヒオドシチョウ
Nymphalis xanthomelas japonica (Stichel)
66. キベリタテハ
Nymphalis antiopa asopos (Fruhstorfer) (7)*
67. クジャクチョウ
Inachis io geisha (Stichel) (3)(4)(7)(10)(12)(13)(17)*
68. ルリタテハ
Kaniska canace nojaponicum (Linnaeus)
69. アカタテハ
Vanessa indica indica (Herbst)
70. ヒメアカタテハ
Cynthia cardui (Linnaeus)
71. スミナガン
Dichorragia nesimachus nesiotus Fruhstorfer
72. コムラサキ
Apatura metis substituta Butler

73. ゴマダラチョウ
Hestina japonica (C. & R. Felder)
74. オオムラサキ
Sasakia charonda charonda (Hewitson)
- ジャノメチョウ科 Satyridae
75. ヒメウラナミジャノメ
Ypthima argus Butler
76. ジャノメチョウ
Minois dryas bipunctata (Motschulsky)
77. ヒメキマダラヒカゲ
Zophoessa callipteris (Butler) (4)*
78. ヒカゲチョウ
Lethe sicelis (Hewitson)
79. クロヒカゲ
Lethe diana diana (Butler)
80. サトキマダラヒカゲ
Neope goschkevitschii (Menetries)
81. ヤマキマダラヒカゲ
Neope niphonica niphonica Butler
82. ヒメジャノメ
Mycalesis gotama fulginia Fruhstorfer
83. コジャノメ
Mycalesis francisca perdiccas Hewitson
84. クロコノマチョウ
Melanitis phedima oitensis Matsumura

解説

筑波山の昆虫類では最もよく調査が行われ、多くの記録や報告がある。中村(1929)はモンキアゲハの初記録を報じ、特に枝(1959)による筑波山付近の昆虫(I)蝶類は、同山付近の詳細な調査報告であり78種が記録されている。これによると南方系のモンキアゲハやツマグロヒョウモンが採れ、ムラサキンジミが多産し、ヒョウモン類の種類が多いことが特長であり、地形上から山地性の蝶が少ないことは当然としても、Zephyrus類が少ない点で精査の必要性を指摘している。さらに茨城県教育委員会(1970)では、キベリタテハの記録4例が加えられて79種が報じられた。この間にも、小島(1964)はヒメキマダラヒカゲを、渡辺(1964)はクロコノマチョウの採集を報告している。また筑波大学昆虫談話会(森, 1980; 石島, 1982; 山本, 1985)は、全生息種数と個体数の変動について報じており、生息種は74種とし(枝氏に記載されたもので、ヘリグロチャバネセセリ, ス

ジボソヤマキチョウ, ウラギンヒョウモン, オオウラギンヒョウモン, クジャクチョウ, シータテハ, オオミスジの7種を除外), 新たに, ギンイチモンジセセリ, クロヒカゲ, ヤマキマダラヒカゲの3種を加えた. 筑波山の採集記録は以上の84種となるが, 1990年代では飯島(1996)が, 91~93年の調査から71種を確認し, 蝶相の貧弱化傾向の報告をしている.

筑波山の蝶相は概して貧弱ではあるが, 関東平野に突き出たやや孤立する低山のためか, 注目すべき種の記録もいくつか見られる. 今回の調査では8科67種の記録を得ることができたが, 文献での確認種と比べて最も種数が減少傾向を示しているのはタテハチョウ科である. これには山麓部の開発や観光地化による草原や雑木林の減少が大きく関わっていると思われる. 偶産種はともかく, 減少または記録のできなかった種の多くはミヤマカラスアゲハ, ウラギンスジヒョウモンなどの山地性の蝶や, ギンイチモンジセセリ, クロシジミ, アサマイチモンジなどの生息域が限られる蝶であり, 近年の温暖化や開発による環境変化の影響が考えられる. 一方, 南方系のモンキアゲハ, ウラギンシジミ, ムラサキシジミ, アサギマダラなどは多く見られ, 特に過去1例の記録しかない(渡辺, 1964)クロコノマチョウが周辺の山麓部で発生し, 真壁町羽鳥では多数の記録を得た. 筑波山の蝶相は南方系の種が比較的豊富であるといえる. また, 枝(1959)の指摘するように Zephyrus 類や山地性の蝶は少ない. 注目すべき種については下記にまとめる.

筑波山塊アサギマダラの食草はイケマであることが鈴木(1995)により報告されているが, 今回の調査でもイケマに卵と幼虫を確認した. また母蝶よりイケマに産卵させた卵の発生過程から, 一回の発生に要する日数は約40日であり, 出現期5月中旬~10月の間に3回の発生を繰り返すと思われる(表3). イケマは落葉性で冬場は地上部の茎も腐り越冬個体は発見で

表3. アサギマダラの発生記録.

	No.1	No.2	日 数
産卵日	7.3日	7.4日	
孵化	7.8	7.10	孵化(5~6日)
1眠起	7.11	7.13	1齢期(約4日)
2 "	7.15	7.17	2 " (4日)
3 "	7.19	7.21	3 " (4日)
4 "	7.23	7.25	4 " (4日)
さなぎ	7.29	8.1	5 " (6~7日)
羽化	8.8♂	8.11♀	さなぎ(約10日)
			計 37~39日

母蝶採集 Jul 3 1995 真壁町羽鳥(300m).

きなかったが, 常緑性のキジョランは筑波山では極めて少なく, 筑波山本山では越冬は難しいと思われる. 県北ではキジョランでの越冬が確認されている.

<アサギマダラの生態データ>

- Jul 3 1995 鬼ヶ作林道(標高400m)
3卵, 1齢幼虫(2), 2齢幼虫(1)
- Aug 17 1995 鬼ヶ作林道(標高400m)
1齢幼虫(1), 2齢幼虫(2)

注目すべき種類

- (1) アオバセセリ
本州から南西諸島に生息する南方種. 5月は中腹, 8月は山頂で見かける.
May 24 1995 (RT) 1♂, May 24 1995 (K) 1♂,
Aug 24 1995 (RS) 2♂
- (2) ギンイチモンジセセリ
本州から九州に分布するが生息は局地的. 近年全国的に減少している. 森(1980), 飯島(1996)に記録記載.
- (3) ホソバセセリ
本州(福島県以西)から九州に分布する南方種. 8月頃白滝周辺に出現.
Jul 25 1996 (SR) 1♂
- (4) ヘリグロチャバネセセリ
県北でわずかな記録がある(野崎・福島・塩田1980). 筑波山での生息の記載は内山(1939)のみでやや疑問である.
- (6) ミヤマチャバネセセリ
本州から九州に分布. 県北や県南西部で記録がある. 枝(1959)に記録.
(5) チャバネセセリ
本州(関東以南)から南西諸島に分布する南方種. 9月頃山麓部に出現.
Sep 23 1995 (RH) 1♂・1♀
- (6) モンキアゲハ
本州(関東以西)から南西諸島に分布する南方種. 筑波山では中村(1929)が御幸ヶ原で初記録. 8月に山頂に多い.
Aug 7 1995 (Z) 1♂, Aug 24 1995 (RS) 2♂
- (7) ミヤマカラスアゲハ
全国の山地に分布. 県北山地では普通だが, 筑波山では少ない. 枝(1959), 小島(1964), 森(1980), 飯島(1996)に記録.
- (8) ツマグロキチョウ

本州（東西南部以南）から九州に分布。近年減少している。

Oct 13 1995 (Z) 1 ♂, Nov 5 1995 (RH) 1 ♂

(9) スジボソヤマキチョウ

県北山地には局地的に生息。筑波山での生息の記載は内山 (1939) のみ。

(10) エゾスジグロシロチョウ

北海道から本州、四国九州の山地に分布。筑波山での記録は少ない。枝 (1959), 水海道一高生物部蝶班 (1977), 飯島 (1996) に記録。

(11) ムラサキシジミ

本州（宮城県以南）から南西諸島に分布する南方種。神社や山麓部に多い。

Jul 29 1995 (Z) 1 ♀, Nov 5 1995 (RH) 4 ♂・1 ♀

(12) クロシジミ

本州から九州まで局地的に分布。アブラムシとクロオオアリのいる場所に生息。筑波山では以前は多産したが、近年採集の報告は少ない。枝 (1959), 小島 (1964), 茨城県教育委員会 (1970), 小菅 (1975), 大橋 (1978)。

(13) ウラナミシジミ

房総半島以西から南西諸島に分布する南方種。筑波山では8月から出現。

Sep 23 1995 (RH) 1 ♂, Oct 13 1995 (Z) 1 ♂

(14) ウラギンシジミ

本州（福島県以南）から南西諸島に分布する南方種。筑波山には多い。

Aug 24 1995 (RU) 4 ♂, Sep 30 1995 (RT) 1 ♂, Oct 13 1995 (SK) 2 ♀

(15) テングチョウ

北海道から南西諸島まで分布する南方種。筑波山では以前は少なかったが、近年よく見かける。

Aug 24 1995 (RS) 1 ♂, Oct 13 1995 (Z) 1 ♂

(16) アサギマダラ

本州（関東地方以南）に土着する南方種。移動性が強く、春に北上し秋には南下する。筑波山では8月に山頂で多く見られる。

May 18 1995 (RT) 1 ♂・1 ♀, Aug 24 1995 (RS) 3 ♂・2 ♀, Oct 13 1995 (Z) 2 ♂

(17) ウラギンスジヒョウモン

北海道から九州に分布。以前は薬師高原に多産。近年の採集報告は少ない。枝 (1959), 小島 (1964), 茨城県教育委員会 (1970), 小菅 (1975), 水海道一高生物部蝶班 (1977), 野崎・福島・塩田 (1980), 森 (1980) に記録。

(18) ウラギンヒョウモン

北海道から九州に分布する山地性の種。筑波山での近年の採集報告はない。枝 (1959), 小島 (1964), 茨城県教育委員会 (1970) に記録。

(19) オオウラギンヒョウモン

本州・四国・九州に極めて局地的に分布。全国的に激滅し、筑波山でも近年の採集報告はない。枝 (1959), 小島 (1964), 小菅 (1975), 野崎・福島・塩田 (1980) に記録。

(20) ツマグロヒョウモン

本州（近畿地方以南）から南西諸島に分布する南方種。筑波山での近年の採集報告は少ない。枝 (1959), 小島 (1964), 野崎・福島・塩田 (1980) に記録。

(21) アサマイチモンジ

本州に分布する日本特産種。山麓部に生息するが、近年減少している。枝 (1959), 小島 (1964), 小菅 (1975), 森 (1980), 飯島 (1996) に記録。

(22) ミスジチョウ

北海道から九州に分布する大型種で個体数は少ない。筑波山でも少ない。

Jul 10 1995 (RH) 1 ♀

(23) オオミスジ

北海道（渡島半島）から本州（滋賀県以北）に分布する山地性の大型種。筑波山での近年の採集記録はない。枝 (1959), 小島 (1964) に記録。

(24) シータテハ

北海道から九州に分布する山地性の種。筑波山でも記録はあるが近年少ない。枝 (1959), 藤野 (1965), 小菅 (1975), 石島 (1982), 飯島 (1996) に記録。

(25) キベリタテハ

北海道から中部地方まで分布する山地性の種。県内でわずかの記録がある。筑波山では4例の偶産種。茨城県教育委員会 (1970) に記録。

(26) クジャクチョウ

北海道から中部地方まで分布する山地性の種。移動性が強い。県北山地には多いが筑波山では稀。枝 (1959), 小島 (1964), 茨城県教育委員会 (1970), 大橋 (1977), 野崎・福島・塩田 (1980), 石島 (1982), 鈴木 (1997) に記録。

(27) オオムラサキ

北海道南西部から九州に分布する大型種。県内にも局地的に生息するが、近年減少した種。筑波山でも少ない。

Jul 3 1995 (RT) 1 ♂, Aug 24 1995 (RS) 1 ♂, Jun

16 1996 (Z) 1 ♂

(28) ヒメキマダラヒカゲ

北海道から九州まで分布する山地性の種。県北山地では年1化の発生が知られている。筑波山周辺では真壁町で1例のみの偶産種。小島(1964)に記録。

(29) クロヒカゲ

北海道から九州に分布。筑波山には少ない。

Aug 24 1995 (RS) 2 ♂

(30) ヤマキマダラヒカゲ

北海道から九州・屋久島に分布。中腹ではサトキマダラヒカゲと混棲するが山頂に多い。筑波山産は他産地と比べてやや横長、眼状紋の明色環が薄いなどの変異がある。

May 24 1995 (RT) 1 ♂, Aug 24 1995 (RS) 9 ♂・3 ♀

(31) クロコノマチョウ

房総半島以西から九州・屋久島まで土着。筑波山では1例(渡辺, 1964)のみであったが、今回の調査で5例の採集と4例の目撃を記録した偶産種。

Oct 13 1995 (Z) 1 ♂, Oct 30 1995 (RH) 1 ♂・2 ♀, Nov 3 1995 (RH) 1 ♂

引用文献

- (1) 中村 倭. 1929. モンキアゲハ筑波山に産す. *Lansania*, **1** (9): 142.
- (2) 内山俊一. 1939. 茨城県の蝶類相. *虫の世界*, **3** (3/4): 54-57.
- (3) 枝 重夫. 1959. 筑波山付近の昆虫 (I) 蝶類. *新昆虫*, **12** (2): 30-35.
- (4) 小島正二. 1964. 筑波山付近の蝶類. 茨城県高等学校生物部会誌, (8), 16-20.

(5) 渡辺重行. 1964. クロコノマチョウ採集される. *おけら*, **5**: 1.

(6) 藤野. 1965. 筑波山でC-タテハ採集. *おけら*, **18**: 1.

(7) 茨城県教育委員会. 1970. 筑波山の動物, 蝶類. 特別地域自然財分布調査報告書, **264**: 301-305.

(8) 小菅次男. 1975. 筑波山の昆虫. 茨城の生物 (第1集). pp.178-180, 茨城県高等学校教育研究会生物部.

(9) 水海道一高生物部蝶班. 1977. 筑波山の蝶. *LARVA*, **6**: 11-19.

(10) 大橋恒夫. 1978. 私の筑波山の蝶採集記録 (1970-1976). *おけら*, **47**: 35-36.

(11) 森 英明. 1980. 筑波山の蝶類 (その1). *おとしぶみ*, **9**: 20-28.

(12) 野崎武・福島正武・塩田正寛. 1980. <茨城県産昆虫目録と解説>蝶類. *おけら*, **50**: 168-202.

(13) 石島 篤. 1982. 筑波山の蝶類 (まとめ). *おとしぶみ*, **11**: 16-20.

(14) 山本勝利. 1985. 筑波山の蝶類 (追報). *おとしぶみ*, **14**: 33.

(15) 鈴木成美. 1995. 筑波山塊アサギマダラの食草はイケマ. *おけら*, **59**: 71.

(16) 飯島義克. 1996. 筑波山の蝶類 (1991~1993年の調査より). 茨城県高等学校生物部会誌, (68): 2-18.

(17) 鈴木敏雄. 1997. 筑波山でクジャクチョウを採集. *おとしぶみ*, **17**: 41.

(調査研究及び執筆 飯島義克・石塚武彦)

ガ類

調査地及び方法

調査地は、1995年4月28日から6月29日までは明野町酒寄からの林道を筑波山腹西寄りにつめた標高約400 m地点 (S), その後は真壁町羽鳥上坪からの林道を登ったキャンプ場下部, 標高約400 m (K) と山頂鞍部の御幸ヶ原, 標高約700 m (M) である。これらの地点で斉藤が1995年に8回, 1996年に7回の調査を行った。その他に金井が1995年に筑波ユース下, 標高約550 m (T), 1996年に鬼ヶ作林道, 標高約550 m (O) で追加的に調査を行った。調査日は表1に示した。各採集日の後に調査地の略称を付けた。

調査は主にライトトラップを用いて行った。ライトトラップは支柱を用いて1.8 m × 2.7 m の白布を張り, 発電器あるいは交流電源によって100 W 高圧水銀灯2灯を点灯した。日没時から点灯し, 飛来する蛾の種類が少なくなる夜半まで採集を行った。本調査ではいわゆる大蛾類 (Macrolepidoptera) を調査対象とし, 小蛾類 (Microlepidoptera) は対象外とした。

表1. 筑波山のガ類調査日と場所。

1995年	1996年
4月28日 S	6月20日 K
6月8日 S	6月28日 M
6月29日 S	7月18日 K
7月26日 K	7月27日 M
8月2日 T	8月9日 O
8月4日 M	8月12日 O
8月20日 K	8月17日 M
9月24日 K	9月7日 M
10月23日 K	10月11日 K

結果

筑波山のガ類は, 文献の調査結果を含めて23科445種が確認された (表2, 付表1)。また, 今回の斉藤の定期調査で採集した1639頭のうち, 同定できたのは22科409種であった。この他に未同定種が29頭残されている。また, 交尾器による確認の必要な種類 (マダラウワバ類, アズキノメイガ種群等) があるので, さらに詳しく検討する必要がある。

付表の種名の後の数字は確認できた文献の番号を, *は本調査において確認できなかった種を示す。

解説

筑波山における蛾類の調査は断片的に行われており, 現在まで小蛾類を含めて43種が記録されている (金井・渡辺, 1980; 松井, 1984; 松井, 1993)。

表2. 筑波山のガ類種数。

亜目	上科	科	種数
コウモリガ亜目	コウモリガ上科	コウモリガ科	2
二門亜目	ボクトウガ上科	ボクトウガ科	1
	マダラガ上科	マダラガ科	1
		イラガ科	5
	メイガ上科	マドガ科	4
		メイガ科	6
	トリバガ上科	トリバガ科	1
	シャクガ上科	カギバガ科	7
		トガリバガ科	8
		シャクガ科	9
		アゲハモドキガ科	1
		フタオガ科	1
	カイコガ上科	カレハガ科	5
		オビガ科	1
		ヤママユガ科	4
	スズメガ上科	スズメガ科	17
シャチホコガ上科	シャチホコガ科	21	
ヤガ上科	ドクガ科	9	
	ヒトリガ科	16	
	コブガ科	1	
	カノコガ科	1	
	ヤガ科	17	
	トラガ科	1	
	合計	23科	445種

しかし, 組織的に, あるいは継続して行われた調査はなく, 今回の調査が初めてのものと思われる。ただし前に述べたように, 本調査は主に筑波山北面と西面の中腹と山頂に限られており, また, 晩秋から早春にかけての調査が欠如している。このようなことから, 本調査の結果は筑波山の蛾相の一部を代表するものと考えられ, 蛾相の全貌を明らかにするにはさらに多くの時期, 場所での調査が必要になろう。

筑波山は関東平野の北端に位置することから, そのガ相も一般的には関東平野の特徴を持っており, 関東地方を北限とする種類や関東以北では少なくなる種類を含んでいる。また, 山頂部にはブナ林を残しており, ブナを食樹とする種類が採集されている。

注目すべき種類

(1) モンキノメイガ *Pelena sericea* (Butler)

Jun 29 1995 S 1 ♂

宮城県以南の低山地や平地で採集されるが少ないといわれる。

(2) ウスジロトガリバ *Parapsestis albida* Suzuki
Aug 4 1995 M 1 ♀, Jun 28 1996 M 3 ♀ 2 ♂, Aug 17 1996 M 2 ♀

幼虫はブナを食う。

(3) オオナミシャク *Callibraxas maculata* (Swinhoe)

Jun 20 1996 K 2 ♀ 1 ♂

北海道から九州まで分布するが、関東以西では多くない。

(4) クロミスジシロエダシヤク *Myrteta angelica*
Butler

Aug 17 1996 M 1 ♀, Oct 11 1996 K 2 ♀

北海道から九州，屋久島，台湾まで分布するがあまり多くない。

(5) クロオオモンエダシヤク *Microcalicha fumosaria fumosaria* (Leech)

Jul 27 1996 M 1 ♀

北海道から九州まで分布するがあまり多くない。

(6) マエモンキエダシヤク *Heterarmia costipunctaria* (Leech)

Jul 26 1995 K 1 ♀

北海道と本州の関東以南に分布するが少ない。

(7) モンキクロエダシヤク *Proteostrenia pica*
Wileman

Apr 28 1995 S 1 ♀

本州の関東北部から四国，九州まで分布するがあまり多くない。

(8) ブナアオシヤチホコ *Quadricalcarifera punctatella* (Motschulsky)

Aug 4 1995 M 3 ♀ 2 ♂, Aug 17 1996 M 2 ♀ 5 ♂

北海道南部から東北，中部の山地，四国九州の高地に産し，幼虫はブナを食う。

(9) マルモンシヤチホコ *Peridea rotundata* (Matsumura)

Aug 17 1996 M 1 ♂

北海道南部から東北，中部の山地，四国九州のブナ帯に産し，幼虫はブナを食う。

(10) タカムクシヤチホコ *Takadonta takamukui*
Matsumura

Aug 4 1995 M 1 ♂, Aug 20 1995 K 1 ♀

青森県から九州まで分布する。幼虫はブナを食う。

(11) ニセタマナヤガ *Peridroma saucia* (Hubner)

Aug 20 1995 K 1 ♀, Jun 28 1996 M 1 ♂

1970年代に日本に侵入した種類で，その後，日本各地で記録されている。

(12) ウラギンキヨトウ *Aletia pryeri* (Leech)

Jun 28 1996 M 1 ♂

日本南部に多く，関東地方では希。

(13) クロチャマダラキリガ *Rhynchaglaea fuscipennis* Sugi

Apr 28 1995 S 1 ♂

常緑のカシ類を食べる。分布の北限に近い。

(14) ヒメハガタヨトウ *Apamea commixta* (Butler)

Jun 28 1996 M 1 ♀

北海道と本州に産する。どの地域でも少ない。

(15) アオフシラクモヨトウ *Antapamea conciliata*
(Butler)

Jun 8 1995 S 1 ♂, Jun 20 1996 K 1 ♀

温暖帯に分布し，関東地方が北限とされる。

(16) ニシキキンウワバ *Ctenoplusia ichinosei*
(Dufay)

Aug 20 1995 K 1 ♀

関東以北では希な種類といわれる。

(17) ゴマシオキンタバ *Catocala nubila* Butler

Jul 27 1996 M 3 ♀ 1 ♂, Aug 17 1996 M 2 ♀, Sep 7 1996 M 2 ♀

北海道から九州まで分布する。幼虫はブナを食う。

(18) オオトモエ *Erebus ephesperis* (Hubner)

Aug 20 1995 K 2 ♀, Aug 17 1996 M 1 ♀

関東地方が北限とされる。

引用文献

- (1) 井上 寛・杉 繁郎・黒子 浩・森内 茂・川辺 湛. 1982. 日本産蛾類大図鑑. Vol. 1 966 pp. Vol. 2 552 pp., 講談社.
- (2) 金井節博・渡辺重行. 1980. <茨城県産昆虫目録と解説>鱗翅目蛾類. おけら, 50: 203-254.
- (3) 松井安俊. 1984. 筑波山東麓9月初旬の蛾. おけら, 53: 25-28.
- (4) 松井安俊. 1993. チョウ目Lepidopteraガ類. 水戸昆虫研究会(編). 茨城県の昆虫. pp 238-298.
- (5) 杉 繁郎. 1994. 日本産蛾類大図鑑以後の追加種と学名の変更. 97 pp., 日本蛾類学会.

調査者

斉藤 修
金井節博

(執筆 斉藤 修)

付表 1. 筑波山のカ類リスト.

- コウモリガ亜目 Exoporia
 コウモリガ上科 Hepialoidea
 コウモリガ科 Hepialidae
 1. コウモリガ *Endoclyta excrescens* (Butler)
 2. キマダラコウモリ *Endoclyta sinensis* (Moore)
- 二門亜目
 ボクトウガ上科 Cossioidea
 ボクトウガ科 Cossidae
 3. ゴマフボクトウ *Zeuzera multistrigata leuconota* Butler⁽³⁾⁽⁵⁾
- マダラガ上科 Zygaenoidea
 マダラガ科 Zygaenidae
 4. シロシタホタルガ *Chalcosia remota* (Walker)
- イラガ科 Limacodidae
 5. ムラサキイラガ *Austrapoda dentata* (Oberthur)
 6. イラガ *Monema flavescens* Walker⁽³⁾⁽⁵⁾
 7. ナシイラガ *Narosoides flavidorsalis flavidorsalis* (Staudinger)
 8. クロシタアオイラガ *Parasa sinica* Moore
 9. アカイラガ *Phrixolepia sericea* Butler
- メイガ上科 Pyraloidea
 マドガ科 Thyrididae
 10. ハスオビマドガ *Pyrinoides aureus* Butler
 11. アカジマドガ *Striglina cancellata* (Christoph)
 12. アミマドガ *Striglina suzukii* Matsumura
 13. ヒメアカジマドガ *Striglina venia* Whalley
- メイガ科 Pyralidae
 ツトガ亜科 Crambinae
 14. ツトガ *Ancylolomia japonica* Zeller
 15. ウスクロスジツトガ *Chrysoteuchia diplogramma* (Zeller)
 16. シロスジツトガ *Crambus argyrophorus* Butler
 17. ニセシロスジツトガ *Crambus pseudoargyrophorus* Okano
- ノメイガ亜科 Pyraustinae
 18. シロヒトモンノメイガ *Analthes semitritalis orbicularis* (Shibuya)
 19. オオキノメイガ *Botyodes principalis* Leech
 20. アカウスグロノメイガ *Bradina angustalis pryeri* Yamanaka
 21. モモノゴマダラノメイガ *Conogethes punctiferalis* (Guenee)
 22. トビヘリキノメイガ *Goniorhynchus clausalis* (Christoph)
23. クロズノメイガ *Goniorhynchus exemplaris* Hampson
 24. モンキクロノメイガ *Herpetogramma luctuosalis zelleri* (Bremer)⁽³⁾⁽⁵⁾
 25. ミツテンノメイガ *Mabra charonialis* (Walker)
 26. シロテンキノメイガ *Nacoleia commixta* (Butler)
 27. ホシオビホソノメイガ *Nomis albopedalis* Motschulsky
 28. ヒメクロミスジノメイガ *Omiodes misera* (Butler)
 29. キバラノメイガ *Omiodes noctescens* (Moore)
 30. クロミスジノメイガ *Omiodes similis* (Moore)
 31. シロアシクロノメイガ *Omiodes tristrialis* (Bremer)
 32. アズキノメイガ群 *Ostrinia* Complex
 33. フタマタノメイガ *Pagyda arbiter* (Butler)
 34. ヘリジロキンノメイガ *Paliga auratalis* (Warren)
 35. マエアカスカシノメイガ *Palpita nigropunctalis* Bremer
 36. モンキノメイガ *Pelena sericea* (Butler)
 37. キロノメイガ *Perinephela lancealis pryeri* Munroe & Mutuura
 38. クロスジキンノメイガ *Pleuroptya balteata* (Fabricius)
 39. ホソミスジノメイガ *Pleuroptya chlorophanta* (Butler)
 40. シロハラノメイガ *Pleuroptya deficiens* (Moore)
 41. オオキバラノメイガ *Pleuroptya harutai* (Inoue)
 42. ウスイロキンノメイガ *Pleuroptya punctimarginalis* (Hampson)
 43. キムジノメイガ *Prodasynemesis inornata* (Butler)
 44. モンスカシキノメイガ *Pseudebulea fentoni* Butler
 45. クロオビノメイガ *Pycnarmon pantherata* (Butler)
 46. セスジノメイガ *Sinibotys evenoralis* (Walker)
 47. ヒメセスジノメイガ *Sinibotys obliquilinealis* Inoue
 48. タイワンモンキノメイガ *Syllepte taiwanalis* Shibuya
 49. ヨツボシノメイガ *Talanga quadrimaculalis* (Bremer & Grey)
 50. クロスジノメイガ *Tyspanodes striata striata* (Butler)
 51. オオモンシロルリノメイガ *Uresiphita dissipatalis* (Lederer)
- ミズメイガ亜科 Nymphulinae
 52. ゼニガサミズメイガ *Parthenodes bifurcalis* Snellen
- ツヅリガ亜科 Gallerinae
 53. マエグロツヅリガ *Cataprosopus monstrosus* Butler
- フトメイガ亜科 Epipaschinae
 54. ハスジフトメイガ *Epilepia dentata* (Matsumura et Shibuya)
 55. クロテンフトメイガ *Jocara rufescens* (Hampson)
 56. ネグロフトメイガ *Lepidogma atribasalis* (Hampson)
 57. ナカトビフトメイガ *Orthaga achatina* (Butler)
 58. クロモンフトメイガ *Orthaga euadrusalis* Walker

59. アオフトメイガ *Orthaga olivacea* (Warren)
 60. オオフトメイガ *Salma amica* (Butler)
 61. フタスジフトメイガ *Termioptycha bilineata* (Wileman)
 62. ナカアオフトメイガ *Teliphasa elegans* (Butler)
 63. ナカジロフトメイガ *Termioptycha margarita* (Butler)
 64. ミドリフトメイガ *Trichotophya jucundalis* (Walker)

シマメイガ亜科 Pyralinae

65. スオビトガリメイガ *Endotricha consocia* (Butler)
 66. ウスベントガリメイガ *Endotricha olivacealis* (Bremer)
 67. ウスモンマルバシマメイガ *Hypsopygia kawabei* Yamanaka
 68. フタスジシマメイガ *Orthopygia glaucinalis* (Linnaeus)
 69. マエモンシマメイガ *Tegulifera bicoloralis* (Leech)

マダラメイガ亜科 Phycitinae

70. ウスアカムラサキマダラメイガ *Calguia defigualis* Walker
 71. スジグロマダラメイガ *Ceroprepes nigrolineatella* Shibuya
 72. ウスアカネマダラメイガ *Ceroprepes patriciella* Zeller
 73. アカフマダラメイガ *Conobathra ferruginella* Wileman^{(3)(5)*}
 74. ツツマダラメイガ *Conobathra squalidella* (Christoph)
 75. ミカドマダラメイガ *Nephoterix mikadella* Ragonot
 76. ヤマトマダラメイガ *Nephoterix intercisella* Wileman
 77. アカマダラメイガ *Oncocera semirubella* (Scopoli)
 78. オオクロモンマダラメイガ *Pempelia vinacea* (Inoue)
 79. アカグロマダラメイガ *Pyla manifestella* Inoue

トリバガ上科 Pterophoroidea

トリバガ科 Pterophoridae

80. ヨモギトリバ *Oidaematophorus hirosakianus* (Matsumura)

シャクガ上科 Geometroidea

カギバガ科 Drepanidae

81. マエキカギバ *Agnidra scabiosa scabiosa* (Butler)⁽³⁾⁽⁵⁾
 82. ヒトツメカギバ *Auzata superba superba* (Butler)
 83. ウスイロカギバ *Callidrepana palleola* (Motschulsky)
 84. エゾカギバ *Nordstromia grisearia* (Staudinger)
 85. ヤマトカギバ *Nordstromia japonica* (Moore)^{(3)(5)*}
 86. アシベニカギバ *Oreta pulchripes* Butler
 87. クロスジカギバ *Oreta turpis* Butler

トガリバガ科 Thyatiridae

88. ホシボシトガリバ *Demopsestis punctigera* (Butler)
 89. ヒメウスベントガリバ *Habrosyne aurorina aurorina* (Butler)⁽³⁾⁽⁵⁾
 90. アヤトガリバ *Habrosyne pyritoides derasoides* (Butler)

91. ウスジロトガリバ *Parapsestis albida* Suzuki
 92. ギンモントガリバ *Parapsestis argenteopicta* (Oberthur)
 93. オオバトガリバ *Tethea ampliata ampliata* (Butler)
 94. オオマエベントガリバ *Tethea consimilis consimilis* (Warren)
 95. モントガリバ *Thyatira batis japonica* Werny

シャクガ科 Geometridae

アオシャク亜科 Geometrinae

96. アシプトチズモンアオシャク *Agathia visenda curvifiniens* Prout
 97. ヒメシロフアオシャク *Chloromachia infracta* (Wileman)
 98. クロモンアオシャク *Comibaena delicatior* (Warren)
 99. ウスアオシャク *Dindica virescens* (Butler)
 100. ツバメアオシャク *Gelasma ambigua* (Butler)
 101. ハガタツバメアオシャク *Gelasma graudificaria* (Graeser)
 102. ヒメツバメアオシャク *Gelasma protrusa* (Butler)
 103. カギシロスジアオシャク *Geometra dieckmanni* Graeser
 104. オオアヤシャク *Pachyodes superans* (Butler)
 105. ウスアオアヤシャク *Pingasa aigneri* Prout
 106. カギバアオシャク *Tanaorhinus reciprocata confuciarum* (Walker)
 107. クスアオシャク *Thalassodes subquadraria* Inoue

ヒメシャク亜科 Sterrhinae

108. ウスキヒメシャク *Idaea biselata* (Hufnagel)
 109. ヒトツメオオシロヒメシャク *Problepsis superans superans* (Butler)
 110. ギンバネヒメシャク *Scopula epiorrhoe* Prout

ナミシャク亜科 Larentiinae

111. オオナミシャク *Callabraxas maculata* (Swinhoe)
 112. ツマキシロナミシャク *Calleulype whitelyi whitelyi* (Butler)
 113. ソトシロオビナミシャク *Chloroclystis excisa* (Butler)^{(3)(5)*}
 114. フタテンナカジロナミシャク *Dysstroma cinereata japonica* Heydemann
 115. オオハガタナミシャク *Ecliptopera umbrosaria umbrosaria* (Motschulsky)
 116. アトスジグロナミシャク *Epilobophora obscuraria* (Leech)
 117. ウストビモンナミシャク *Eulithis ledereri inurbana* (Prout)
 118. キアミメナミシャク *Eustroma japonicum* Inoue
 119. ハガタナミシャク *Eustroma melancholicum melancholicum* (Butler)
 120. セスジナミシャク *Evecliptopera decurrens illitata* (Wileman)
 121. キガシラオオナミシャク *Gandaritis agnes agnes* (Butler)
 122. キマダラオオナミシャク *Gandaritis fixseni* (Bremer)
 123. ウスクモナミシャク *Heterophleps fusca fusca* (Butler)

124. シロシタトビロナミシヤク *Heterothera postalbida* (Wileman)
 125. セグロナミシヤク *Laciniodes unistirpis* (Butler)
 126. ナカジロナミシヤク *Melanthia procellata inquinata*
 (Butler)^{(3) (5)}
 127. ネグロウスベニナミシヤク *Photoscotosia atrostrigata* (Bremer)
 128. ピロードドナミシヤク *Sibatania mactata* (Felder & Rogenhof-
 hofer)
 129. ホソバナミシヤク *Tyloptera bella bella* (Butler)
- エダシヤク亜科 Ennominae
130. スギタニシロエダシヤク *Abraxas flavisinuata* Warren
 131. ヒトスジマダラエダシヤク *Abraxas latifasciata* Warren
 132. ヌウマダラエダシヤク *Abraxas miranda miranda* Butler^{(3) (5)}
 133. ヒメマダラエダシヤク *Abraxas nipponibia* Wehrli
 134. ナカウスエダシヤク *Alcis angulifera* (Butler)
 135. ヒメナカウスエダシヤク *Alcis medialbifera* Inoue
 136. クロクモエダシヤク *Apocleora rimisa* (Butler)
 137. キシタエダシヤク *Arichanna melanaria fraterna* (Butler)
 138. キエダシヤク *Auaxa sulphurea* (Butler)
 139. ハイイロオオエダシヤク *Biston regalis comitata* (Warren)
 140. アトグロアミエダシヤク *Caberagriseolimbatata griseolimbatata*
 (Oberthur)
 141. コスジシロエダシヤク *Cabera purus* (Butler)
 142. ツマキエダシヤク *Crypsicometa incertaria* (Leech)
 143. マツオオエダシヤク *Deileptenia ribeata* (Clerck)
 144. ハスオビエダシヤク *Descoreba simplex simplex* Butler
 145. クロフシロエダシヤク *Dilophodes elegans elegans* (Butler)
 146. オオトビスジエダシヤク *Ectropis excellens* (Butler)
 147. ツマキエダシヤク *Endropiodes abjectus abjectus* (Butler)
 148. サラサエダシヤク *Epholca arenosa* (Butler)
 149. アミメオオエダシヤク *Erebomorpha fulguraria* Walker^{(3) (5) *}
 150. ウスオビヒメエダシヤク *Euchristophia cumulata cumulata*
 (Christoph)^{(3) (5)}
 151. フタテンオエダシヤク *Godonela defixaria* (Walker)
 152. ウスオエダシヤク *Godonela hebesata* (Walker)
 153. ナミガタエダシヤク *Heterarmia charon charon* (Butler)
 154. マエモンキエダシヤク *Heterarmia costipunctaria* (Leech)
 155. ウラベニエダシヤク *Heterolocha aristonaria* (Walker)
 156. サザナミオビエダシヤク *Heterostegana hyriaria* Warren
 157. オオバナミガタエダシヤク *Hypomecis lunifera* (Butler)
 158. ウスバミスジエダシヤク *Hypomecis punctinalis conferenda*
 (Butler)
 159. ハミスジエダシヤク *Hypomecis roboraria displicens* (Butler)
 160. チャノウモンエダシヤク *Jankowskia fuscaria fuscaria* (Leech)
 161. フタホシシロエダシヤク *Lomographa bimaculata subnotata*
 (Warren)
 162. クロズウスキエダシヤク *Lomographa simplicior simplicior*
 (Butler)
 163. バラシロエダシヤク *Lomographa temerata* (Denis & Schiffe-
 rmuller)
 164. ウスクモエダシヤク *Menophra senilis* (Butler)
 165. オオシロエダシヤク *Metabraxas clerica clerica* Butler
 166. クロオオモンエダシヤク *Microcalicha fumosaria fumosaria*
 (Leech)
 167. クロミスジシロエダシヤク *Myrteta angelica* Butler
 168. エグリヅマエダシヤク *Odontopera arida arida* (Butler)
 169. ウスグロノコバエダシヤク *Odontopera bidentata harutai*
 (Inoue)
 170. ウスキツバメエダシヤク *Ouraapteryx japonica* Inoue
 171. シロツバメエダシヤク *Ouraapteryx maculicaudaria*
 (Motschulsky)^{(3) (5)}
 172. コガタツバメエダシヤク *Ouraapteryx obtusicauda* (Warren)
 173. ウスアオエダシヤク *Parabapta clarissa* (Butler)
 174. ツマキリウスキエダシヤク *Parcelipsis gracilis* (Butler)
 175. ウラモンアカエダシヤク *Parepione grata* (Butler)
 176. シロトゲエダシヤク *Phigalia verecundaria* (Leech)^{(3) (5) *}
 177. リンゴツノエダシヤク *Phthonosema tendinosaria* (Bremer)
 178. コナフキエダシヤク *Plagodis pulveraria japonica* (Butler)
 179. マエキオエダシヤク *Plesiomorpha flaviceps* (Butler)
 180. クロフオオシロエダシヤク *Pogonopygia nigralbata* Warren^{(3) (5) *}
 181. シロモンクロエダシヤク *Proteostrenia leda* (Butler)
 182. モンキクロエダシヤク *Proteostrenia pica* Wileman
 183. オレクギエダシヤク *Protoboarmia simpliciararia* (Leech)^{(3) (5) *}
 184. フタヤマエダシヤク *Rikiosatoa grisea grisea* (Butler)
 185. ソトキクロエダシヤク *Scionomia mendica mendica* (Butler)
 186. クロハグルマエダシヤク *Synegia esther* Butler
 187. スジハグルマエダシヤク *Synegia limitatoides* Inoue
 188. キマダラツバメエダシヤク *Thinopteryx crocoptera striolata* Butler
 189. トラフツバメエダシヤク *Tristrophis veneris* (Butler)
 190. モンシロツマキエダシヤク *Xerodes albonotaria nesiotis* Wehrli
 191. ミスヅツマキエダシヤク *Xerodes rufescentaria* (Motschulsky)
 192. トガリエダシヤク *Xyloscia subsersata* (Felder & Rogenhof-
 hofer)
- アゲハモドキガ科 Epicopeiidae
193. アゲハモドキ *Epicopeia hainesii* Holland^{(3) *}
- フタオガ科 Epiplemidae
194. クロホシフタオ *Epiplema moza* (Butler)

- カイコガ上科 Bombycoidea
 カレハガ科 Lasiocampidae
195. マツカレハ *Dendrolimus spectabilis* (Butler)
 196. ツガカレハ *Dendrolimus superans* (Butler)
 197. タケカレハ *Euthrix albomaculata* (Bremer)
 198. オビカレハ *Malacosoma neustria* (Linnaeus)^{(3) (5) *}
 199. リンゴカレハ *Odonestis pruni japonensis* Tams
- オビガ科 Eupterotidae
200. オビガ *Apha aequalis* (Felder)^{(3) (5)}
- ヤママユガ科 Satrniidae
201. オオミズアオ *Actias artemis aliena* (Butler)^{(3) (5)}
 202. オナガミズアオ *Actias gnoma gnoma* (Butler)
 203. ヒメヤママユ *Caligula jonasii* Butler
 204. クスサン *Dictyoploca japonica japonica* (Moore)
- スズメガ上科 Sphingoidea
 スズメガ科 Sphingidae
 スズメガ亜科 Sphinginae
205. エビガラスズメ *Agrius convolvuli* (Linnaeus)
 206. フトオビホソバズメ *Ambulyx japonica* Rothschild
 207. ウンモンズズメ *Callambulyx tatarinovii* (Bremer & Grey)
 208. トビイロズズメ *Clanis bilineata tsingtauca* Mell
 209. ヒメサザナミズズメ *Dolbina exacta* Staudinger
 210. サザナミズズメ *Dolbina tancrei* Staudinger
 211. モモズズメ *Marumba gaschkewitschii ecephron* (Boisduval)
 212. クチバズズメ *Marumba sperchius sperchius* (Menetries)
 213. エゾシモフリズズメ *Meganoton scribae* (Austaut)
 214. シモフリズズメ *Psilogramma increta* (Walker)
- ホウジャク亜科 Macroglossinae
215. ブドウズズメ *Acosmeryx castanea* Rothschild & Jordan
 216. ハネナガブドウズズメ *Acosmeryx naga* (Moore)
 217. クルマズズメ *Ampelophaga rubiginosa rubiginosa* Bremer & Grey
 218. ビロードズズメ *Rhagastis mongoliana* (Butler)
 219. ミスジビロードズズメ *Rhagastis trilineata* Matsumura
 220. コスズズメ *Theretra japonica* (Boisduval)^{(3) (5)}
 221. セスジズズメ *Theretra oldenlandiae oldenlandiae* (Fabricius)
- シャチホコガ上科 Notodontidea
 シャチホコガ科 Notodontidae
222. セグロシャチホコ *Clostera anastomosis* (Linnaeus)
 223. パイバラシロシャチホコ *Cnethodonta grisescens* Staudinger
224. オオネグロシャチホコ *Eufentonia nihonica* (Wileman)
 225. ホソバシャチホコ *Fentonia ocypte* (Bremer)
 226. ツマジロシャチホコ *Hexafrenum leucodera* (Staudinger)
 227. タカオシャチホコ *Hiradonta takaonis* Matsumura
 228. プライヤエグリシャチホコ *Lophontesia pryeri* (Butler)
 229. ヘリスジシャチホコ *Neopheosia fasciata japonica* Okano
 230. ナカキシヤチホコ *Peridea gigantea* Butler
 231. ルリモンシャチホコ *Peridea oberthueri* (Staudinger)
 232. マルモンシャチホコ *Peridea rotundata* (Matsumura)^{(3) (5)}
 233. モンクロシャチホコ *Phalera flavescens* (Bremer & Grey)
 234. スズキシヤチホコ *Pheosiopsis cinerea* (Butler)
 235. オオエグリシャチホコ *Pterostoma sinicum* Moore
 236. アオシャチホコ *Quadricalcarifera japonica* Nakatomi
 237. ブナアオシャチホコ *Quadricalcarifera punctatella* (Motschulsky)
 238. セダカシャチホコ *Rabtala cristata* (Butler)
 239. クビワシャチホコ *Shaka atrovittata* (Bremer)
 240. ウスイロギンモンシャチホコ *Spatialia doerriesi* Graeser
 241. シャチホコガ *Stauropus fagi persimilis* Butler
 242. タカムクシャチホコ *Takadonta takamukui* Matsumura
- ヤガ上科 Noctuoidea
 ドクガ科 Lymantriidae
243. スカシドクガ *Arctornis kumatai* Inoue^{(3) (5) *}
 244. ヒメシロドクガ *Arctornis chichibense* (Matsumura)
 245. アカヒゲドクガ *Calliteara lunulata* (Butler)
 246. チャドクガ *Euproctis pseudoconspersa* (Strand)
 247. ドクガ *Euproctis subflara* (Bremer)
 248. マイマイガ *Lymantria dispar praeterea* Kardakoff
 249. カシワマイマイ *Lymantria mathura aurora* Butler
 250. ノンネマイマイ *Lymantria monacha* (Linnaeus)^{(3) (5)}
 251. ブドウドクガ *Neocifuna eurydice* (Butler)
- ヒトリガ科 Arctiidae
 コケガ亜科 Lithosiinae
252. アカスジシロコケガ *Bizone hamata hamata* Walker
 253. キシタホソバ *Eilema aegrota* (Butler)
 254. ヒメキシホソバ *Eilema cribrata* (Staudinger)
 255. ムジホソバ *Eilema deplana pavescens* (Butler)
 256. ニセキマエホソバ *Eilema nankingica* (Daniel)^{(4) (5) *}
 257. クロテンハイロコケガ *Eugoa grisea* Butler^{(4) (5)}
 258. ケベリネズミホソバ *Ghoria gigantea* (Oberthur)
 259. ヨツボシホソバ *Lithosia quadra* (Linnaeus)
 260. ベニヘリコケガ *Miltochrista miniana* (Forster)
 261. スジベニコケガ *Miltochrista striata striata* (Bremer & Grey)
 262. オオベニヘリコケガ *Melanaema venata venata* Butler

ヒトリガ亜科 Arctiinae

263. シロヒトリ *Chionarctia nivea* (Menetries)^{(3) (5) *}
 264. クワゴマダラヒトリ *Lemyra imparilis* (Butler)
 265. カクモンヒトリ *Lemyra inaequalis inaequalis* (Butler)
 266. ベニシタヒトリ *Rhyparioides nebulosus* Butler^{(3) (5)}
 267. スジモンヒトリ *Spilarctia seriatopunctata seriatopunctata* (Motschulsky)^{(3) (5)}

コブガ科 Nolidae

268. リンゴコブガ *Evonima mandschuriana* (Oberthur)

カノコガ科 Ctenuchidae

269. カノコガ *Amata fortunei fortunei* (Orza)

ヤガ科 Noctuidae

ウスベリケンモン亜科 Pantheinae

270. ナマリケンモン *Anacronicta plumbea*^{(4) (5) *}
 271. コウスベリケンモン *Anacronicta caliginea* (Butler)
 272. キバラケンモン *Trichosea champa* (Moore)

ケンモンヤガ亜科 Acronictinae

273. オオケンモン *Acronicta major* (Bremer)
 274. クロフケンモン *Craniophora jankowskii* (Oberthur)
 275. シロシケンモン *Hylonycta hercules* (Felder & Rogenhofer)
 276. アミケンモン *Lophonycta confusa* (Leech)
 277. リンゴケンモン *Triaena intermedia* (Warren)

キノコヨトウ亜科 Bryophilinae

278. イチモジキノコヨトウ *Bryophila granitalis* (Butler)
 279. ウスアオキノコヨトウ *Stenoloba clara* (Leech)
 280. シロスジキノコヨトウ *Stenoloba jankowskii* (Oberthur)

モンヤガ亜科 Noctuinae

281. タマナヤガ *Agrotis ipsilon* (Hufnagel)
 282. カブラヤガ *Agrotis segetum* (Denis & Schiffermuller)
 283. オオアオバヤガ *Anaplectoides virens* (Butler)
 284. オオバコヤガ *Diarsia canescens* (Butler)^{(3) (5)}
 285. コウスチャヤガ *Diarsia deparca* (Butler)
 286. アカフヤガ *Diarsia pacifica* Boursin
 287. ウスイロアカフヤガ *Diarsia ruficauda* (Warren)
 288. ホシボシヤガ *Hermonassa arenosa* (Butler)
 289. クロクモヤガ *Hermonassa cecilia* Butler
 290. マエジロヤガ *Ochropleura plecta glaucimacula* (Graeser)
 291. コキマエヤガ *Ochropleura triangularis* Moore
 292. ニセタマナヤガ *Peridroma saucia* (Hubner)

293. ウスイロカバスジヤガ *Sineugraphe bipartita* (Graeser)
 294. カバスジヤガ *Sineugraphe exusta* (Butler)
 295. シロモンヤガ *Xestia c-nigrum* (Linnaeus)^{(3) (5)}
 296. キシタミドリヤガ *Xestia efflorescens* (Butler)
 297. ハイイロキシヤガ *Xestia semiherbida decorata* (Butler)

ヨトウガ亜科 Hadeninae

298. クロシタキヨトウ *Aletia placida* (Butler)
 299. ウラギンキヨトウ *Aletia pryeri* (Leech)
 300. キミヤクヨトウ *Dictyestra dissecta* (Walker)^{(3) (5)}
 301. ケンモンキリガ *Egira saxea* (Leech)
 302. ヨトウガ *Mamestra brassicae* (Linnaeus)
 303. ナガフタオビキヨトウ *Mythimna divergens* Butler
 304. オオフタオビキヨトウ *Mythimna grandis* Butler
 305. フタオビキヨトウ *Mythimna turca limbata* Butler
 306. オオシモフリヨトウ *Polia goliath* (Oberthur)
 307. フタスジヨトウ *Protomiselia bilinea* (Hampson)
 308. アワヨトウ *Pseudaletia saparata* (Walker)

セダカモクメ亜科 Cuculliinae

309. ミヤマオビキリガ *Conistra griseescens* Draudt
 310. セダカモクメ *Cucullia perforata* Bremer^{(3) (5) *}
 311. ケンモンミドリキリガ *Daseochaeta viridis* (Leech)
 312. クロチャマダラキリガ *Rhynchaglaea fuscipennis* Sugi

カラスヨトウ亜科 Amphipyrinae

313. オオウスヅマカラスヨトウ *Amphipyra erebina* Butler^{(3) (5)}
 314. カラスヨトウ *Amphipyra livida corvina* Motschulsky
 315. オオシマカラスヨトウ *Amphipyra monolitha surnia* Felder et Rogenhofer
 316. ツマジロカラスヨトウ *Amphipyra schrenckii* Menetries
 317. アオフシラクモヨトウ *Antapamea conciliata* (Butler)
 318. アカモクメヨトウ *Apamea aquila oriens* (Warren)
 319. ヒメハガタヨトウ *Apamea commixta* (Butler)
 320. ネスジシラクモヨトウ *Apamea hamptoni* Sugi
 321. チャイロカドモンヨトウ *Apamea sodalis* (Butler)
 322. シロテンウスグロヨトウ *Athetis albisignata* (Oberthur)
 323. クロテンヨトウ *Athetis cinerascens* (Motschulsky)
 324. ヒメウスグロヨトウ *Athetis lapidea* (Wileman)
 325. シロモンオビヨトウ *Athetis lineosa* (Moore)
 326. ヒメサビスジヨトウ *Athetis stellata* (Moore)^{(3) (5)}
 327. モクメヨトウ *Axylia putris* (Linnaeus)^{(3) (5)}
 328. ハジマヨトウ *Bambusiphila vulgaris* (Butler)
 329. ヒメツマキリヨトウ *Callopietria duplicans* Walker
 330. マダラツマキリヨトウ *Callopietria repleta* Walker

331. ウススジギンガ *Chasminodes cilia* (Staudinger)
 332. ヤマトギンガ *Chasminodes japonica* Sugi
 333. ヒロオビクロギンガ *Chasminodes nigrilinea* (Leech)
 334. ネグロヨトウ *Chytonix albonotata* (Staudinger)
 335. シマキリガ *Cosmia achatina* Butler
 336. ニレキリガ *Cosmia affinis* (Linnaeus)
 337. イタヤキリガ *Cosmia trapezina exigua* (Butler)
 338. ミヤマキリガ *Cosmia unicolor* (Staudinger)
 339. ウスクロモクメヨトウ *Dipterygina cupreotincta* Sugi
 340. アカガネヨトウ *Euplexia lucipara* (Linnaeus)
 341. フタテンヒメヨトウ *Hadjina biguttula* (Motschulsky)^{(3) (5) *}
 342. アオアカガネヨトウ *Karana laetevirens* (Oberthur)
 343. コマエアカシロヨトウ *Leucapamea askoldis* (Oberthur)
 344. マエアカシロヨトウ *Leucapamea kawadai* (Sugi)
 345. チャオビヨトウ *Niphonyx segregata* (Butler)
 346. セアカヨトウ *Oligia fodinae* (Oberthur)
 347. ノコメセダカヨトウ *Orthogonia sera* Felder & Felder
 348. マエホシヨトウ *Pyrrhivalva sordida* (Butler)
 349. テンオビヨトウ *Sesamia turpis* Butler
 350. マルモンシロガ *Sphragifera sigillata* (Menetries)
 351. スジキリヨトウ *Spodoptera depravata* (Butler)
 352. ハスモンヨトウ *Spodoptera litura* (Fabricius)
 353. オオシロテナアオヨトウ *Trachea punkikonis lucilla* Sugi
 354. ウスキシタヨトウ *Triphaenopsis cinerescens* Butler
 355. シロホシキシタヨトウ *Triphaenopsis lucilla* Butler^{(3) (5)}
 356. エゾキシタヨトウ *Triphanopsis jezoensis* Sugi
- フサヤガ亜科 Euteliinae
357. フサヤガ *Eutelia geyeri* (Felder & Rogenhofer)^{(3) (5)}
 358. ノコバフサヤガ *Anuga japonica* (Leech)
 359. ニッコウフサヤガ *Atacira grabczewskii* Pungeler
- キノカワガ亜科 Sarrothripinae
360. キノカワガ *Blenina senex* (Butler)^{(3) (5)}
 361. ネスジキノカワガ *Characoma ruficirra* (Hampson)
- リンガ亜科 Chloephorinae
362. ギンボシリンガ *Ariolica argentea* (Butler)
 363. クロオビリンガ *Gelastocera exusta* Butler
 364. マエキリンガ *Iragaodes nobilis* (Staudinger)
 365. アオスジアオリンガ *Pseudoips prasinanus* (Linnaeus)
- コヤガ亜科 Acontiinae
366. ウスアオモンコヤガ *Bryophilina mollicula* (Graeser)
 367. モンキコヤガ *Hyperstrotia flavipuncta* (Leech)
368. スジシロコヤガ *Koyaga falsa* (Butler)
 369. モモイロツマキリコヤガ *Lophoruzza pulcherrima* (Butler)
 370. ソトムラサキコヤガ *Maliattha bella* (Staudinger)
 371. ネジロコヤガ *Maliattha chalcogramma* (Bryk)
 372. ヒメネジロコヤガ *Maliattha signifera* (Walker)
 373. シロマダラコヤガ *Protodeltote distinguenda* (Staudinger)
 374. シロフコヤガ *Protodeltote pygarga* (Hufnagel)
 375. ウスベニコヤガ *Sophia subrosea* (Butler)
 376. ニセシロフコヤガ *Sugia erastroides* (Draudt)
 377. ウスシロフコヤガ *Sugia stygia* (Butler)
- キンウワバ亜科 Plusiinae
378. オオマダラウワバ *Abrostola mjaor* Dufay
 379. ミツモンキンウワバ *Ctenoplusia agnata* (Staudinger)
 380. エゾギクキンウワバ *Ctenoplusia albostrata* (Bremer & Grey)
 381. ニシキキンウワバ *Ctenoplusia ichinosei* (Dufay)
 382. ギンスジキンウワバ *Erythroplusia rutilifrons* (Walker)
 383. セアカキンウワバ *Erythroplusia pyropia* (Butler)
 384. ギンモンシロウワバ *Macdunnoughia purissima* (Butler)
 385. キクキンウワバ *Thysanoplusia intermixta* (Warren)
- シタバガ亜科 Catocalinae
386. フクラスズメ *Arcte coerulea* (Guenee)^{(3) (5)}
 387. オニベニシタバ *Catocala dula* Bremer
 388. マメキシタバ *Catocala duplicata* Butler
 389. シロシタバ *Catocala nivea* Butler
 390. ゴマシオキシタバ *Catocala nubila* Butler
 391. キシタバ *Catocala patala* Felder & Rogenhofer
 392. モンシロムラサキクチバ *Ercheia niveostrigata* Warren
 393. モンムラサキクチバ *Ercheia umbrosa* Butler^{(3) (5)}
 394. オオトモエ *Erebus ephesperis* (Hubner)
 395. ムクゲコノハ *Lagoptera juno* (Dalman)
 396. ウンモンクチバ *Mocis annetta* (Butler)
 397. オオウンモンクチバ *Mocis undata* (Fabricius)
 398. オスグロトモエ *Spirama retorta* (Clerck)
- クチバ亜科 Ophiderinae
399. アケビコノハ *Adris tyrannus* Guenee
 400. アカキリバ *Anomis mesogona* (Walker)
 401. コウンモンクチバ *Blasticorhinus ussuriensis* (Bremer)^{(3) (5)}
 402. ハガタクチバ *Daddala lucilla* (Butler)^{(3) (5)}
 403. ウスツマクチバ *Dinumma deponens* Walker
 404. ウスムラサキクチバ *Ericcia pertendens* (Walker)
 405. アカテンクチバ *Erygia apicalis* Guenee^{(3) (5)}
 406. ルリモンクチバ *Lacera procellosa* Butler

407. クビグロクチバ *Lygephila maxima* (Bremer)
 408. ヒメクビグロクチバ *Lygephila recta* (Bremer)
 409. シャクドウクチバ *Mecodina nubiferalis* (Leech)
 410. ニセミカドアツバ *Lophomilia takao* Sugi^{(4) (5) *}
 411. アカエグリバ *Oraesia excavata* (Butler)^{(3) (5) *}
 412. クロシラフクチバ *Sypnoides fumosa* (Butler)
 413. シラフクチバ *Sypnoides picta* (Butler)

アツバ亜科 Hypeninae

414. ホシムラサキアツバ *Bomolocha nigrobasalis* Herz
 415. アイモンアツバ *Bomolocha rivuligera* (Butler)
 416. ハングロアツバ *Bomolocha squalida* (Butler)
 417. ヤマガタアツバ *Bomolocha stygiana* (Butler)^{(3) (5)}
 418. クロキシタアツバ *Hypena amica* (Butler)
 419. タイワンキシタアツバ *Hypena trigonalis* (Guenee)
 420. トビフタスジアツバ *Leiostola mollis* (Butler)
 421. ミカドアツバ *Lophomilia flaviplaga* (Warren)
 422. リンゴツマキリアツバ *Pangrapta obscurata* (Butler)
 423. ツマジロツマキリアツバ *Pangrapta pseudalbistigma* Yoshimoto
 424. ミツボシツマキリアツバ *Pangrapta vasava* (Butler)

クルマアツバ亜科 Herminiinae

425. ハナマガリアツバ *Hadennia incongruens* (Butler)

426. ウスキミスジアツバ *Herminia arenosa* Butler
 427. クロスジアツバ *Herminia grisealis* (Denis & Schiffermuller)
 428. トビスジアツバ *Herminia tarsicrinalis* (Knoch)
 429. ソトウスグロアツバ *Hydrillodes lentalis* Guenee
 430. ヒロオビウスグロアツバ *Hydrillodes morosa* (Butler)
 431. シロホシクロアツバ *Idia curvipalpis* (Butler)
 432. フサキバアツバ *Mosopia sordida* (Butler)
 433. オビアツバ *Paracolax fascialis* (Leech)
 434. シロテムラサキアツバ *Paracolax pryeri* (Butler)^{(2) (3) *}
 435. ミスジアツバ *Paracolax trilinealis* (Bremer)
 436. クルマアツバ *Paracolax tristalis* (Fabricius)
 437. オオアカマエアツバ *Simplicia niphona* (Butler)
 438. ニセアカマエアツバ *Simplicia xanthoma* Prout
 439. ツマオビアツバ *Zanclognatha griselda* (Butler)
 440. キイロアツバ *Zanclognatha helva* (Butler)
 441. ヒメツマオビアツバ *Zanclognatha subgriselda* Sugi
 442. ヒメコブヒゲアツバ *Zanclognatha tarsipennalis* (Treitschke)
 443. ツマテンコブヒゲアツバ *Zanclognatha triplex* (Leech)
 444. チョウセンコウスグロアツバ *Zanclognatha umbrosalis* Staudinger

トラガ科 Agaristidae

445. ヒメトラガ *Asteropetes noctuina* (Butler)